

官廳電氣に關する職員一覽 (海軍省、大藏省、宮内省、商工省)

同 遣兵大尉 正七 伊東祐親

○吳製鋼部

同 海軍技師正七 遠藤 進

○佐世保海軍工廠

附 海軍技師 從六 神谷 基夫

(海軍技術研究所仕録海軍艦政本部々員)

○舞鶴要港部 (京都府中舞鶴町)

同 佐世保市 (電佐世保一三)

同 遣兵部員機關大佐 從五 富川 藤太郎

同 遣兵少佐 勳六 村上 三三

同 附 遣兵少佐 同 中野 清

同 同 海軍技師 從六 手塚 清

同 同 檢査官 機關大尉 正七 瀨川 爲三

同 同 大尉 正七 大家 晋一

同 同 部長 從四 野並 龜治

同 同 本郷駒込四片一〇ノ六

同 同 作業課長(技師) 從五位 森澤 博

同 同 小石川區大塚町二六

同 同 從七(工) 水口 春二

同 同 神奈川、高座、藤澤、辻堂

同 同 從七(工) 瀧本 浩

同 同 府下、下谷、四三〇桂井方

同 同 府下、代々橋、幡ヶ谷(一、二)

同 同 電四谷五五〇・五五一

同 同 所長(技師) 正四 小寺 房治

同 同 府下、目黒、工業試験所官舎

同 同 第五部長(技師) 正五 北島 市太郎

同 同 第六部長 本郷、曙、一三、一

同 同 第五部(技師) 正六 井上 春成

同 同 府下、代々橋、代々木四原九五七

同 同 正六(工) 田中 弘

同 同 府下、杉並、阿佐ヶ谷松山三二五

同 同 第六部(技師) 從五 柴田 勝太郎

同 同 從五(工) 井上 俊彦

同 同 從五(工) 横山 武一

同 同 從六(工) 内田 俊一

同 同 電信課長 從五 澤田 康三

同 同 電信官 正七 工藤 隼人

同 同 正七 大關 英達

同 同 從七 吉田 耕造

同 同 從七 吉田 耕造

同 同 從七 吉田 耕造

同 同 從七 吉田 耕造

同 同 從七 吉田 耕造

同 同 從七 吉田 耕造

同 同 從七 吉田 耕造

外務省

(總町區霞ヶ關一丁目)

(電銀三三三六三三三八)

○大臣官房電信課

電信課長 從五 澤田 康三

電信官 正七 工藤 隼人

同 正七 大關 英達

同 從七 吉田 耕造

同 從七 吉田 耕造

同 從七 吉田 耕造

同 從七 吉田 耕造

同 從七 吉田 耕造

同 從七 吉田 耕造

同 從七 吉田 耕造

同 從七 吉田 耕造

官廳電氣に關する職員一覽 (外務省、朝鮮總督府通信局)

宮内省

(電話九ノ内二二一〇外十)

○内匠寮

頭 從三 東久世 秀雄

工務課長 技師 從四 北村 耕造

技師(兼)電氣試驗所技師 從五 密田 良太郎

技師 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

同 從六 乙葉 眞一

特許局

(電話九ノ内二二一八五)

局長 從三 崎川 才四郎

同 從三 下大崎、八九

同 從三 淺見 起平

同 從三 本郷、曙、二八

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

同 從三 府下、東中野、七八九

朝鮮總督府通信局

(京城府光化門通)

(電話光化門五〇番)

局長 (法) 山本 厚藏

同 京城大和三丁目官舎

同 電氣課長技師(選) 從四 高崎 齊

同 京城大和三丁目官舎

同 正六(法) 新貝 肇

同 京城大和三丁目官舎

同 從五(工) 中川 銀三郎

同 京城大和一丁目官舎

同 從七(工) 那答院 規矩雄

同 龍山元町一丁目

同 從七(工) 那答院 規矩雄

同 龍山元町一丁目

同 從七(工) 那答院 規矩雄

同 龍山元町一丁目

同 從七(工) 那答院 規矩雄

同 龍山元町一丁目

同 從七(工) 那答院 規矩雄

同 龍山元町一丁目

同 從七(工) 那答院 規矩雄

同 龍山元町一丁目

同 從七(工) 那答院 規矩雄

同 龍山元町一丁目

同 從七(工) 那答院 規矩雄

京城無線電信局

(京城府本町一丁目)

局長 從七 足立 文伍

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從六(工) 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

京城郵便局

(京城府本町一丁目)

局長(選信副事務官) 正六 近藤 昭

同 京城南山一ノ七官舎

同 正六 森田 省三

同 京城大和一丁目官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

同 從七 津田 常雄

同 京城漢江通一番地、官舎

官廳電氣に關する職員一覽 (朝鮮總督府通信局、臺灣總督府、關東廳)

八六八

- 釜山郵便局 (釜山府大倉町三丁目一〇)
  - 局長 (通信副事務官) 正六勳五 松島 惇
  - 工務課長 釜山、大廳、四丁目官舎 正七勳六 森 英太郎
  - 釜山幸二丁目官舎
- 平壤郵便局 (平壤府本町三丁目)
  - 局長 (通信副事務官) 正六勳五 梶 本益一
  - 工務課長 (選) 正七勳六 眞崎 祐一
  - 平壤黃金町官舎
- 元山郵便局 (元山府幸町七番地)
  - 局長 (通信副事務官) 從六勳六 上田 勇
  - 元山、泉一丁目官舎
- 清津郵便局 (清津府敷島町一〇番地)
  - 局長 (通信副事務官) 正六勳五 保坂 久松
  - 清津高砂町
- 大連無線電信局 (大連市鹽部通一丁目)
  - 局長 通信副事務官 從六勳六 和田 野健藏
- 旅順民政署 (旅順市學臺)
  - 局長 事務官 從五勳五 藤原 鐵太郎
  - 從七 中里 末雄
- 金州民政支署 (關東州金州會新金州)
  - 局長 事務官 正七 森 重千夫
- 普蘭店民政支署 (關東州普蘭店蓬萊街)
  - 局長 理事官 正七勳七 本 莊 宗三
- 貔子窩民政支署 (關東州貔子窩會賊廟街)
  - 局長 警視 從六勳六 峰 岸 安太郎
- 關東廳 (旅順市大迫町)
  - 局長 從四勳二 木下 謙次郎
  - 通信局 (大連市大連通)
    - 局長 從五勳五 櫻井 學
    - 電氣課長 技師 正七 中村 富士太郎
    - 通信副事務官 從六勳六 大津 義雄
    - 工務課長 技師 正六 日下部 鉦次郎
    - 技師 從六勳六 入江 武夫
    - 從七 杉 牧夫

臺灣總督府 (臺北市文武町)

○交通局通信部

樺太廳 (豊原郡豊原町)

○内務部

○内務部通信課

- 内務部長 從五勳六 小西 善次郎
- 豊原東四條官舎
- 通信課長 樺太廳事務官 正六勳五 兒玉 富太郎
- 樺太廳通信技師 從七勳七 豊原七條官舎 杉 本 彌一
- 樺太廳事務官 從七勳六 中山 安 慶
- 工務係 樺太廳通信技師 豊原東二條官舎 柳澤 元三郎
- 同 豊原東五條官舎 植村 顯二
- 同 豊原東二條官舎 深田 清
- 電氣係 樺太廳技師兼屬 豊原東三條官舎 安藤 實司
- 同 豊原西四條官舎
- 同 技師 豊原西四條官舎
- 南洋廳出張事務所 (東京市豊田區和倉門内内閣内)
  - 電話丸ノ内二〇八八―二〇八九
  - 通信課長 正六勳四 佐藤 虎雄
  - 技師 (通) 從五勳三 精谷 季之助

各府縣 (二月末日迄に即) (回答到着の分)

- 東京府
  - 警視廳 (電丸三六一―三三八〇)
    - 警視總監 從四勳一 宮田 光雄
    - 保安部長 書記官 從五 川村 貞四郎
    - 保安課長 警視 正七 小菅 芳次
    - 赤坂青山南五ノ八一
    - 工場課長 事務官 從六 副見 喬雄
    - 牛込市ヶ谷通町一〇
    - 交通課長 警視 正七 武内 哲夫
    - 牛込市ヶ谷加賀一ノ六
    - 建築課長 技師 正六 田中 大作
    - 府下森谷水川五五
    - 府下澁谷水川五二
    - 技師 從六勳五 江島 喜衛
    - 技師 (保安課) 前田 正武
    - 技師 (交通課) 木越 保次
    - 同 (建築課) 上羽 隆之助
    - 警察技師 鈴木 正一
    - 警察技師 山本 朝文
  - 茨城縣 淺野 運三郎
  - 山梨縣 佐藤 哲三郎
  - 静岡縣 三宅 發盛
  - 三重縣 坂本 信藏
  - 富山縣 大石 利平
  - 大阪府 吉江 保次郎
  - 京都府 海野 彌之助
  - 地方技師 鈴木 重治
  - 地方技師 (兼) 杉山 重治
  - 地方技師 石田 昌平
  - 地方技師 笠井 孫一郎
  - 地方技師 藏谷 秀次郎
  - 保安課長 從六勳六 土肥 米久
  - 地方技師 警察技師 從六勳六 伊知 知光
  - 府技師 警察技師 從六勳六 中野 市太郎

八六九

官廳電氣に關する職員一覽 (樺太廳、南洋廳、各府縣)



電氣に関する學校一覽

電氣工學部第一講座	教授(工博)	青柳 榮司
電氣工學部第二講座	教授(工博)	本野 亨
電氣工學部第三講座	教授(工博)	鳥養利三郎
電氣工學部第四講座	教授(工博)	岡本 越
電氣工學部第五講座	教授(工博)	加藤 信義
電氣工學部第六講座	教授(工博)	松田長三郎
電氣工學部第七講座	教授(工博)	羽村二喜男
電氣工學部第八講座	教授(工博)	林 重憲
電氣工學部第九講座	教授(工博)	大山喜四郎
電氣工學部第十講座	教授(工博)	七里 義雄
電氣工學部第十一講座	教授(工博)	馬場 齊吉
電氣工學部第十二講座	教授(工博)	中澤 良夫
電氣工學部第十三講座	教授(工博)	小林 徹
電氣工學部第十四講座	教授(工博)	堀 鹿造
電氣工學部第十五講座	教授(工博)	芝原 貞吉

九州帝國大學工學部 電氣工學教室

設立 明治四十三年十二月  
 電話三三三六一(三三一八)  
 福岡縣糟屋郡箱崎町

東北帝國大學工學部 電氣工學教室

設立 大正八年五月  
 宮城縣仙臺市樓小路  
 電話一五五七

北海道帝國大學 工學部電氣工學教室

設立 大正十四年四月  
 北海道的札幌市北十四條西七丁目

電氣に関する學校一覽

電氣工學部第一講座	教授(工博)	野田精一郎
電氣工學部第二講座	教授(工博)	佐藤 芳夫
電氣工學部第三講座	教授(工博)	大河内重助
電氣工學部第四講座	教授(工博)	原 源之助
電氣工學部第五講座	教授(工博)	熊谷 三郎
電氣工學部第六講座	教授(工博)	日下部鉦次郎
電氣工學部第七講座	教授(工博)	今井 榮量
電氣工學部第八講座	教授(工博)	山岡 信太

旅順工科大学電氣工學教室

設立 大正十一年三月三十一日  
 大正十五年四月  
 關東州旅順市街札札町  
 電話三三六六

早稻田大學理工學部 電氣工學科

設立 大正十一年三月三十一日  
 東京市牛込區早稻田

電氣に関する學校一覽

電氣工學部第一講座	教授(工博)	平山 毅
電氣工學部第二講座	教授(工博)	八木 秀次
電氣工學部第三講座	教授(工博)	坂山 平一
電氣工學部第四講座	教授(工博)	千葉茂太郎
電氣工學部第五講座	教授(工博)	小林 巖
電氣工學部第六講座	教授(工博)	渡邊 孝
電氣工學部第七講座	教授(工博)	望月 重雄
電氣工學部第八講座	教授(工博)	岡部金次郎
電氣工學部第九講座	教授(工博)	馬場 榮夫
電氣工學部第十講座	教授(工博)	市岡萬次郎
電氣工學部第十一講座	教授(工博)	小倉 強
電氣工學部第十二講座	教授(工博)	宇田新太郎
電氣工學部第十三講座	教授(工博)	松平 正壽
電氣工學部第十四講座	教授(工博)	永井 健三
電氣工學部第十五講座	教授(工博)	小林勝一郎
電氣工學部第十六講座	教授(工博)	岩竹松之助

電氣に関する學校一覽

Table listing various electrical engineering schools and departments, including their names, locations, and faculty members.

東京工業大學電氣工學科

(東京府下荏原郡碑文村大岡山) (電話高輪四五〇番七八九〇番其他)

養成所卒業者、學士の稱號者、高等師範學校卒業者、大學豫科修了者、京城及臺北帝國大學、旅順工科大学卒業者及豫科修了者、臺北高等學校修了者、專門學校令に依る第二號以外の專門學校卒業者、檢定規程に依る大學豫科卒業者と同等的以上の實力ありと檢定せられたる者

東京工業大學電氣化學科

(東京府下荏原郡碑文村大岡山)

教授 東京工業大學電氣科に同じ 電氣化學科生 一二人(昭和四年募集) 主任 (工博) 中村榮之助

大阪工業大學電氣工學科

(大阪府北區東野田九丁目) (電話東六六七、外)

教授 東京工業大學に同じ 主任 (工博) 堤 正義 大竹 太郎

日本大學工學部電氣工學科

(東京市神田區駿河河邊) (電話神田五七)

電氣科開設 昭和三年四月 入學者資格 本校豫科(理科)修了者及高等學校理科卒業者

東京工業大學附屬工學專門部電氣科

(東京府下荏原郡碑文村大岡山) (電話高輪四五〇、七八九〇其他)

主任技術者資格 第二種 畢業生總數 一、一五九名(昭和三年三月迄)

東京工業學校大學附屬工學專門部電氣化學科

(東京府荏原郡碑文村大岡山)

入學及資格 學期 東京工業大學附屬工學專門部電氣科に同じ 現在生徒數 二年生二二名

大阪工業大學附屬工學專門部電氣科

(大阪府北區東野田九丁目) (電話東六七、六八、七五、六)

開校 明治廿九年五月十八日(前大阪高等工業學校)

電氣に関する學校一覽





電氣に関する学校一覧

○入學檢定料 徴收せず  
 ○授業料 徴收せず  
 ○學費補給 一ヶ月二十五圓以内  
 ○義務 卒業後は實業学校の教職に従事する義務期間あり  
 ○第一回昭和四年 募集人員八八名(給費四八自費四〇)

### 海軍機關學校

(京都府中舞鶴)

○開校 明治初年  
 ○入學者資格 中學校四年修業程度  
 ○學期 三學期(修業年限三年八月)  
 ○現在生徒數 一三一名(昭和三年末現在)  
 ○卒業生總數 生徒一、七七二 學生一五一  
 校長 海軍中將 山下鐵八郎  
 副校長 海軍機關大佐 川原宏  
 主任(理) 玉井五岳 (理) 宮澤虎雄  
 主任(理) 佐野慶造 海軍機關少佐 新井幸三 海軍機關少佐 三浦盛衛

### 南滿洲工業專門學校 機械工學科電氣分科

(關東州大連市伏見町)  
(電話四一二八番)

○開校 大正十一年四月  
 ○電氣科開設 大正十二年四月  
 ○入學者資格 大正十二年四月  
 ○卒業 主任技術者資格  
 他的高等工業學校に同じ

### 神戸工業高等専修 學校電氣科

(神戸市水笠通一丁目)

○設立 大正十二年五月一日  
 ○入學者資格 中學校卒業程度  
 ○修業年限 三年  
 ○學期 自四月至翌年三月(夜學)  
 電氣に関する学校一覧

科	長	同	教授(理博)	講師
電氣設計	大宮庸三郎	大鷹恒一	小澤省吾	曾我正雄
電氣鐵道	高澤庫吉	山内二郎	山本勇	富田久三郎
電氣機械	曾我正雄	山内二郎	山本勇	富田久三郎
電氣照明	山内二郎	山本勇	富田久三郎	十合基一
交流理論及電力輸送	山本勇	富田久三郎	十合基一	小澤省吾
電氣磁氣測定	富田久三郎	十合基一	小澤省吾	上田富三郎
直流機械及蓄電池	十合基一	小澤省吾	上田富三郎	久末啓一郎
水力及水力機	小澤省吾	上田富三郎	久末啓一郎	廣瀬守江
數學	上田富三郎	久末啓一郎	廣瀬守江	河原春平
英語	久末啓一郎	廣瀬守江	河原春平	田中保平
公民心得、法制	廣瀬守江	河原春平	田中保平	神田孝一
工場經營、工場法規	河原春平	田中保平	神田孝一	武治
社會政策	田中保平	神田孝一	武治	兒玉兼道
社會政策	神田孝一	武治	兒玉兼道	野吉
工場衛生	神田孝一	武治	兒玉兼道	野吉

### 熊本高等工業學校附屬 工業夜學校電氣科

(熊本市黒髪)

○開校 明治四十四年六月  
 ○入學者資格 中學校三年修業程度  
 ○學年及學期 第一學期自四月至十月 第二學期自十一月至翌年三月  
 ○卒業 二年  
 ○主任技術者資格 舊

科	長	同	教授	講師
電氣科長	古宇田實	神戶高等工(工博) 福田勝	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝
電氣鐵道	神戶高等工(工博) 福田勝	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	望月隆太郎
電氣照明	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	金澤進三
交流理論、電力	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	松岡唯二
電氣磁氣測定	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	西村英治
電氣機械、電氣用具	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	中村海司
電氣鐵道	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	中根茂
電氣實驗、製圖	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	蓮見孝雄
電氣實驗、製圖	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	宮原義夫

### 名古屋高等理工科學校

(名古屋市中區東新町東北角)

○設立 昭和元年五月  
 ○入學者資格 高等學校入學者資格者、縣立工業學校、同商業學校、師範學校、東京又は名古屋電機學校卒業者又は之と同等級以上と認めたる者若しくは本所に於て試験の上(代數、平面幾何及英語)希望の科目を修得するに充分の素養ありと認めたるもの  
 ○修業年限 二ヶ年及豫科半ヶ年  
 ○學期 自四月至九月並に自十月至翌年三月  
 ○費用 入學金七圓、每半年授業料三十五圓、物理、化學、電氣實驗費半ヶ年十

科	長	同	教授	講師
電氣科長	熊本高等工業學校校長(工) 三浦鋼太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
電氣鐵道	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
電氣機械	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
電氣照明	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
交流理論及電力輸送	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
電氣磁氣測定	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
直流機械及蓄電池	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
水力及水力機	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
數學	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
英語	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
公民心得、法制	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
工場經營、工場法規	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
社會政策	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
社會政策	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎
工場衛生	元生覺太郎	電氣科長(工) 遠藤金市	電氣科長(工) 元生覺太郎	元生覺太郎

八八〇

### 高等工業部電氣科

(東京市麻布區新堀町七番地)  
(電話高輪六九三〇番)

○開校 明治三十二年五月  
 ○電氣科開設 大正十一年四月  
 ○入學者資格 中學校卒業程度の入學試験合格者及本校高等工業部豫科修了者(豫科は中學四年修業程度、一ヶ年修了)  
 ○學期 自四月至翌年三月  
 ○修業年限 二ヶ年  
 ○授業料 一ヶ年四十二圓(昭和三年度)  
 ○授業時間 午後五時より午後九時迄  
 ○現在生徒數 一年一六八名 二年八六名  
 ○卒業生總數 一八四名  
 東京工業大學校長 (工博) 中村幸之助

### 早稻田大學附屬 早稻田高等工學校

○開校 昭和三年三月  
 ○入學者資格 中學校、工業學校卒業及工手學校卒業程度  
 ○學期 一學期自四月至十月、自十一月至翌年三月  
 ○修業年限 二ヶ年  
 ○費用 一學期四十圓、一ヶ年八十圓  
 實驗費十圓 (工博) 徳永重康

科	長	同	教授	講師
電氣科長	古宇田實	神戶高等工(工博) 福田勝	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝
電氣鐵道	神戶高等工(工博) 福田勝	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	望月隆太郎
電氣照明	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	金澤進三
交流理論、電力	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	松岡唯二
電氣磁氣測定	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	西村英治
電氣機械、電氣用具	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	中村海司
電氣鐵道	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	中根茂
電氣實驗、製圖	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	蓮見孝雄
電氣實驗、製圖	望月隆太郎	電氣機械、特別講義	同(工博) 福田勝	宮原義夫

八八一



電氣に関する學校一覽

國、寄宿舎の設あり、入學試験料三四  
度、高等工業學校程度及大學程度の  
混合

○現在生徒數 一四五人  
○卒業生數 昭和四年三月 第四回卒業生三  
〇名  
校長 (理) 田中 壽一  
教授 (理) 出射榮 (文) 堀信一 (理)  
同谷力 小川義明 (工) 長田太一郎 門  
松格義 (理) 河合萬龜雄 (文) 横湯温良  
(工) 高阪益三郎 (理) 田中壽一 (理) 博  
成實清松 仲野秀治 (工) 村田仁三郎  
(工) 宇田弘道 (工) 内山俊樹 (工) 藤田  
惣三郎 (工) 古田秀穂 (理) 近藤鉦太郎  
(理) 椎尾訓 (工) 清水勳二 (理) 芝崎陸  
典夫 (工) 足田貞三

立電氣工學講習所

(京都市吉田町京都帝大)  
(工學部電氣工學教室内)  
○開 校 大正三年一月  
○入學者資格 中學校及公私立工業學校卒業者  
○學 年 十月十一日に始まり十月十日に  
終る  
○修業年限 二ヶ年 補習科半ヶ年  
○授業時間 午後六時半より午後九時半迄  
○學 費 一ヶ年四〇圓  
○現在生徒數 一學年一七〇名 二學年一二〇  
名 補習科二〇名  
○卒業生總數 五九一名(昭和三年十月末現在)

東京實科工業學校電氣  
機械科(甲種)

(東京市深川區富川町三)  
(電話本所六〇五〇)  
代表理事 (工博)青柳榮司  
理事 (工博)本野亨 (工)石川芳次郎  
主 事 關野彌三  
講 師 田伏 敬三 松田長三郎 高橋 誠  
大竹 太郎 青柳 榮司 鳥養利三郎  
芝原 貞吉 阿部 清 關野 彌三  
堀 孝吉 石川 德一 大山 駿介  
太田恒幹男 高橋 逸夫 妹尾 吉次  
岡本 起 林 重憲 中澤 良夫  
平野 正雄 渡邊 俊雄 羽村三喜男  
加藤 信義 吉山 武雄 七里 義雄

神奈川縣立工業學校  
電氣科(甲種)

(横濱市神奈川區神奈川町字平尾前)  
(電話本局(2)三〇五五)  
○開 校 明治四十五年五月一日  
○電氣科開設 大正四年四月一日  
○入學者資格 年齢滿十二年以上十五年以下尋  
常小學校を卒業したるもの  
○學 期 毎年四月一日始翌年三月終 第  
一、第二、第三學期に分つ  
○修業年限 五ヶ年 ○主任技術者資格 第  
三種  
○學 費 授業料各學年共年額三〇圓八〇  
錢、入學料一學年五〇錢、神工  
會費、修學旅行費、同窓會費各  
學年共年一三圓二〇錢  
○現在生徒數 一年三二名 二年二七名 三年  
二九名 四年三二名 五年三五名  
○卒業生總數 二九六名  
校 長 秋山 岩吉  
科 長 上島 憲次  
教 諭 吉田 南十 副島 一之  
教授囑託 大島重太郎 神代 亮平  
工 手 新藤辰三郎 石上 靜  
小野塚泰策

神奈川縣立商工實習  
學校電氣科(甲種)

(横濱市中區大岡町六一〇)  
(電話長者町一八〇六)  
○開 校 大正九年四月  
○入學者資格 尋常小學校卒業せる者  
○學 期 一ヶ月二回八〇錢  
○修業年限 五ヶ年  
○現在生徒數 一年二四名 二年二三名 三年  
二一名 四年二一名 五年二一名  
○卒業生總數 六九名 ○主任技術者資格 第  
三種  
校長 横濱高等工業學校長 鈴木達治  
校 長 山本政人  
主 事 佐藤虎雄  
科 長 同 講 師 細谷實忠 清水平治 金子四郎  
教 諭 同 二瓶源四郎

靜岡縣立工業學校電氣科  
(甲種)

(靜岡市東區匠町)  
(電話一四六四)  
○開 校 大正七年四月一日  
○電氣科開設 同  
○入學者資格 本科 尋常小學校卒業 專修科  
高等小學校卒業者  
電氣に關する學校一覽

愛知縣立工業學校  
電氣科(甲種)

(名古屋市中區御器所町)  
(電話南九三番)  
○開 校 明治三十四年十月  
○電氣科開設 大正十五年四月  
○入學者資格 尋常小學校卒業  
○修業年限 五ヶ年  
○學 期 一ヶ年三學期に分つ  
○主任技術者資格 認可申請中  
○現在生徒數 一年二四名 二年二一名 三年  
一七名  
校 長 齋藤吉廣 電氣科長 石引一朗  
教 諭 石引一朗 小島光次 長谷川兼吉

岐阜縣第二工業學校  
電氣科(甲種)

(岐阜縣安八郡南抗瀬村)  
(電話大垣八八〇)  
○開 校 大正十五年四月  
○電氣科開設 大正十五年四月  
○入學者資格 尋常小學校卒業以上  
○修業年限 五ヶ年 ○學期 三學期  
○學 費 一ヶ月六圓  
○現在生徒數 一年生三六名 二年生三三名  
三年生二九名  
校 長 大橋浩 電氣科長 青木善之助  
教 諭 藤本 實 品田良一 小宮 猛

長野縣立長野工業學校  
機械電氣科(甲種)

(長野市芹田區)  
○開 校 大正七年四月一日  
○電氣科開設 大正十年四月一日  
○入學者資格 修業年限二ヶ年の高等小學校卒  
業者又は中學二年修了  
者  
○學 費 二十四圓内外  
○學 期 四月始 翌年三月終  
○修業年限 四ヶ年  
○主任技術者資格 第三種  
校 長 長井敬雄 科長 上田善吉  
教 諭 西尾貞太郎 茂島卯太郎

電氣に關する學校一覽

囑託 高砂 高尙 實習教師 松浦喜太郎 助手 丸山四方八

●富山縣立工藝學校 機械電氣科(甲種)

(富山縣高岡市宇中川)

- 開校 明治二十七年十月
○機械電氣科開設 大正十年四月
○入學者資格 本科 尋常小學校卒業者
○學期 每年四月に始まり翌年三月に終る
○學費 一ヶ年合計五一八圓(授業料其他)
○修業年限 本科五ヶ年
○現在生徒數 一年生三九名 二年生三五名 三年生三三名 四年生二四名 五年生三四名
○卒業者總數 一三六名(昭和四年三月卒業者三二名)
校長 長谷川錦之九 科長 淺見市太郎
教諭 相島 實 長崎政忠 川崎 總 瀨崎正忠 石崎俊雄

●大阪市立都島工業學校電氣科(甲種)

(大阪市北區都島) (電話東四三〇・一四四)

- 開校 明治四十一年四月
○電氣科開設 大正九年四月

○入學資格 尋常小學校卒業者
○學年及學期 自四月至翌年三月 一學期自四月至八月 二學期自九月至十二月 三學期自一月至三月

○主任技術者資格 第三種
○學費 大阪市民四圓 其他四圓五〇錢
○修業年限 六ヶ年
○現在生徒數 一年五三 二年四九 三年四八 四年四七 五年四七 六年三八
○卒業者總數 一五三名(昭和四年三月卒業者三五名)

校長 杉田 稔 電氣科長 原田正逸
教諭 北原眞琴 板木 彰 鈴木四郎 島中武吉 野中正雄 阿野敏一 北岡與助 松居健三 松本楠夫 佐々木一三

●大阪府立今宮職工學校 電機科(甲種)

(大阪市西成區西四條) (電話或三三三番)

○開校 大正三年四月二十六日
○電氣科開設 同
○入學者資格 尋常小學校卒業程度
○主任技術者資格 第三種
○修業年限 本科三ヶ年 高級科三ヶ年
○學費 本科一圓 高級科二圓(各一ヶ月)

○卒業者總數 二四〇名
○現在生徒數 一年三六名 二年三五名 三年三五名
高級科三二名

校長 佐藤秀也 科長 村田喜一郎
教諭 田口 寅夫 馬場 加吉 寺内 信次 又野 重信 小川由太郎 木村 豊秋

◆同夜間部

○入學資格 高卒
○修業年限 滿二ヶ年
○學費 無月謝
○卒業者總數 二七〇名
○現在生徒數 一年四五名 二年三〇名
校長 佐藤秀也 電氣科長 藤 了念

●大阪府立今宮高等補習學校 電氣工學科

○修業年限 四ヶ月 ○學費 無月謝

○卒業者總數 一、一〇〇名
○現在生徒數 五〇名
校長 佐藤秀也 擔任教諭 田口寅夫

●京都市立第一工業學校電氣科(甲種)

(京都市上京區烏丸通上立賣上ル) (電話西陣一六〇〇番)

- 開校 明治廿七年十月廿七日
○電氣科開設 大正九年四月一日
○入學者資格 尋常小學校卒業又は之と同等以上の學力ある者
○學期 四月始まり翌三月終る
○修業年限 五ヶ年
○學費 一ヶ年約一、二〇圓
○主任技術者資格 第三種
○現在生徒數 一年三四人 二年二九人 三年二六人 四年二四人 五年二五人
○卒業生總數 九九九人(昭和四年卒業者二五人)
校長 岩森彌助 科長 竹内安之助
教諭 奥谷久彦 後藤子連 竹山源吾

●兵庫縣立工業學校 電氣科(甲種)

(神戸市兵庫大開通八丁目)

- 開校 明治三十七年四月
○電氣科開設 明治四十二年四月
電氣に關する學校一覽

○入學者資格 高等小學第一學年修了者 年齡 滿十二年以上の男子
○卒業 五ヶ年
○主任技術者資格 第三種
○學年及學期 四月に始まり三月に終る三學期
○學費 授業料一ヶ月四圓
○校長 事務取扱 二宮龍雄
電氣科長 菅原登里二
教諭 宮入省三 溝淵定矣 山中新造 得田與義

◆專修科

○入學資格者 年齡十四年以上にして高等小學校又は中學二年修業者
○修業年限 二ヶ年 ○授業料 一學期二圓
○夜間教授 午後七時より九時迄

●神戸村野工業學校 專修科(夜學部)(甲種)

(神戸市長田外灘川一) (電話淡川二三〇番)

- 開校 大正十年四月
○電氣科開設 大正十一年四月
○入學者資格 高等小學二年若は之と同等以上の學力有するもの
○修業年限 二ヶ年 ○學期 三學期
○學費 一學期二圓
○授業時間 三時間
○現在生徒數 一四四名 ○卒業生總數 一二五名
校長 大野都一郎

八九四

●大阪府立今宮職工學校 電機科(甲種)

(大阪市西成區西四條) (電話或三三三番)

○開校 大正三年四月二十六日
○電氣科開設 同
○入學者資格 尋常小學校卒業程度
○主任技術者資格 第三種
○修業年限 本科三ヶ年 高級科三ヶ年
○學費 本科一圓 高級科二圓(各一ヶ月)

○卒業者總數 二四〇名
○現在生徒數 一年三六名 二年三五名 三年三五名
高級科三二名

校長 佐藤秀也 科長 村田喜一郎
教諭 田口 寅夫 馬場 加吉 寺内 信次 又野 重信 小川由太郎 木村 豊秋

◆同夜間部

○入學資格 高卒
○修業年限 滿二ヶ年
○學費 無月謝
○卒業者總數 二七〇名
○現在生徒數 一年四五名 二年三〇名
校長 佐藤秀也 電氣科長 藤 了念

●大阪府立今宮高等補習學校 電氣工學科

○修業年限 四ヶ月 ○學費 無月謝

●鳥取縣立工業學校 機械電氣科(甲種)

(鳥取縣米子市)

- 開校 大正十二年四月
○入學資格 高等小學卒業又は中學校第二學年修了者及年齡十四歳以上にして右と同等以上の學力有する者
○學期及修業年限 一ヶ年を三學期に分つ
○學費 修業年限を三ヶ年とす
校長 竹下 俊夫
教諭 中野吉時 岡島觀伍郎 志岐貞一

●高知縣立高知工業學校 電氣科(甲種)

(高知市北與力町上一丁目) (電話 七七一七番)

- 開校 明治四十五年三月二十六日
○電氣科開設 同
○入學者資格 尋常小學校卒業程度

電氣に関する學校一覽

○卒業生 五ヶ年  
 ○主任技術者資格 第三種  
 ○學期 四月に始まり翌年三月に終る  
 ○現在生徒数 一年一〇七名 二年九四名 三年(電)三五名 四年(電)三五名 五年(電)二六名  
 ○卒業生数 二五一名(昭和三年三月迄)  
 校長 吉崎七次郎 電氣科長 松本政良  
 交流理論、交流機 電氣科長 松本政良  
 電氣磁氣、直流機 (助教) 仙頭 格馬  
 電燈、蓄電池、電氣機 (助教) 仙頭 格馬  
 道、送電電、電力 (助教) 仙頭 格馬  
 所、變電所、水力 (助教) 仙頭 格馬  
 實習及製圖 助教 濱田 晴喜

廣島縣立廣島工業學校電氣科(甲種)

三年生四六名 四年生四三名  
 ○卒業生總數 三四四名  
 校長 勢家 純藏  
 電氣科長 佐藤 虎雄  
 助教 佐藤 虎雄 中田要三郎  
 野首 晋 宮本 秀藏  
 今村 豐吉 香川 清一  
 清水 正彦 村田 愛祐

山口縣立宇部工業學校電氣科(甲種)

八八六  
 ○福岡縣八女工業學校電氣科(甲種)  
 (福岡縣八女郡那大塚町) (電話羽犬塚四四番)  
 ○開校 大正九年四月  
 ○電氣科開設 同 (入學者資格 高等小學卒業程度年齢十四年以上)  
 ○學期 自四月至翌年三月各學年三學期  
 ○修業年限 四ヶ年  
 ○主任技術者資格 第三種  
 ○學費 一ヶ月(縣内)十九圓五十錢(縣外)二十圓  
 ○現在生徒數 一年三五名 二年三六名 三年二七名  
 ○卒業生總數 一三二名  
 校長 大園 平吉  
 電氣科主任 渡邊豐四郎  
 助教 赤塚 清 末安 義男

福岡縣小倉工業學校電氣科(甲種)

八八七  
 ○大分縣立工業學校電氣科(甲種)  
 (大分市勢家、電話五五番)  
 ○開校 明治三十五年二月  
 ○電氣科開設 大正七年四月一日  
 ○入學者資格 尋常小學卒業者及同等程度の學力有する者  
 ○學期 自四月至翌年三月  
 ○修業年限 五ヶ年  
 ○主任技術者資格 第三種  
 ○學費 (一ヶ月)月謝三圓五十錢 學友會費五十錢 寄宿舍食費十一圓 内外 旅行積立金一圓  
 ○現在生徒數 一年三〇名 二年三五名 三年二九名 ○卒業生數 一四九名  
 校長 高木秀太郎 科長 花田虎介  
 助教 藤平宮治 津下英治 川崎買一

電氣に関する學校一覽

○開校 明治四十一年四月  
 ○電氣科開設 大正二年四月  
 ○主任技術者資格 第三種  
 ○學期 四月に始まり翌年三月に終る  
 ○現在生徒數 一年一〇七名 二年九四名 三年(電)三五名 四年(電)三五名 五年(電)二六名  
 ○卒業生数 二五一名(昭和三年三月迄)  
 校長 吉崎七次郎 電氣科長 松本政良  
 交流理論、交流機 電氣科長 松本政良  
 電氣磁氣、直流機 (助教) 仙頭 格馬  
 電燈、蓄電池、電氣機 (助教) 仙頭 格馬  
 道、送電電、電力 (助教) 仙頭 格馬  
 所、變電所、水力 (助教) 仙頭 格馬  
 實習及製圖 助教 濱田 晴喜

財團法人三井工業學校電氣科(甲種)

○入學者資格 高等小學卒業  
 ○學期 四月に始まり翌年三月に終る  
 ○現在生徒數 一年四〇名 二年三九名 三年三八名 四年三三名 五年二八名(外に専修科卒業生數三八名)  
 校長 池田龍太 科長 加藤佐平  
 助教 久保田幹 可兒英雄 野村省三  
 實習教師 細井義路 林 昇 古庄菅二

佐賀縣立佐賀工業學校電氣科(甲種)

○現在生徒數 一年三一名 二年二八名 三年三六名(卒業生中に加ふ)  
 ○卒業生數 二六七名  
 校長 敷治 科長 富田石松  
 助教 美旗實之助 森下 建藏

福岡縣小倉工業學校電氣科(甲種)

○開校 明治三十五年二月  
 ○電氣科開設 大正七年四月一日  
 ○入學者資格 尋常小學卒業者及同等程度の學力有する者  
 ○學期 自四月至翌年三月  
 ○修業年限 五ヶ年  
 ○主任技術者資格 第三種  
 ○學費 (一ヶ月)月謝三圓五十錢 學友會費五十錢 寄宿舍食費十一圓 内外 旅行積立金一圓  
 ○現在生徒數 一年三〇名 二年三五名 三年二九名 ○卒業生數 一四九名  
 校長 高木秀太郎 科長 花田虎介  
 助教 藤平宮治 津下英治 川崎買一

電氣に関する學校一覽

秋田縣立秋田工業學校 電氣科(甲種)

開校 明治三十七年二月
電氣科開設 明治四十五年三月
入學資格者 高等小學二年修了者
修業年限 三年
主任技術者資格 第三種
校長 鈴木定一 科長 上田善吉
教諭 上吉原利平 明石悟郎

山形縣立鶴岡工業學校 電氣機械科(甲種)

開校 大正九年四月
電氣科開設 大正十一年九月
入學資格 尋常小學校卒業又は同等以上の學力者
修業年限 五年
現在生徒數 一學年四〇人 二學年三九人 三學年 三六人 四學年三四人 五學年 三〇人
卒業生總數 一七七人
校長 松下 喜藏
教諭(電氣科) 西村 文藏 伊藤 剛吉

宮城縣工業學校機械 電氣科(甲種)

開校 大正二年二月
電氣科開設 同
入學資格 修業年限二ヶ年の高等小學を卒業せる十四年以上の者
學年及學期 四月始翌年三月終 第一學期 自四月至八月 第二學期自九月 至十二月第三學期自一月至三月
修業年限 四ヶ年
主任技術者資格 第三種
教授 月三圓五十錢
現在生徒數 一年五三名 二年四九名 三年 五三名 四年四〇名
卒業生總數 四三四名
校長 秋月源太郎 科長 佐藤吉文
教諭 高橋 義近 森田 敬治 山内 秀馬 菅沼 政雄 守谷 清藏 館内 勇 阿部新九郎 吉江 雲龍 府田政之助

新潟縣立長岡工業學校 電氣科(甲種)

開校 明治三十六年三月
電氣科開設 大正八年三月
(長岡市東千手町)
(電話八四〇番)

北海道廳立苫小牧工業學校機械電氣科(甲種)

入學資格 尋常小學校卒業
學期 四月に始り翌年三月に終る
修業年限 五年
學費 年二百八十圓
主任技術者資格 第三種
現在生徒數 一年四六名 二年三四名 三年 三八名 四年二九名
卒業生總數 二〇四名
校長 住友 兼吉 科長 鷲尾 廣實
教諭 白井 武 西澤 綱一

東京市立第一實業學校 電氣科

入格者資格 豫科 尋常小學校卒業程度 本科 豫科終了者又は高等小學校第二學年修了程度 高等科及高等專習科 本科修了者又は工業學校卒業者及同等程度
業 豫科 一ヶ年、本科電氣部二ヶ年、高等科電氣部一ヶ年、高等專修科電氣部六ヶ月
電氣科開設 明治三十八年四月
授業時間 午後六時—九時まで三時間
教授 高等科 二圓 本科 一圓
現在生徒數 六〇名
卒業生數 三二七名
校長 伴治竹治郎 教諭 沖本良助 講師 郷内 盛 長島 慎治

東京市立第四實業學校 電氣科

開校 大正七年六月
電氣科開設 同
入學資格 豫科 尋常小學校卒業程度、本科 本校豫科卒業者高等小學校第二學年終了者及算術英語に付入學試驗合格者、電氣に関する學校一覽

東京府立瀧野川工商學校電氣科(乙種)

開校 大正九年四月
電氣科開設 同上
入學資格 第一學年に入學を許すべきものは尋常小學校を卒業したるもの又は年齢十四歳以上にして試験の上之と同等以上の學力を有する者認めたる者 第二學年に入學を許すべきものは相當年齢に達し且つ第一學年各學科目修了の程度に於て試験し之に合格したるもの
學期 第一學期自四月至八月 第二學期自九月至十二月 第三學期自翌年一月至三月
修業年限 三ヶ年
授業料 一ヶ月二圓五十錢
現在生徒數 一年二二 二年一七 三年二二名

大阪市立實業學校 電氣科(乙種)

開校 大正八年四月
電氣科開設 同
入學資格 尋常小學校卒業以上
修業年限 三ヶ年
學費 自四月至翌年三月 一年平均八十圓
授業科目 二十科目
授業時間 一週三十六時間
現在生徒數 一年二〇名 二年一八名 三年一〇名 (昭和三年末)
卒業生總數 一一〇名
校長 北川 武藏 科長 井上 準一
教諭 田邊梅次郎 教員 高田 勝治 手 池田金之助

夜間部專修科

入學資格 高等小學卒業以上
修業年限 六ヶ月



### 中央高等工學校

(東京市神田區猿樂町五)  
電話九段二二二、二二三

- 設立 昭和四年三月
- 入學者資格 一部生中學校卒業者 二部生工學校又は工手學校卒業程度
- 學年及學期 自四月至翌年三月 學期四月至九月 自十月至翌年三月
- 授業時間 自午後六時至午後九時四十分
- 修業年限 二ヶ年
- 授業料 入學料 五圓 授業料 八圓
- 校務主任 林 謙作
- 事務主任 (工博) 丹羽保次郎
- 幹事 松本小七郎
- 講師 奧富毅彦 小森修二 福田勝二 河合 賢次 依田 收一 澁谷 寛治 今村重三郎 浦川 親良 永雄 節郎 橋口 信夫 大村 周二 横田 憲之 宮田輝之助 松本小七郎 鳥野 復之

### 早稻田附屬早稻田工手學校電工科

(東京市牛込區早稻田)  
(電牛込五一六)

- 開校 明治四十四年三月
- 電工科開設 同
- 入學者資格 第一學期高等小學校卒業者若し

### 財團東京工學校電氣科

(東京市本郷區眞砂町一八)  
電話小石川七八六五番

- 創立 大正三年九月十一日
- 入學者資格 (豫科一期) 尋常小學校卒業 (豫科二期) 中學三年修業者若しくは之に準ずるもの (本科一期) 中學卒業者若しくは之に準ずるもの (高等科) 本科卒業者若しくは之に準ずるもの
- 學期 自四月至九月自十月至翌年三月
- 入學期 四月、十月の二回
- 修業年限 豫科 本科 高等科各一年
- 授業料 豫科三圓 本科及高等科各三圓五十錢
- 現在生徒數 豫科三八六名 本科二二三名 高等科四八名
- 卒業生總數 一、四〇二名
- 校長 (工博) 加茂正雄
- 校務主任 (工博) 小川榮次郎
- 電氣科長 (工博) 加茂正雄 (工) 黒板傳作
- 理事 (工博) 加茂正雄 (工) 黒板傳作 (工) 吉野傳治 主事 福島貫一 (工) 吉野傳治 (工) 小川榮次郎 (工) 肥田丈夫 (工) 中島卓爾 (工) 伊賀秀雄 (工) 二本 順吉 (工) 河合賢治 (工) 山口長次郎 (工) 本庄叔郎 (工) 宮村慶次 (工) 徳田 巽 (工) 龜田道夫 (工) 飯村三六 (工) 影山 謙次郎 (工) 山縣敏夫 (工) 平井惟次 (理) 矢島祐利 (工) 野尻茂治 佐久間忠亮 高木常太郎

### 東京保守工業學校

(東京市本所區横綱町三丁目一〇)  
電話本所一六一六六番

- 開校 大正十四年四月一日
- 電氣科開設 同上
- 入學者資格 (本科) 尋常小學校卒業高(等科) 中學校卒業(第二本科甲種程度) 高等小學校卒業(專修科及工業夜學期) 尋常小學校卒業(工業夜學期) 尋常
- 學期 自四月至八月自九月至十二月 自一月至三月の三學期
- 修業年限 本科五ヶ年 高等二ヶ年 第二本科四ヶ年 專修科一ヶ年工業夜學科二ヶ年 工業夜學科半年一ヶ月(本科) 五圓(第二本科) 四圓(高等科) 六圓(選科生) 四科目迄三圓五〇錢 五科目以上五圓五〇錢(工業夜學科) 二圓五〇錢(專修科) 二圓五〇錢(工業夜學科) 部) 實習費半ヶ年十五圓
- 主任技術者資格 第三種認可申請中
- 現在生徒數 本科一年四五名 本科二年四五名 本科三年三七名 本科四年二七名 本科五年二五名 第二本科一年八〇名 第二本科二年七〇名 第二本科三年七七名 第二本科四年八〇名 工業夜學科一年四〇名 工業夜學科二年

電氣に関する学校一覽

- 卒業生總數 三〇名 工業夜學科四〇名 中等科二四名 專修科二二名 工業夜學科六三名
- 校長 濱野虎吉 科長 深澤漢市 論 赤池 豊 佐々木竹松 伊藤義雄 澤 莊平 青木 茂 富田武夫 水口春二 田中良之助 藤見愛人 浮田二郎

### 法政大學工學校電氣科

(東京市麹町區富士見町四ノ一二)

- 創立 大正十五年四月
- 入學者資格 豫科一年 高等小學校卒業者若しくは之に同等以上の學力あり認めたる者 豫科二年 中學三年修了者若しくは之に同等以上の學力あり認めたる者 本科一般 中學校卒業者若しくは之に同等以上の學力あり認めたる者 高等科 本校卒業者若しくはそれ以上のもの
- 學期 自四月二日至九月三十日 二學期 自十月一日至翌年三月三十一日
- 授業年限 豫科本科一ヶ年 高等科半ヶ年 一期分 豫科一八圓 本科 高等科 各二四圓
- 校長 (法博) 松室 致 (工) 大山松次郎

### 私立川崎工手學校電氣科

(神奈川県川崎市)

- 開校 大正六年十月一日
- 電氣科開設 同
- 入學者資格 本校豫科卒業或は中等學校卒業者
- 學期 第一第二の二學期に分つ
- 修業年限 一ヶ年
- 校長 石井 泰助 校長 浦口善爲 監事 鹿子畑秀重 書記 西尾喜平 師 小田岩藏 米山清三 谷口利光 高橋三五郎 上田政次郎 鈴木 鶴治 (工) 京極盛彦 (理) 浦井健三 (理) 後藤 常市 (工) 船向早苗 (理) 浦口善爲

●名古屋電氣學校

(名古屋市中區新榮町三ノ三)  
電話 東一(七)

○開校 大正元年十二月二十六日  
○入學者資格 豫科 第一學年 尋常小學校卒業以上 本科 中學校卒業以上  
○修業年限 豫科二ヶ年 本科一ヶ年  
○授業料 一ヶ年 晝間豫科 五四圓  
本科六〇圓 夜間豫科四八圓  
本科五四圓  
○卒業者總數 一四三七名 (昭和二年卒業、晝一三三名夜一〇六名)  
○設立者 後藤 輝二  
○校長 (工) 月野正五郎  
○専任教員 和田信次 風間太郎 鬼頭孫三郎 江木巴 岩井廣一 中島 輝 林 泰三 兒川 順信 小和田 博 (工) 藤橋三郎 山中 新造 (工) 太田 浩 佐野 作一 (工) 川島榮治郎 荻野正次

●私立大阪工科學校

電氣科

(大阪府此花區下福島一丁目十一)  
(福島西通停留場南二丁目西入)  
○開校 大正四年九月  
○入學者資格 豫科 滿十四歲以上の男子にして相當學力を有する者 豫科二科生 中學三年修了程度 本科

●大阪工業專修學校

(大阪府北區東野田九丁目)

○開校 大正五年四月  
○入學者資格 中學卒業程度  
○修業年限 高等部二ヶ年 專攻部一ヶ年  
○授業料 一ヶ月四圓  
○校長 (工博) 堤 正義

副校長 (工博) 飯田吉三郎  
校長 (工博) 大竹 太郎  
講師 (工) 志田正雄 (工) 佐藤一男  
(工) 七里義男 (工) 藤井藤之助  
(工) 藤本 永三 木村源三郎  
(工) 松本久長 野島一郎

●財團法人關西工學校

電氣科

(昭和三年一月關西工)  
(學專修學校を改稱)  
第一校舎 (大阪市北區橋ノ口町)  
第二校舎 (大阪市東淀川區南方町)  
電話 南二六一八  
○開校 大正十一年九月  
○電氣科開設 大正十二年四月  
○入學者資格 豫科 小學校卒業以上  
○修業年限 本科 中學校卒業又は各實業學校卒業  
預科二年 本科一年半 研究科半年  
○現在生徒數 豫科四圓 本科五圓  
夜間 豫科三圓 本科四圓  
○卒業生總數 豫科九五〇名 本科二五〇名  
○財團理事長 (工博) 片岡 安  
○事務理事長 田上 憲一  
○校長 (工博) 大井 清一  
○主任 宇井 龍藏  
○講師 (工博) 福田勝 (工學部) 加藤信義 (工) 阿部 清 (工) 新居匡雄

●私立幸袋職工學校

電氣科

(福岡縣嘉穂郡幸袋町大字幸袋)  
電話 飯 塚 一八八番

○開校 大正八年四月二十六日  
○入學者資格 尋常小學校卒業以上  
○修業年限 株式會社幸袋製作所に於て經營するものにして學費不用  
四年 〇學 期 二學期  
現在生徒數 四年二一  
校長 福田 金一  
教諭 石尾集 今村典三 太郎 緒方等  
中原隆造 山下利助 金子數衛 筑紫藤  
須藤信也 北川真吉 元廣要 安部萬藏  
諸藤省三 佐谷正義 井上喜世藏 千住  
保藏 毛利秀利 小山敦志 三砂秀人  
山崎幸雄 日高藤市

●私立九州電氣工學校

(福岡市天神町九三)  
電話 三一五三

○開校 大正十二年六月一日  
○入學者資格 高等科(中學卒業)  
中等科(高等小學卒業)  
○修業年限 一學期 五月一日より十月三十一日  
二學期 十一月一日より四月三十日

●私立岩倉鐵道學校

電氣工學科

(東京市下谷區車坂町五七)  
電話 下谷九六九、一〇〇五

○入學者資格 豫科 尋常小學校卒業者  
本科 中學校第四學年修了者又は同等以上の者  
○修業年限 四月至九月、十月至翌年三月  
豫科一ヶ年 本科一ヶ年  
○授業料 豫科及第一本科(六ヶ月)各廿四圓 第二本科五十四圓  
○校長 公爵 岩倉 具榮  
○副校長 山田英太郎  
○講師 (工) 岩橋達夫 井藤昌之 今泉正憲 (工) 林誠一 (工) 落合嘉五郎 小野寺長 荻野良直 (工) 岡中 (工) 加藤圭介

●私立關西商工學校

電氣科

(大阪府西淀川區大七町)  
電話 土佐堀一〇三〇

(工) 保壽康象 (工) 本間鎮四郎 (工) 大島具 (工) 高野瀨宗吉 (工) 山西清信 (工) 田中光彦 (工) 矢野定三 (工) 青原義重 (工) 木津圭藏 米内山昌三 比企繁三  
○開校 明治三十五年四月(夜間部)  
同 四十年三月(晝間部)  
○入學者資格 一學年豫科 滿十四歲以上の男子にして相當の學力を有する者 二學年 中學校 師範學校又は同等以上のもの (晝間部) 四月より翌年三月に至る (夜間部) 九月より翌年七月に至る  
○學費 本科一ヶ月 二圓五十錢 豫科一ヶ月 二圓  
○修業年限 二ヶ年  
○現在生徒數 二五〇名(晝夜合計)  
○卒業生總數 二、五六一名(晝夜合計)  
○校長 (工博) 平賀 義美  
○事務理事 岩田 成實  
○理事 八名 監事三名 評議員三名  
○講師 師 佐々木富五郎 (工) 上妻 博 (工) 新正一 (工) 大島英 (工) 保壽康象 (工) 志田正雄 藤本永三 (工) 豊口熊雄  
電氣に関する學校一覽

電氣に関する學校一覽

- (工) 田崎俊雄 田部井市助 (工) 藤木半平
- (工) 中川浩一 梅澤力 (工) 黒川眞武
- (工) 窪田豊胤 前坂重太郎 福井庄七
- 古俣一男 (工) 小森修二 櫻澤圭次郎
- (工) 庄野誠一 (工) 服部定一 (工) 尾本
- 義一 (工) 山下英男 (工) 藤井永三郎
- (工) 平井彌之助 (工) 鈴木愷之助 (工) 鈴木貞

東京鐵道局教習所 専門部電氣科

- (東京府北豊島郡西巣鴨町池袋) (電話大塚二二〇〇(専門部)其他)
- 入學者資格 専門部 中學卒業 現在は鐵道職員中より選抜試験の上入學
  - 學費 官費
  - 學期 自四月至翌年三月
  - 卒業 専門部 二ヶ年
  - 現在學生數 専門部四〇名 専門部豫科四名
  - 卒業生總數 専門部二四九名
  - 長 和田 弘 幹 事 崎原 當升
  - 主任 恒河吉毅
  - 講師 田中實雄 渡邊義勝 板垣贊造 元田傳 小豆澤英男 清水清藏 三宅敬雄 齊藤正平 西井澤 木下彌輔 阿部繁藏 石川毅 大石定吉 藤澤茂樹 野尻茂治 平岡眞三 石黒豊 石井直 友枝俊三 坪井環 沼倉三郎 隈崎渡 堀井秀雄

逓信官吏練習所

- (東京市芝區芝公園) (電話芝四一〇一四一三番)
- 開校 明治四年十月
  - 入學資格 第一部行政科 第二部行政科 技術科 無線通信科 滿十七歲以上滿二十五歲以下の男子 中學卒業程度
  - 修業年限 各二ヶ年
  - 學費 毎月二十四圓給與
  - 現在生徒數 第一學期 自六月一日至十一月末日 第二學期 自十二月一日至五月末日
  - 卒業生總數 一年一三五名 二年一六〇名 專修科 無線電信通信科二一名 五、六〇五名
  - 長 高山敏行
  - 主任 官井誠吉 池田武智 (工) 宮川三一 (工) 堀井剛 (法) 高妻直道 (工) 淺見親 (工) 松浦菊五郎 (工) 中上治郎 (法) 猪俣貞治 内藤勝造 八木鐘平 塚本吉 (法) 長岡信雄 (工) 沼田七次郎 近藤嘉一郎 森田英二 千賀清七 米村嘉一郎 中村寅市 (工) 岩永修 水原三郎 櫻井喜三郎 (法) 中野大木 村平三郎 (工) 金原淳 (工) 神尾健夫 大澤忠平 (工) 稲波季雄 小松三郎 穴澤心得 鶴野安純 柴田勳次 岡村福太郎 外十六名 囑託教授 遠藤政之助 小林秀治郎 外二十五名

朝鮮總督府逓信局 逓信吏員養成所

- (朝鮮京城府昌成洞一七) (電話光化門五五二番)
- ▲工務傳習生 中學三年修了程度
  - 入學資格者 中學三年修了程度
  - 學費 官費
  - 學期 三學期 ○修業年限 十ヶ月
  - 卒業生總數 七九名
  - 現在生徒數 一三名
  - 長 小島源藏 (朝鮮總督府逓信事務官) (信務事務官)
  - 講師 逓信技師津田常男 同 大西平吉 逓信書記 桑原 重弘 同 小林 權一 同 宗太 同 二神武弘 同 遠藤俊雄 逓信技師 梅田吉郎 同 米田源一 囑託 栗屋 謙 同 伊藤奉奎

電信協會管理無線電信講習所

- (東京府下目黒町下目黒五番地) (電話高輪二〇七番)
- 開校 大正七年十二月八日
  - 入學者資格 (本科) 滿十六年以上二十五年以下の男子 (別科) 滿十六年六月以上の男子にして一年以上電氣通信の實務に従事したるもの (特科) 小型船舶用無線電信従事者を養成する爲當該漁業家の子弟

電氣に関する學校一覽

- 特典 本科、別科共卒業成績に應じ私設無線電信従事者第一級又は第二級の資格を與へらる
- 修業年限 本科一年 別科六ヶ月 特科六ヶ月 (必要時間設) 補習科二ヶ月 (第一級檢定試験前開設)
- 學費 本科一學期五圓 同二學期及別科八圓 (外に所費月五〇錢)
- 卒業生總數 一、二四八名
- 現在生徒數 二〇〇名
- 所長 若宮貞夫
- 教育部長 (工博) 淺野應輔
- 幹事 小谷雄一郎
- 講師 (工) 中上豐吉 (工) 荒川大太郎 (工) 竹林嘉一郎 (工) 小野孝 (工) 稻波季雄 金子金藏 穴澤忠平 寺畑松太郎 小畑平五郎 倉持佐重 黒田吉郎 國府田美見 秋田稻 米村嘉一郎 木村平三郎 小松三郎 土肥友二 野村義男 椿喜雅 市橋真治 石田實 花岡滿 山本新太郎 都築茂 廣吉三雄 香川義雄 北條孫人 澤野博 岩佐丈二 永井 弘 森 謙吉 小川五郎 田村貴次郎

電氣協會工手養成所

- (大阪市西淀川區大仁本町二ノ九) (電話土佐堀三二三〇番)
- 開校 大正十三年九月
  - 入學資格 滿十六歲以上の男子にして高等小學修了程度の學力 (但し一ヶ年以上電氣工手として實歴を有するものは此の限りにあらず) を有し品行方正身體健全なる者
  - 修業年限 六ヶ月
  - 學費 二學期 第一學期は校内夜間 第二期 自二月一日至四月末日 第三期 自五月一日至七月末日 第四期 自九月一日至十二月末日
  - 現在生徒數 六五〇名
  - 所長 (工博) 小倉公平
  - 主任 池尾芳藏 石川芳次郎 石田太郎 馬場齊吉 岡田意一 影山純三郎 金森又一郎 上田 寧 近藤茂 木津谷榮三郎 山田 耕 山野正雄 米内山昌三 溝口源太郎 久島辰雄 住野光 野澤

電信協會管理無線電信講習所

- (東京府下目黒町下目黒五番地) (電話高輪二〇七番)
- 開校 大正七年十二月八日
  - 入學者資格 (本科) 滿十六年以上二十五年以下の男子 (別科) 滿十六年六月以上の男子にして一年以上電氣通信の實務に従事したるもの (特科) 小型船舶用無線電信従事者を養成する爲當該漁業家の子弟



### 各學會及學校並會社發行之電氣雜誌

雜誌及新聞名	發行回数	一部定價	發行所
電氣學會雜誌	月一回	八〇錢	電氣學會事務所
照明學會雜誌	年十回	六〇錢	照明學會事務所
電氣協會雜誌	月一回	非賣(會員三領布)	電氣協會
電信協會雜誌	不定期	二五錢	電信協會
電信電話學會雜誌	隔月奇數月(非賣會員二領布)	電信電話學會	電信電話學會
農事電化	月一回	三〇錢	農事電化協會
通信協會雜誌	月一回	二五錢	通信協會
電氣月報	月一回	非賣	鐵道省電氣局
電氣月報	月一回	非賣	通信省電氣局
朝鮮電氣協會誌	不定期	一五錢	電氣協會中國支部
家庭電氣	月一回	三〇錢	朝鮮電氣協會
家庭電氣	月一回	三〇錢	家庭電氣普及會
早稻田電氣學會雜誌	月一回	四〇錢	早稻田電氣學會
早稻田電氣學會雜誌	年四回(非賣會員二領布)	早稻田電氣學會	早稻田電氣學會
早稻田電氣學會雜誌	月一回	四〇錢	早稻田電氣學會
二電時報	月一回	同	二本松電氣株式會社
二電時報	月一回	同	二本松電氣株式會社
臺灣電力社報	月一回	非賣	龍陽社(東邦電力株式會社)
臺灣電力社報	月一回	同	臺灣電力株式會社
臺灣電力社報	月一回	同	伊豫鐵道電氣會社
日新報	月一回	同	日本電氣株式會社
日新報	月一回	同	東京電氣株式會社

大	芝浦レビニ	富士電機時報	明電舎ジャーナル	三菱電機	字治電機	電氣學會友會
同	同	同	同	同	同	同
月一回	不定期	同	月一回	月一回	不定期	月一回
同	三〇錢	三〇錢	非賣	二〇錢	非賣	同
大同電氣株式會社	芝浦レビニ發行所	富士電機製造會社	明電舎	三菱電機神戶製作所	宇治川電氣株式會社	早稻田高等工學校
						電機學校電機學友會

### 講義錄發行所

電機學校	東京市神田區錦町二ノ二
工業教育會	本郷區眞砂町一八
電氣工學講習會	小石川區駕籠町一一
早稻田大學出版部	牛込區早稻田
アールス	小石川區表町一〇九
選試社	京橋區南金六町四(帝博ビル)
江崎正文堂	名古屋市中區新榮町三ノ三三

## 電氣に關する學會及協會一覽

### ●社団法人 工學會

(東京市麹町區永樂町一ノ一)  
電話九ノ内七〇六

●目的 本會は工學に關する學會及協會の聯絡を圖り其各會に共通の事項を研究處理し我邦の工學工業及工藝を振起するを目的とす

●創立 明治十二年十一月創立大正十一年八月定款變更認可を得て我國工學界に前例なき各學會協會等の團體を會員の主たるものとする工學各會統一聯絡の機關となれり。即ち社団法人日本鐵業會、社団法人、日本鐵鋼協會、社団法人土木學會、社団法人火兵學會、社団法人衛生工業協會、社団法人造船協會、社団法人建築學會、社団法人工業化學會、社団法人電氣學會、社団法人電信電話學會、社団法人機械學會、社団法人照明學會を會員とせり。

- 理事 隨時發行  
理事長 男爵 古市公成  
理事 曾福達藏 秋山正八  
評議員 日本鐵業會代表 原田 鐵治  
日本鐵鋼協會代表 服部 漸  
土木學會代表 男爵 古市 公成  
火兵學會代表 鈴木 孝雄

### ●社団法人 電氣學會

(東京市麹町區有樂町一ノ五)  
電話九ノ内七五六

●目的 電氣學術、電氣工業又は電氣學術に篤志なる者協同して之が振起を圖り且之に關する智識を交換するを目的とす

●創立 明治二十一年  
立 高等の學校に於て電氣學又は電氣工學專修者、(二)電氣學術攻究又は電氣技術熟達相當の經歷者、(三)電氣學又は電氣工業に密接關係相當經歷者(四)三ヶ年以上電氣工業に關して責任地位にあり學術上相當經歷者、(五)電氣主任技術者二種以上檢定三級以上資格者外に名譽員、贊成員、准員

- 役員  
會長 山本 忠興  
副會長 前原 助市 米澤與三七  
主幹 桑島 正夫  
庶務幹事 森 秀 中田 末廣  
會計幹事 磯野達一郎 笠井 完  
編輯幹事 堀岡 正家 荒川大太郎  
星合 正治 上田 輝雄  
常議員(東京) 市川 繁彌 別宮 貞俊  
梶井 剛 横山英太郎 村尾 兼  
工藤 正平 肥田 丈夫 西 健  
丹羽保次郎 小川榮次郎 大森 丙  
竹内壽太郎 古市 龍雄 道田 貞治  
常議員(地方) 星野 貞治 鳥養利三郎  
吉原隆之介 八木 秀次 福中佐太郎  
宮崎鐵太郎 廣田 精一 馬場 兼夫  
拔山 平一 大竹 太郎 降矢 芳郎  
青木 晋 志田 文雄 清水 義一  
○地方委員 金澤 吉田惠一 長崎 宮崎駒吉  
鹿兒島 岡田龜之介 長野 杉岡磨占刀  
新潟 畑 時雄 札幌 渡邊悦三 臺北  
片山浩三 京城 飯倉文甫 中屋重樹

電氣に関する學會及協會一覽

- 東京支部 電氣學會内 支部長 野田清一郎 支部副幹事 山本 五郎 高橋 正一 支部會計幹事 上田 輝雄 風岡憲一郎
- 關西支部 大阪府北區堂島中央電氣俱樂部内 支部長 福田 勝 支部副幹事 青木忠次郎 阿部 清 支部會計幹事 山村 忠行 羽村二喜男
- 北九州支部 九州帝國大學工學教室内 支部長 森 兵吾 清山 久吉 支部副幹事 宮崎鐵太郎 山田 直臣 支部會計幹事 藤波 幸一
- 仙臺支部 仙臺市東北帝國大學工學部電氣工學教室内 支部長 千葉茂太郎 幸前 治一 支部副幹事 雄山平三郎 杉山 榮一 支部會計幹事 小林勝一郎 杉山 榮一
- 東海支部 名古屋市中區新柳町東邦電力株式會社内 支部長 永福連太郎 長田太一郎 支部副幹事 高橋榮四郎 大野甚三郎 支部會計幹事 岸 興三

日本電氣工藝委員會

○目的 本委員は電氣學會に屬し電氣機械器具材料等の名稱統一及標準制定に關する諸事項を調査するを以て目的とする  
 ○本委員は萬國聯合電氣工藝委員會に加盟す  
 ○創立 明治四十三年五月  
 ○本委員 三〇名 特別委員一九六名

電氣に関する學會及協會一覽

- 電機委員會 委員長 水澤與三七 幹事 梶井 剛 木村 介次
- 私設交換裝置委員會 委員長 肥田丈夫 幹事 中田 末廣 山根 幸知
- 乾電池委員會 委員長 高津 清 幹事 木村 介次 清水牛兵衛
- 無線通信委員會 幹事 末雄 横山英太郎 中山 豐吉 小島 潔

日本動力協會

○目的 動力資源並發生、分配利用に關する改良發達を圖り動力に關係する諸機關の聯絡協力を遂ぐるを以て目的とする  
 ○事業 動力に關する調査研究、動力に關係する官廳官衙公益團體並事業者間の聯絡を圖る事  
 ○創立 昭和二年七月 會員 個人及團體 費 個人一ヶ年十圓 團體一ヶ年 一級 三百圓 二級 二百圓 三級 百圓 四級 五十圓  
 ○會長 古市公威 副會長 井上角五郎 林 安繁 橋本圭三郎 加茂 正雄 松永安左衛門 常務理事 太刀川平治 中西 四郎 倉橋藤治郎 生野 圓六  
 ○監事 田中大郎 三谷一二 美濃部俊吉 評議員 一九五名  
 ○定時總會 毎年五月

世界動力會議東京部會

○役員 名譽會長 逕信大臣 久原房之助 名譽副會長 逕信次官 桑山鐵男、商工次官 四條隆英、鐵道次官 八田 嘉明 資源局長官 宇佐美勝夫  
 ○會長 若尾璋八 武田秀雄 牧田 環 副會長 若尾璋八 武田秀雄 井上角五郎 橋本圭三郎 林 安繁 太刀川平治 田中 次郎 中西 四郎 倉橋藤治郎 松永安左衛門 三谷一二 美濃部俊吉 生野 圓六  
 ○經理委員長 井上角五郎 論文委員長 橋本圭三郎 會議委員長 松永安左衛門 接待委員長 門野重九郎 地方委員長 (大阪)片岡 安

電信電話學會

○目的 電信電話に關する學術技術の講究 智識の交換を爲し且つ之に關する事業の振興を圖るを以て目的とする  
 ○創立 大正六年五月  
 ○會長 初見五郎 副會長 吉久 常務理事 田代 常 鈴木 淳一 岡田勉次郎 淺見 親 沼田七次郎 押田 三郎 笠井 完 藤井永三郎 肥田 丈夫 池田 武智 永井 省三 牛田 光久 大森 丙 荒川大太郎 池田 孟 安中 義輝 村田 善(大阪)松橋清助(名古屋) 眞崎尚忠(廣島)、星野貞治(熊本)、笠島 勝次郎(横濱)、天野次郎(札幌)、平井靜 夫(青森)、佐々木仁(朝鮮)、入江武男

照明學會

○目的 照明並其他一般輻射に關する事項の發達應用並普及を圖るを以て目的とする  
 ○事業 1 雜誌又は圖書の發行及び頒布 2 本會を代表する總ての事業 3 支部に共通する委員會調査 4 其他役員會に於て適當なりと認めたる事業

電信電話用品標準調査委員會

○目的 本委員會は電信電話學會に屬し電信電話及無線電信電話用機械器具材料の標準制定及名稱統一に關する諸事項を調査するを以て目的とする  
 ○委員 電信電話學會役員に於て會員中より選出す  
 ○會長 米澤與三七 副會長 利根川守三郎 西脇 吉久 肥田 丈夫 初見 五郎 秋山武三郎 高田 善彦 佐伯美津留 高津 清 青山 藤郎 横山英太郎 若目田利助 田代 常 押田 三郎 大畑源一郎 桑島 正 小川 一清 庶務幹事 梶井 剛 會計幹事 小川 一清 庶務幹事 梶井 剛 名稱委員會 委員長 初見 五郎 幹事 大森 丙 鈴木壽傳次

照明學會

○役員 名譽會長 逕信大臣 久原房之助 名譽副會長 逕信次官 桑山鐵男、商工次官 四條隆英、鐵道次官 八田 嘉明 資源局長官 宇佐美勝夫  
 ○會長 若尾璋八 武田秀雄 井上角五郎 橋本圭三郎 林 安繁 太刀川平治 田中 次郎 中西 四郎 倉橋藤治郎 松永安左衛門 三谷一二 美濃部俊吉 生野 圓六  
 ○經理委員長 井上角五郎 論文委員長 橋本圭三郎 會議委員長 松永安左衛門 接待委員長 門野重九郎 地方委員長 (大阪)片岡 安

電氣に関する學會及協會一覽

會計幹事 大塚 光一 豊口 熊雄  
 △東海支部(名古屋市中區西松ヶ枝町一)  
 支部長 土屋 純一  
 庶務幹事 岡部 誠治 内野 正  
 會計幹事 疋田 貞三 國島 達  
 書記 小林 寛信  
 ○定時總會 毎年一月  
 ○照明學會雜誌 年十回發行 一册六〇錢

工業化學會

(東京市本郷區森川町一)  
 (電話小石川二〇一〇番)

○目的 工業化學に關する學術技藝の進歩普及を圖るを目的とし之を達成せむが爲左の事業を行ふ  
 1 講演會の開催  
 2 雜誌 圖書の刊行 配布 發賣  
 3 見學 視察  
 4 研究 調査 建議 公益事業の協賛  
 5 其他本會の目的達成に必要な事業  
 ○創立 明治三十一年三月  
 ○役員 三、七四〇(昭和四年三月十八日現在)  
 會長 水田 政吉  
 副會長 厚木 勝基 越智主一郎  
 書記 井上 春成 友田 宜孝  
 主計 岡 俊平 牧 鏡夫  
 編輯 藤野 實 松前 四郎  
 庶務 鶴野 矢野 道也  
 監事 石川 一郎 磯村 秀策

九州支部 幹事長 黒田 泰造  
 幹事 伊木 貞雄 莊原 和作  
 庶務 梶原 眞平 張 玄彦  
 地方委員  
 上野 嘉助(金澤) 上野 誠一(大阪)  
 内野 正夫(大阪) 小野 嘉七(神戸)  
 大森 眞一(徳島) 岡部 欣二(長岡)  
 片山 嵩(徳島) 小島幸三郎(京都)  
 小山 一徳(京城) 佐久間 巖(桐生)  
 佐藤 正典(大連) 佐藤 健三(新潟)  
 柴田林之助(仙臺) 高岡 齊(大阪)  
 立木 勝藏(福井) 永井雅夫(名古屋)  
 西岡新太郎(濱松) 西川 亮一(秋田)  
 堀 義路(札幌) 堀江不器雄(横濱)  
 松浦新之助(廣島) 松野 吉松(臺北)  
 吉岡藤作(京都) 吉田土佐次郎(米澤)

機械學會

(東京市本郷區永樂町一ノ一)  
 (電話丸の内三三三三番)

○目的 本會は機械に關する學術技藝の進歩發達を圖り且工業の發展に資するを以て目的とす  
 本會は前項の目的を達する爲左の事業を行ふ  
 1 調査研究を爲すこと  
 2 講演を備すこと  
 3 會誌其他圖書の類を刊行すること  
 4 見學視察を爲すこと  
 5 諮問に應じ又は建議を爲すこと  
 6 前各號の外本會の目的達成に必要な事業を爲すこと  
 ○創立 明治三十年六月  
 ○役員數 四、五六六名  
 ○特別員 特別員特級三〇〇 同一般二〇〇  
 同二級一〇〇 三級六〇 正會員 一二〇  
 准員 八、贊成員二〇  
 會長 秋山 正八  
 副會長 竹村 勤吾 朝倉 希一  
 庶務 淺川 權八 竹中 二郎  
 編輯 丹 重光 六角 三郎  
 庶務 横山 勝任 井口 春久  
 監事 内村達次郎 神田 興  
 評議員 加茂 正雄 外三十九名  
 ○會誌 毎月一回廿日發行 非賣品  
 ○通會總會 毎月四月開催 役員改選期 四月

燃料協會

(埼玉縣北足立郡川口町)  
 (燃料研究所内)  
 (電話川口三一五、三二四)

○目的 燃料及動力に關する事業の進歩發達を圖るに在り  
 事業 講演會開催、雜誌圖書刊行、調査研究 建議 公共事業の助長 獎勵 表彰其他必要なりと認むる事業  
 ○創立 大正十一年七月二十一日  
 大正十一年七月二十一日燃料協會創立昭和二年六月十三日社団法人組織となる  
 ○役員 會員を分ちて名譽會員 特別會員及正會員とす  
 費 特別會員一年前納一級一五〇圓 二級一〇〇圓 三級五〇圓 四級二五圓 正會員毎年前納一〇圓  
 會長 大島 義清 吉村 萬治  
 副會長 長男 坂本 俊馬  
 常議員 五〇名  
 編輯委員 山田三太郎 箱石 朝政  
 編輯主事 内田正次郎 大島義清 賀田立二  
 田中 芳雄 伴 義定 福永 勉  
 庶務主事 香坂要三郎 新村唯治  
 庶務主事 藤野 哲郎 會計主事 石橋弘毅  
 ○會誌 「燃料協會誌」 毎月一回廿日發行 定價八五錢  
 ○定時總會 毎年一月  
 ○役員改選 總會の際行ふ  
 電氣に関する學會及協會一覽

建築學會

(東京市本郷區丸の内ビル五階)  
 (電話丸の内一六一六)

○目的 建築に關する學術技藝の攻究發達を圖るを以て目的とす  
 ○創立 明治十九年  
 ○役員數 名譽會員一 正員一三五 特別會員一三三 終身贊成員五九 贊成員一三九 准員四三三 計五九〇〇  
 會長 大熊 喜邦 中條精一郎  
 副會長 今川 彌夫 尾崎久助(兼編輯)  
 常議員 大泉龍之輔 志田勇治 島田廣(兼編輯)  
 清水幸重 下元 連(兼主計) 住木直三  
 高橋貞太郎(兼主計) 楊敬順 中村琢治郎  
 (兼主計) 舟橋喜一 柳井平八(兼主計)  
 吉田亨二 渡邊 清(兼編輯)  
 誌 毎月一回 一部定價一圓

土木學會

(東京市本郷區永樂町一ノ一)  
 (丸の内ビル四六〇號四階)  
 (電話丸の内三三九四五)

○目的 土木工學の進歩及土木事業の發達を圖るを以て目的とす  
 ○創立 大正三年十一月  
 ○役員數 正員二八五〇名  
 費 會員一八圓 准員一二圓 學生員七圓五(錢)(年額)  
 會長 市瀬恭次郎

火兵學會

(東京市本郷區帝國大學工學部)  
 (造兵學教室内)  
 (電話小石川七二九番 構内番番)

○目的 本會は會員協同して兵器及火藥に關する學術技藝を研究し且普及を圖るを以て目的とす  
 前項の目的を達する爲左の事業を行ふ  
 (重なるもの)  
 會誌を發行し講演會開催、調査研究補助獎勵並に各種製造工場研究所等の見學を行ふ  
 ○創立 明治二十八年十月十日創立 大正十三年四月九日社団法人火兵學會となる  
 ○役員數 正員三七四名 準員八六名  
 會長 鈴木 孝雄 理事 青木 保  
 佐藤 清勝 山内 鎮一 岸本 綾夫  
 山家 信次 各村豐太郎  
 主事 土方 英 評議員四二名  
 ○役員改選期 二ヶ年 一回四月改選  
 費 正員 年八圓 準員 年五圓  
 會誌 年六回發行  
 九〇三

電氣に関する學會及協會一覽

●社団法人 造船協會

○目的 船舶全般の學術技術に關して考究し其の發達を圖るを以て目的とし之を達成せむが爲左の事業を行ふ

○役員 田原 得三 陰山金四郎 渡 一磨

○定時總會 毎月一回二十日發行 定價六〇錢

○役員改選 四年毎に半數改選

○創立 明治三十年四月 會員數一八〇〇

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (年額) 正員十二圓 協同員十圓 准員六圓 團體員(一級三百圓 二級二百圓 三級百圓 四級三十圓)

○會 費 (會長) 末廣 恭二 (主事) 藤島 範平 (主計) 濱田 彪 (編輯主任) 平賀 謙

○理事 今岡純一郎 山本 幸男 德大寺則廣 元良信太郎 堤 正義 斯波孝四郎 野中 季雄 山本 開藏 淺井虎之助 永村 清 山本 一磨 島谷 敏郎 河上 邦彦 太田 丙子郎 近藤 基樹 編飼 宗平 目良 恒

●農事電化協會

○目的 農事上電氣利用普及促進

○役員改選期 各役員任期は三ヶ年にして定時總會に於て改選

○定時總會 毎年十月若しくは十一月東京に於て開く

○費 (東京市麹町區有樂町一ノ五) (電話九ノ内一九四三)

○創立 明治三十年四月 會員數一八〇〇

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (年額) 正員十二圓 協同員十圓 准員六圓 團體員(一級三百圓 二級二百圓 三級百圓 四級三十圓)

○會 費 (會長) 末廣 恭二 (主事) 藤島 範平 (主計) 濱田 彪 (編輯主任) 平賀 謙

○理事 今岡純一郎 山本 幸男 德大寺則廣 元良信太郎 堤 正義 斯波孝四郎 野中 季雄 山本 開藏 淺井虎之助 永村 清 山本 一磨 島谷 敏郎 河上 邦彦 太田 丙子郎 近藤 基樹 編飼 宗平 目良 恒

●社団法人 日本鐵鋼協會

○目的 鐵鋼工業の發達を謀るにあり

○役員改選期 毎年三月 任期二ヶ年

○定時總會 毎月一回一日發行 定價三〇錢

○費 (東京市丸の内區有樂町一ノ一) (電話九ノ内三六二六)

○創立 明治十七年十一月

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (年額) 正員十二圓 協同員十圓 准員六圓 團體員(一級三百圓 二級二百圓 三級百圓 四級三十圓)

○會 費 (會長) 末廣 恭二 (主事) 藤島 範平 (主計) 濱田 彪 (編輯主任) 平賀 謙

○理事 今岡純一郎 山本 幸男 德大寺則廣 元良信太郎 堤 正義 斯波孝四郎 野中 季雄 山本 開藏 淺井虎之助 永村 清 山本 一磨 島谷 敏郎 河上 邦彦 太田 丙子郎 近藤 基樹 編飼 宗平 目良 恒

●社団法人 日本鑛業會

○目的 鑛業に関する學術の進歩並に實業の發達を謀るにあり

○役員改選期 毎年三月 任期二ヶ年

○定時總會 毎月一回二十日發行 定價七十五錢

○費 (東京市京橋區日吉町二番地) (電話銀座九〇三)

○創立 明治十七年十一月

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (年額) 正員十二圓 協同員十圓 准員六圓 團體員(一級三百圓 二級二百圓 三級百圓 四級三十圓)

○會 費 (會長) 末廣 恭二 (主事) 藤島 範平 (主計) 濱田 彪 (編輯主任) 平賀 謙

○理事 今岡純一郎 山本 幸男 德大寺則廣 元良信太郎 堤 正義 斯波孝四郎 野中 季雄 山本 開藏 淺井虎之助 永村 清 山本 一磨 島谷 敏郎 河上 邦彦 太田 丙子郎 近藤 基樹 編飼 宗平 目良 恒

●社団法人 帝國鐵道協會

○目的 鐵道事業の改良進歩を實け兼て會員の親睦を圖るを以て目的とす

○役員改選 四年毎に半數改選

○創立 明治三十一年

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (東京市丸の内區有樂町一ノ一) (電話九ノ内二四〇六至二四〇九)

○設立 大正二年二月 (大正十四年四月二十九日附官文第六四四號鐵道大臣認可)

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (年額) 正員十二圓 協同員十圓 准員六圓 團體員(一級三百圓 二級二百圓 三級百圓 四級三十圓)

○會 費 (會長) 末廣 恭二 (主事) 藤島 範平 (主計) 濱田 彪 (編輯主任) 平賀 謙

○理事 今岡純一郎 山本 幸男 德大寺則廣 元良信太郎 堤 正義 斯波孝四郎 野中 季雄 山本 開藏 淺井虎之助 永村 清 山本 一磨 島谷 敏郎 河上 邦彦 太田 丙子郎 近藤 基樹 編飼 宗平 目良 恒

●社団法人 鐵道同志會

○目的 鐵道及軌道事業の改良進歩に必要なる諸般の方法を講究し之が實行を努むることを目的とす

○役員改選 毎年五月之を開く

○定時總會 毎月一回一日發行 定價三〇錢

○費 (東京市丸の内區有樂町一ノ二) (電話九ノ内六八四)

○創立 大正二年二月 (大正十四年四月二十九日附官文第六四四號鐵道大臣認可)

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (年額) 正員十二圓 協同員十圓 准員六圓 團體員(一級三百圓 二級二百圓 三級百圓 四級三十圓)

○會 費 (會長) 末廣 恭二 (主事) 藤島 範平 (主計) 濱田 彪 (編輯主任) 平賀 謙

○理事 今岡純一郎 山本 幸男 德大寺則廣 元良信太郎 堤 正義 斯波孝四郎 野中 季雄 山本 開藏 淺井虎之助 永村 清 山本 一磨 島谷 敏郎 河上 邦彦 太田 丙子郎 近藤 基樹 編飼 宗平 目良 恒

●財団法人 工政會

○目的 邦家發展の基礎は工業にあり之の信條の下に團結し工業の獨立を確保せんがため工業家の連絡を完ふし工業に關する

○役員改選 毎年三月 任期二ヶ年

○定時總會 毎月一回二十日發行 定價七十五錢

○費 (東京丸の内區有樂町一階) (電話九ノ内三九八〇)

○創立 明治十七年十一月

○會員種別 正員 協同員 准員 團體員 特別員 名譽員 贊成員

○費 (年額) 正員十二圓 協同員十圓 准員六圓 團體員(一級三百圓 二級二百圓 三級百圓 四級三十圓)

○會 費 (會長) 末廣 恭二 (主事) 藤島 範平 (主計) 濱田 彪 (編輯主任) 平賀 謙

○理事 今岡純一郎 山本 幸男 德大寺則廣 元良信太郎 堤 正義 斯波孝四郎 野中 季雄 山本 開藏 淺井虎之助 永村 清 山本 一磨 島谷 敏郎 河上 邦彦 太田 丙子郎 近藤 基樹 編飼 宗平 目良 恒

電氣に関する學會及協會一覽



●社団法人 帝國瓦斯協會

(東京市麹町區有樂町一ノ二) (電話九ノ内一六二)

○目的 瓦斯事業の進歩發達を圖る事  
○事業 機關雜誌の發行 講演會の開催  
○發明の奨励 瓦斯事業要覽の編纂

○創立 明治四十五年五月  
○會員數 約千名 ○會費 正會員年額十圓  
○役員 會長 渡邊千代三郎  
副會長 (工博) 杉浦宗三郎 岡本 櫻  
常任理事 (法博) 岸 清一 谷口守雄 理事  
二〇名 監事二名

○書記長 水越 致和 評議員 約百名  
○その他 内部に技術部會 營業部會を置く  
○定時總會 毎年五月 ○役員任期二ケ年  
○機關誌 「帝國瓦斯協會雜誌」 隔月廿五日  
定價一部五十錢

●財団法人 遞信協會

(東京市麹町區大手町二ノ二) (通信省構内) (電話九ノ内四五六)

○目的 遞信事業に関する書籍及雜誌の發行  
其他の方法に依り知識の普及を圖り併せて適當の方法により會員及遞信事業に従事する者の慰勞救済及奨励を爲すにあ

○創立 明治四十一年  
○會員數 三八、五二三名  
○役員 會長 久原房之助

●社団法人 日本度量衡協會

(東京市麹町區永樂町一ノ二) (電話九ノ内八二五)

○事業 機關雜誌發行及私設無線電信通信  
○從事員の養成  
○創立 明治二十四年十二月  
○會員數 一、八三九名  
○會費 年額三圓  
○會長 若宮貞夫 主理 一五名  
○商議員 若干名  
○主務部長 小谷雄一郎 編輯部長 大角榮吉  
○教育部長 (工博) 五十嵐秀助  
○會計部長 杉 精三  
○會誌 電信協會雜誌 隔月發行  
○無線電信講習所開催 (別項電氣學校一覽參照)

○目的 本會は度量衡の統一 計量思想の普及並に之が關係事項の改善發達を圖るを以て目的とす  
○事業 「メートル」法度量衡の普及 度量衡器又は計量器製作販賣に関する改善發達 度量衡及計量に関する發明奨励 度量衡に関する圖書雜誌の發行 講演會  
○沿革 明治廿七年三月有志の結合を以て東京に大日本度量衡會生る 明治四十四年規模を擴張し社団法人日本度量衡協會となり今日に及ぶ  
○創立 明治四十四年七月六日  
○會員數 約一、一三八八名  
○會費 年額通常會員三圓 特別會員一圓

○役員 會長 廣岡宇一郎 櫻山 鐵男  
副會長 島山 敏行 大橋 八郎  
評議員 岡田榮五郎 向井 俊雄 村井二郎吉  
野添 愛善 柳谷 西三 山本直太郎  
宮崎 清則 稲田三之助  
理事 長 米澤與三七 上ノ知律二  
吉野 圭二 高妻 直道 進藤 誠一  
初見 五郎 猪熊 貞治 祝島 誠二  
高橋 正忠 富安 謙次 越智 茂  
山本 幸男 前原 助市 藤原 保明  
藤本 勝往 香西 俊雄 安藤 守孝  
佐々 信一 清水 順治 肥田 丈夫  
平井 宣英 平澤 要 關 正雄  
野本 正一 前田 直造 波多野保二  
淺野 平二 平塚次郎 牧野 實一

●社団法人 電信協會

(東京市外下目黒五) (電話高輪二〇七)

○目的 電氣通信に関する學術技術 電氣通信に関する法理 電氣通信の擴張整理の方法等を講究し尙電氣通信技術員の養成を爲すこと

○役員總會 評議員 幹事及支部長を以て組織し毎年一回東京に開く  
○役員改選期 毎年四月一日

○會 員 名譽會員四名 贊助會員一八名  
正會員一、五〇〇名  
○會 費 一ケ年正會員 六圓  
理事 長 金子堅太郎  
理事 長 石井久雄四郎  
理事 長 大野 政吉 不破 橋三  
○支部及支部長  
東京支部 常任委員 江副孫右衛門 村瀬二郎廣  
京都支部 幹 事 大須賀眞談 藤岡 幸二 赤塚 幹也  
大阪支部 委員長 高岡 齊  
常任委員 吉村開治 澁谷壽彦 中西健治  
北九州支部 常務幹事 百木三郎 田所芳秋  
○定時總會役員改選期 年一回四月  
○機關誌 「大日本電氣協會雜誌」 毎月廿日發行

●社団法人 大日本窯業協會

(東京市日本橋區濱町三ノ四) (電話浪花五四一二)

○目的 窯業の改良進歩を計るを目的とす  
○事業 雜誌圖書の刊行 講演會 講習會  
○開催 窯業に関する研究調査  
○立 明治二十七年  
○沿革 始め窯工會と稱し藤江永孝 松村 八次郎 平野耕輔等に依り組織せられし電氣に関する學會及協會一覽

○役員 會長 金子堅太郎  
副會長 中村 精男  
理事 長 岩本 藤吉 今岡純一郎  
高橋 嵩吉 田邊五兵衛 武嶋 次郎  
相馬 潤二 塚本藤三郎 堤 正義  
中島與會八 小尾 範治 山越 長七  
藤村延次郎 澤田 淳 高木熊太郎  
久保田權四郎 新藤富太郎 金井助三郎  
大澤 欽治 山形卯三郎 藤村 浩輔  
平賀佐十郎 百木伊之助 内池 五郎  
藤村 九平

●社団法人 家庭電氣普及會

(東京市麹町區有樂町一ノ五) (電氣俱樂部内) (電話九ノ内二〇三) (一九三三)

○目的 家庭に於ける電氣知識普及並に其の利用を促進し生活の改善を圖るを以て目的とす  
○事業 講演會 講習會 懇談會 展覽會 調査 研究及參考資料蒐集 定期刊行物

○役員 會長 後藤 新平  
副會長 中原岩三郎 青柳 榮司  
理事 長 伊藤 泰二 今井田清徳  
藤原 幸吉 島養利三郎 大江 スミ  
田中 傳 立原 任 永田兵三郎  
内藤 熊喜 野村 孝 山口喜三郎  
松永安左衛門 増田次郎 藤井 佐吉  
福中佐太郎 木津谷榮三郎 生野園六  
廣田 精一  
○支部長 石川芳次郎 太刀川平治  
○評議員 一五〇名  
○東京支部 東京市芝區櫻田本郷町  
○支部長 野村 孝  
○常議員 二〇名 弘作 金谷正夫 青柳豊三  
○京都支部 京都市下京區河原町  
○支部長 京都電燈會社内  
○常議員 鳥養利三郎  
○大阪支部 京都市港區九條、大阪市電氣局内  
○支部長 今井田清徳  
○幹 事 田村貫一 中島謙二 熊野與太郎  
山下通太 小松季吉 喜多恵吉  
○常議員 一五名

電氣に関する學會及協會一覽

神戸支部 神戸市湊町、神戸市電氣局内
支部長 廣田 精一
幹事 石田太郎 金澤進造 日比種吉
常議員 一三名
名古屋支部 名古屋市中區西松ヶ枝町
支部長 田村 春吉
幹事 巴 瀧 岡部誠治 酒井梅吉
常議員 三〇名
雜誌「家庭の電氣」毎月一回發行

日本ラヂオ協會

東京市麹町區有樂町一ノ五
電話九ノ内八三八番

目的 無線電話其他一般電波應用に關する知識の普及及交換並に研鑽を目的とする
事業 雜誌圖書發行 談話會 講演會 展覽會開催 發明の奨励並表彰 其他目的達成に適當なる事業
創立 大正十四年七月
會員數 特別會員一八名 一時拂通常會員一〇八名 通常會員二、三五〇名
特別會員年額六圓(一時拂金百圓以上)
役員並職員
理事 長 中原岩三郎
副會長 稻田三之助 鯨井恒太郎
庶務幹事 若目田利助 松瀬 勇雄
會計幹事 千野 米作 監査 買一
編輯幹事 池谷 増太 門岡 運雄

日本放送協會

東京市麹町區山下町
電話銀座一六〇〇番

目的 本會は無線電話放送事業を經營し且無線電話の進歩發達を圖るを以て目的とする
前項の目的に附帶する事業を經營することあるべし
設立 大正十五年八月六日(大正十五年八月二十日東京、大阪、名古屋各放送局解散日本放送協會に合併)
役員並職員
理事 長 岩原 謙三
副會長 子爵 淺澤 榮一
庶務理事 小森 七郎
理事 青木 謙太郎 高田 善彦 上田 碩三 伊藤 敬三郎 山根 文雄 岡谷 豊助 澤原 精一

電波長及周波數 三四五メートル、八七〇キロサイクル
塔 自立式二基高さ五五米

關西支部

大阪市東區博勞町二ノ一五
第一徵兵館、電話船場五二〇

役員並職員
理事 長 松方正雄 常務理事 廣江恭造
理事 友金喜三郎 伊藤敬三郎 猪俣九兵衛
神田喜三郎 岡野榮之助 鷲野米太郎
村井 基一 勝田銀次郎 高山 圭三
山田 潤二 矢野義二郎 山根 文雄
進藤 信義 北村長三郎 湯川忠三郎
監事 (常務) 田村 貫一 新井 榮吉
相良 忠道
總務部長 樋口卯太郎 放送部長 櫻山二郎
技術部長 伊東 敬一

大阪中央放送局

大阪府三島郡千里村

放送所 大阪府天王寺區上本町九丁目
豫備放送所 大阪市天王寺區上本町九丁目
演 奏 所 京都市下京區烏丸通リ七條下ル京都市物産館内
呼出符號 J O B K
放送開始 假放送大正十四年六月一日、一キロ放送大正十五年十二月一日、十キロ放送昭和三年五月二十日
△千里放送所設備概況
送信機 英國マルコニ無線電信會社製
空中線電力 一〇キロワット

電氣に関する學會及協會一覽

電波長及周波數 四〇〇メートル、八七五キロサイクル
塔 自立式二基高さ六〇メートル

東海支部

名古屋市西區南外堀町六ノ一
電話東一〇六一一八

役員並職員
理事 長 神野金之助 常務理事 中林賢吾
理事 伊藤次郎左衛門 生駒 重彦
石黒 傳六 服部 彌八 富田 重助
遠山 孝三 大島 宇吉 岡谷 豊助
瀧 定助 高橋 正彦 中島徳太郎
村瀬淳一郎 野々村佐一郎 松原 敬忠
深田三太夫 青木謙太郎 森 一兵
監事 (常務) 上遠野孝 大喜多寅之助
加藤勝太郎
放送部長 花井孝一 技術部長 上野七夫

名古屋中央放送局

名古屋市西區南外堀町六丁目

放送所 名古屋市西區南外堀町六丁目
演 奏 所 名古屋市西區南外堀町六丁目
放送開始 大正十四年七月十五日
呼出符號 J O C K
△放送所設備概況
送信機 英國マルコニ無線電信會社製
空中線電力 一キロワット
電波長及周波數 三七〇メートル、八一〇キロサイクル

松ヶ健次郎 福島 鎮藏 磯野 道
監事 (常務) 西園寺龜次郎 新井榮吉
加藤勝太郎
技術部長兼技術部長 高田 善彦
總務部長 阿部基一 事業部長 中郷孝之助

關東支部

東京市麹町區有樂町二ノ六
電話九之内自四一四一至四一四三

役員及職員
理事 長 門野重九郎
常務理事 中山 龍次
理事 大倉 發身 石井光次郎 千野 米作
若目田利助 小野賢一郎 荻野元太郎
長瀬 欽司 加納興四郎 津守 豊治
松代松之助 青山 謙郎 上田 碩三
監事 (常務) 石川源三郎 永野 謙
放送部長 矢部謙次郎 技術部長 北村政次郎

東京中央放送局

埼玉縣北足立郡新郷村

放送所 埼玉縣北足立郡新郷村
豫備放送所 東京市芝區愛宕山公園一號地
演 奏 所 東京市芝區愛宕山公園一號地
呼出符號 J O A K
放送開始 假放送大正十四年三月廿二日、一キロ放送大正十四年七月十二日、十キロ放送昭和三年五月二十日
△新郷放送設備概況
送信機 英國マルコニ無線電信會社製
空中線電力 一〇キロワット

中國支部

廣島市上流川町乙六五
電話廣島三、五〇〇一

役員及職員
理事 長 藤田一郎 常務理事 中村厚次郎
理事 熊平 源藏 林 平四郎 道源 權治
監事 水野恭造 澤原 精一 坂井善兵衛
放送部長 内田信夫 技術部長 安林靜雄

廣島放送局

廣島縣安佐郡原村

放送所 廣島縣安佐郡原村
演 奏 所 廣島市上流川町二六五
呼出符號 J O F K
放送開始 昭和三年七月六日
△放送所設備概況
送信機 英國スタンダート、テレホン、エント、ケイプル會社製
空中線電力 一〇キロワット
電波長及周波數 三五三メートル、八五〇キロサイクル
塔 自立式二基高さ三五米(複調式空中線使用)

九州支部

瀨本市花畑町
電話瀨本二、五三五

役員並職員
理事 長 柴藤 章 常務理事 伴 善光
理事 山田 珠一 橋本辰二郎 太田 清藏
福田慶四郎 松田 精一 松本健次郎

電氣に関する學會及協會一覽

監事 長野 友博 許斐友次郎  
事務部長 松倉一見 放送部長 元山 敦  
技術部長 村瀬 和一

○熊本放送局

放送所 熊本縣飽託郡清水村  
放送開始 熊本市花畑町、福岡市藥院期端町  
昭和三年六月十六日  
呼出符號 J O G K

△放送所設備概況

送信機 英國マルコニー無線電信會社製  
空中線電力 一〇キロワット  
電波長及周波數 三八〇メートル、七九〇キ  
ロサイクル  
塔 自立式二基高さ六〇米

○東北支部

仙臺市北一番丁青葉莊  
電話仙臺三、一〇〇

○役員並職員

理事長 佐久間俊一 常務理事 佐藤善一  
理事 伊澤平左衛門、福島順藏  
小林 富吉 金出一國士 三浦權四郎  
監事 一力次郎 事務部長 鈴木源二  
放送部長 草 政吉 技術部長 丸毛 登

○仙臺放送局

放送所 仙臺市小田原天遼前上  
演奏所 仙臺市北一番町青葉莊  
放送開始 昭和三年六月十六日  
呼出符號 J O H K

△放送所設備概況

送信機 英國スタンダード、テレホン、エン  
ドケーブル會社製  
空中線電力 一〇キロワット  
電波長及周波數 三六一メートル、八八〇キ  
ロサイクル  
塔 自立式二基高さ五五米

○北海道支部

札幌市南十一條西三ノ三四  
電話札幌七、七〇〇、三、四四一

○役員並職員

理事長 大瀧甚太郎 常務理事 古賀傳吉  
理事 磯野 進 大谷岩太郎  
渡邊熊四郎 金子元三郎 久保兵太郎  
平出喜三郎

監事 榎崎平太郎 古谷辰四郎  
事務部長 和里田庄之助 放送部長 落合守平  
技術部長 岡田 壽久

○札幌放送局

放送所 北海道札幌郡豊平町月寒村  
演奏所 札幌市中島公園内  
放送開始 昭和三年六月五日  
呼出符號 J O I K

△放送設備概況

送信機 英國スタンダード、テレホン、エン  
ドケーブル會社製  
空中線電力 一〇キロワット  
電波長及周波數 三六一メートル、八八〇キ  
ロサイクル  
塔 自立式二基高さ五五米

○社団法人 京城放送局

(京城府貞洞一ノ一〇〇)  
(電話光化門二、二五〇〇)

○設立 京城府貞洞一ノ一〇〇  
○放送開始 昭和二年二月十六日  
○理事長兼常務理事 櫻川 克彦  
○理事 坂田 文吉 森 吾一  
西田常三郎 肥塚 正太 山副 昇  
唯井 忠治 加藤 俊平 今村 賴  
市川 容 加藤 常美 方 肇  
市川 榮 金 漢 查 齊豐 三郎  
徐 丙 朝 澤村 亮一 朴 經 錫  
桑野 健治

監事(常任) 守屋徳夫 石原誠次郎 宗達榮  
技術部主任 藤原昌三 放送部主任 的野勇一

○設備概況 七二五坪 建坪(延)二八九坪  
○呼出符號 J O D K

○放送電波長 三六六メートル

○空中線用鐵塔 三角型自立式二基

(高さ四五メートル)

(塔間距離四五メートル)

○空中線 逆L型 線径SWG一九

番七ヶ邊鋼線四條 水平部二〇メートル

垂直部四一メートル

○送機 英國マルコニー無線電信會社製

六KW型一式

○電動發電機 (勵磁機付) 單相交流六KW五

〇〇V

○電機 三相交流電機誘導型二〇三馬力

○電

交流三、三〇〇V 六〇サイク  
ルの電力を一五KV A變壓器三臺により  
送降

○使用電力 空中線電力 一KW 周波數八  
二〇キロサイクル

○聴取者數 五、四五一(昭和三年四月末現  
在)

○放送時間 午前九時五分—十一時五五分  
午前〇時三十分—四時  
夜間六時三十分—九時三十分  
(五月一日より九日未日迄)

○大連放送局

(大連市大山通大連)  
中央電話局構内)

(關東廳通信局經營)

○放送所 大連市外沙河口大連無線電信局分  
室

○設立年月 大正十四年八月

○放送開始 大正十四年八月九日

○通信局長 櫻井 學

○事務部長 藤原 忠男(通信局監理課長)

○放送部長 土屋義郎(大連中央電話局長)

○技術部長 日下部新次郎(通信局工務課長)

○經理部長 大津 義雄(通信局經理課長)

○呼出符號 J Q A K

○放送電波長 三五五メートル

○設備概況

○送機 演奏所及事務室五〇坪

○建機 煉瓦作平家建(大連無線電信局分  
室)

電氣に関する學會及協會一覽

○空中線

(橋脚筋混泥土圓柱二基  
高さ一五〇尺 距離二五〇尺  
T型BS十四番七ヶ邊(水平部二〇〇尺、  
垂直部一五〇尺)四條

○放送機 ゼネラルエレクトロニクス會社製モ  
デルE T三六〇八號

○電 源 三相交流二〇〇ヴォルト

○主電動發電機 七馬力

○使用電力 二キロワット

○聴取者數 三、七〇〇名(昭和四年三月現在)

○放送時間 午前十一時、午後零時半 同三時  
半ヨリ各約十五分午後七時ヨリ約二時間  
(西部標準時)

○社団法人 日本工業俱樂部

(東京市豊町區永樂町二丁目一番地)  
(電話丸の内一、五四〇、一、五四六)

○目的 本俱樂部は工業家の連絡を鞏固にし  
斯業の發展を圖ることを目的とする公益  
法人なりとす

○創立 大正六年四月

○會員 一、〇〇九名

○費 在京會員(神奈川縣を含む)一ヶ年  
六十圓 地方會員(東京神奈川以外の各  
地方)一ヶ年三十圓

○理事 男爵 岡 塚磨

○事務理事 大橋新太郎 男爵 中島久萬吉

○理事 男爵 堀 誠之助 木村久壽彌太

○理事 服部金太郎 大川平三郎 門野重九郎  
根津嘉一郎 内藤 久寛 伊東米治郎

○社団法人 大阪工業會

(大阪市西區土佐堀通一大同ビル内)  
(電話土佐堀四、〇七三番)

○目的 工業上の諸問題を調査研究し其進  
歩發展を圖るを以て目的とす

○事業 工業上の諸問題調査研究 工業學  
校經營 講演會開催 會誌の刊行其他

○創立 大正三年七月

○沿革 大正十五年九月組織を改め社団法人  
となす

○會員數 五〇〇名

○理事 正會員年額 三十圓

○事務理事 工博 片岡安 常務理事 吉野幸一

○理事 村木 正憲 加藤小太郎 吉野 幸一  
平野 復男 阪田 成一 下村耕次郎



電氣に関する學會及協會一覽

○社団法人 電氣俱樂部 (東京市麹町區有樂町一ノ五) 電話九ノ内七二一、三、六七五

○目的 會員相互の親睦を圖り電氣事業の改良進歩を實くるを以て目的とす

○創立 大正十一年三月

○會員數 一、四一〇名

○理事 理事 若尾 璋八 常務理事 野村 孝 理事 利光 學一 大道 良太 立原 任 中川 末吉 永橋 至剛 南條 金雄 上野 吉二 納富 鑄一 矢島 富造 山本 源太 益田 元亮 増田 次郎 小川 浪平 杉野 文六郎 小川 量平 關口 善吉

○社団法人 中央電氣俱樂部 (大阪市東區北濱一丁目六、七) 電話本局四〇一、四〇二、四〇三

○目的 電氣業者及之に關係ある者會合し電氣事業進歩發達の途を講じ且相互の和親を圖るを以て目的とす

○創立 大正三年十一月六日

○會員數 一、一七二名

○社団法人 朝鮮電氣協會 (京城府本町二丁目九二) 電話九ノ内七二一、三、六七五

○目的 朝鮮に於ける電燈 電力 電鐵 其他一般電氣事業の進歩發達を圖り此等の事業を保護獎勵して其の利益を増進するを以て目的とす

○創立 大正二年一月

○會員數 名譽六 特別二六 通常一二五

○理事 理事 香根 源太郎 理事 藤原 忠太郎 武者 鍊三 幹事 見日 德太 森秀雄 評議員 三三名

○社団法人 臺灣發明協會 (臺北市幸町五番地)

○目的 臺灣に於ける發明及發見の獎勵 資金又は物品の貸付又贈與 特許權意匠 權及實用新案權の取得 權利の利用 前各項以外本會の目的達成上必要と認むる 凡ての事業

○創立 大正二年二月

○會員數 名譽六 特別二六 通常一二五

○社団法人 滿洲技術協會 (大連市山縣通一八大倉ビル内)

○目的 本會は技術の進歩發達を技術者の向上親睦を圖り以て社會の福利を増進するを目的とす

○創立 大正十三年二月廿四日

○會員數 名譽會員一名 贊助會員二八名 正會員 八五九名 學生會員 三〇名 計九一八名

○理事 會長 滿鐵理事 貝瀧 謹吾 副會長 滿鐵工作課長 佐藤 謙一 評議員 三〇〇 常務委員 滿鐵係七

○社団法人 國產電球聯合會 (京橋區銀座二丁目二番地) 電話京橋六、〇六八、六、〇六九

○目的 國產電球の向上發達を旨とし製品の研究調査、之が輸入又は外資に據る同製品の防遏に力むると共に製産能力の共通により如何なる大量の需要をも充たすことを期す

○創立 大正十二年六月

○會員數 五會社 (イロハ順) 市外中野町 北斗電球株式會社 市外澁谷町 エビス電球株式會社 市外北品川 帝國電氣株式會社 京橋銀座 旭電氣株式會社 市外澁谷町 メトロ電球株式會社

電氣に関する組合一覽

○東京電氣業組合 (麹町區有樂町一ノ五) 電話九ノ内二九五八

○目的 組合員協同一致して營業上の弊害を矯正し、取引上の改善を計り、製品の改良、工場調査、技術の進歩發達並に粗製濫造及び不正競争防止等の方法を講じ善行勸導者の表彰、其他相互の親睦を圖り以て新業進歩を目的とす

○創立 明治四十三年四月二十七日 (東京府廳認可)

○會員數 一級より八級まで (月額最高十圓 最低一圓)

○理事 理事 松本 留吉 加藤 木重教 副理事 前田 武四郎 棟居 喜九馬 組長 松代 松之助 副组长 矢島 富造 小穴 秀一 理事 石井 伍四郎 六角 三郎 理事 齊藤 正平 竹内 時次 理事 小川 定馬 田代 常 末野 助一 理事 島津 源吉 平澤 政三 守谷 正毅 評議員 鈴木 元 青山 藤郎 中村 幹治 上野 亮三 石渡 幸之輔 屋井 先藏 加藤 梅吉 中上川 三郎治 脇坂 買一 小瀬 虎 西尾 純一 弘田 國太郎 船垣 平太郎 鈴木 隆晴

○マツダ助成會 (東京市京橋區尾張町一ノ四) 東京電氣業東京出張所内

○目的 會員相互の親睦 販賣促進の獎勵 會員及其使用人の教育 會員の福祉の増進及援助 電氣知識の普及發達

○創立 大正十四年四月十八日

○會員數 四八〇名

○理事 理事 清水 與七郎 副理事 森田 香由 川筋 今藏 常務理事 橋 弘作 理事 望月 敏男 飯田 登 坂本 要之助 手塚 信吉 矢部 巖夷二 海老沼 啓助

○國產電球聯合會 (京橋區銀座二丁目二番地) 電話京橋六、〇六八、六、〇六九

○目的 國產電球の向上發達を旨とし製品の研究調査、之が輸入又は外資に據る同製品の防遏に力むると共に製産能力の共通により如何なる大量の需要をも充たすことを期す

○創立 大正十二年六月

○會員數 五會社 (イロハ順) 市外中野町 北斗電球株式會社 市外澁谷町 エビス電球株式會社 市外北品川 帝國電氣株式會社 京橋銀座 旭電氣株式會社 市外澁谷町 メトロ電球株式會社

○定時總會 每年六月 十二月 役員改選期 年一回

### 蓄電池業組合

(東京市芝區明舟町一番地)  
(電話芝一、四四八番)

○目的 組合員の親睦を圖り其福利信用を増進する爲め諸種の事業を計劃實行するを以て目的とす

○創立 昭和二年六月

○役員数 九十二名 ○會費 一ヶ月金二圓

○理事 近藤泰三郎

○常任理事 加藤 文吉 高岡 正義

○會計 東 長作 小山與兵衛

○名譽會員 五名 ○評議員 三十名

○定時總會及役員選舉 毎年五月

### 東京碍子業組合

(京橋區木挽町五ノ三 岩淵電)  
(氣工業内 電話銀座一九五番)

○目的 碍子業の發展を旨とし併て會員の親睦を圖ること

○創立 大正十四年五月

○役員数 一三名

○組合長 加藤 梅吉

○理事 原田 謙吉 奥泉順太郎

○定時總會 毎年一月 ○役員改選 毎年一月

### 東京電硝組合

(東京市本所區千歲町四七〇)

○創立 大正十五年四月

○役員数 四五名

○組合長 辻 政文 副組合長 芝松次郎

○理事 大塚忠次郎 村田 清次

○同 高野 岩雄 鈴木榮三郎

○監事 山口九太郎 會計主任 岩見廣治

○定時總會及役員改選 年一回一月

### 東京電友會

(東京市京橋區本木町三ノ二三)  
(川商店内 電話京橋二二五七)

○目的 本會は東京府に店舗を有する電氣關係事業者を以て組織す、本會は會員の親睦を計り且相互取引 聯絡意思の疎通を計るを目的とす

○創立 大正十五年一月

○役員数 五五名 ○會費 徴收せず(毎月無盡を行ひ其收益を本會の所得とす)

○組合長 川 甚太郎

○副會長 堀井 章一 今村 久義

○會計 及川銀太郎 山田 壽二

○理事 加藤新之丞 染谷安五郎 外山 隆居

○内藤 憲輔 中村 七藏 安田 一郎

○齋藤 政勝 廣島 爲治

○總會 毎月廿日例會を開く

○役員改選 毎年一月一回

### 大阪電氣同業組合

(大阪市東區北濱一丁目六番地)  
(北濱野村ビルヂング三階)  
(電話本局自四〇一四〇三番)

○目的 本組合は重要物産同業組合法に據り認可、組合員協同一致の利益を増進し新業の向上進歩發達を圖るを目的とす

○創立 昭和四年四月

○役員数 一千二百名(大阪市地區内營業者全部)

○賦課率 一級月額十五圓以下 九級同五十圓

○副會長 熊野與太郎

○評議員 松本龜太郎 神田喜三郎

○代議員 秋山武三郎 外十四名

○主 田村實一 外五十九名

○機關誌 「大阪電氣商報」 旬刊三日刊行

○主 幹 平田 鏡作 主筆 室川 義勝

○定時總會 毎年四月

### 關西電業會

(大阪市北區若松町二六電界社内)  
(電話北六〇八三番)

○目的 京阪神の電氣業者の親睦を圖り新業の發達を期す

○創立 明治四十年

○役員数 一六八名 ○會費 毎月一圓

○理事 日本電池株式會社 日本電氣株式

### 静岡電氣業組合

(静岡市上魚町一六)

○設立年月 大正八年一月

○組合長 河原 直孝

○副會長 長岐 逸郎

○組合員 三〇名

### 小樽電氣業組合

(小樽市色内町八丁目五六)  
(山田電機商會内)  
(電話一四九五)

○設立年月 大正八年一月

○組合長 河原 直孝

○副會長 長岐 逸郎

○組合員 三〇名

### 東京ラヂオ商組合

(東京市京橋區南傳馬町三ノ五)  
(第一相互館内)  
(電話京橋一六四二番)

○目的 組合員協力一致して營業上の弊害を矯正し共存共榮を圖り「ラヂオ」に関する諸般の進歩發達並に組合員相互の親睦を圖ること

○創立 大正十四年二月十四日

○役員数 五〇〇名

○會費 金二圓

○組合長 田邊 綾夫

○副會長 大西 立二 今村 久義

### 京都電業會

(京都市下京區西洞院三哲南)  
(電話長下四三五〇)

○目的 電氣事業關係者の親睦と新業の發達を圖る

○事業 講演 見學 集會

○創立 明治四十四年

○役員数 二四〇名

○會費 通常會員毎月二圓 特別會員は一級より五級まであり

○理事 日新電機株式會社 津田電線合名會社 京阪電氣鐵道株式會社 磯田菊治郎

○常任會計幹事 島津製作所 瀧本久之助

○常任庶務幹事 電氣公論社 藤井 忍堂

○定時總會 毎年一月九日(新年懇親會を兼ね)

○役員改選 幹事は總會の事前幹事の指名にて決定

### 名古屋電業組合

(名古屋市中區矢場町一ノ切三二)  
(土肥電社内)  
(電話本局五二七八 五五二九番)

○目的 本組合協同一致して營業上の弊害を矯正し其の利益を増進するを以て目的とす

電氣に関する組合一覽

### 會津陶磁氣同業組合

(福島縣大沼郡本郷町 電話一九番)  
組合長 山口豊助 副組合長 吉川源三郎

### 瀬戸電磁氣同業組合

(愛知縣東春日井郡瀬戸町)  
組合長 川本 啓

### 瀬戸陶磁氣同業組合

(愛知縣東春日井郡瀬戸町)  
組合長 川本 啓

### 東京ラヂオ商組合

(東京市京橋區南傳馬町三ノ五)  
(第一相互館内)  
(電話京橋一六四二番)

○目的 組合員協力一致して營業上の弊害を矯正し共存共榮を圖り「ラヂオ」に関する諸般の進歩發達並に組合員相互の親睦を圖ること

○創立 大正十四年二月十四日

○役員数 五〇〇名

○會費 金二圓

○組合長 田邊 綾夫

○副會長 大西 立二 今村 久義

電氣に関する組合一覽

會計監事 板屋 胤雄 松本 茂雄
評議員 三二名
機關誌 「日本ラヂオ組合聯合會商報」 毎月十五日發行非賣品
○定時總會 毎年四月

●日本西部

ラヂオ商工組合

(大阪市東區淡路町三丁目船場ビル内)
(電話本局自二七五〇至二七五五)

○目的 本組合は組合員協同一致して營業上の弊害を矯正し相互の親睦を計り其の利益の増進を計るを以て目的とす

○事業 一、製品の改良販路の擴張並に取引の改善を講ずること
一、使用人の取締を爲すこと
一、其の他必要なる事項

○創立 大正十四年九月
○會員數 六三五名(昭和四年三月十日現在)
○會費 A三圓 B二圓 C一圓(各一ヶ月)
組合長 服部嘉一郎 顧問 田村貫一
常任幹事 飯田 操 大關 源藏

●CCKラヂオ商組合

(名古屋市中區西瓦町三六)
(電話東三七九一)

○目的 組合員協力一致して相互間の意思疎通並營業上の進歩發達を圖る外購買組合を組織し必要に際して講演會 講習會を開く 放送無線に關する學術的研究資料を報道す

○創立 昭和二年十月(舊中部ラヂオ商組合を解散設立)
○組合員 名譽組合員五名 特別組合員一五名 普通組合員一三七名

●小樽ラヂオ商組合

(小樽市色内町八丁目五十八)
(山田電機商會内)

○設立年月 昭和三年四月一日
○幹事長 長岐 逸郎
○會員 二〇名

電氣ニ關スル試驗所研究所一覽

逓信省電氣試驗所

東京府下 大崎町
電話(六三三四) 六三三七
(高輪) 七〇四〇 七〇四一

▲設立
明治廿四年八月十六日設立逓信省電務局所屬
明治廿六年十一月電務局廢セラレ逓信局設置、逓信局工務課所屬トナル
明治廿九年三月工務課ヨリ分離シテ逓信局ノ一分課トナル
明治卅八年八月逓信局ヲ廢シ電務局設置電務局電氣試驗所トナル、監督係(電氣試驗ニ關スル事項)電話係(電氣事業技術上ノ監督ニ關スル事項)ニ分掌セララル
明治卅一年電務局ヲ廢シ逓信局設置、逓信局所屬トナリ監督、電信、電話、材料、調査、ノ五係ヲ置ク
明治卅六年十二月監督係ヲ電力係ト改メ電力ノ學術的研究及應用ニ關スル事項ヲ追加シ調査係廢止
明治卅九年十月電力係分掌中普通技術ニ關スル事務ヲ逓信局電氣課技術係ニ移サル
明治四十二年七月逓信局ヨリ分離シテ電氣局所屬トナル第一、第二、第三部ヲ置ク
大正三年二月電氣局大阪出張所新設試験及檢定ノ關係ヲ置ク、第四部(無線)ヲ設置ス
大正四年一月茨城縣那珂郡ニ平磯出張所新設

電氣ニ關スル試驗所研究所一覽

無線電氣及電話ノ學術的研究及應用ニ關スル事項ヲ分擔セシム

大正七年六月勅令第二百十九號ヲ以テ電氣試驗所官制發布、獨立官衙トシテ逓信大臣ノ管理ニ屬シ、四部、二出張所及一課ヲ置ク
大正十六年六月第五部及試作課増設
大正十一年六月福岡縣島ノ兩出張所完成
▲分擔分掌事務
第一部
單本位係 一、電氣單本位ニ關スル事項、
一、電氣應用ノ物理ニ關スル事項
試驗係 一、電氣測定及電氣測定器ノ研究並應用ニ關スル事項、一、電氣測定器ノ試驗及其成績證明ニ關スル事項
檢定係 一、電氣計器ノ檢定ニ關スル事項
第二部
電信係 一、電信及電信用品ノ研究並應用ニ關スル事項、一、電信用品ノ試驗及其成績證明ニ關スル事項
電話係 一、電話及電話用品ノ研究並應用ニ關スル事項、一、電話用品ノ試驗及其成績證明ニ關スル事項
第三部
電力係 一、電力及電氣事業用品ノ研究並應用ニ關スル事項、一、電燈及電氣照明ノ研究並應用ニ關スル事項、一、電氣事業用品及電氣照明用品試驗並ニ其成績證明ニ關スル事項

檢査係 一、通信用電力機器ノ試驗及其成績證明ニ關スル事項、一、所内電力配給ニ關スル事項

調查係 一、電氣事業用品ノ調査ニ關スル事項、一、電氣工作物ノ設計ニ關スル事項
第四部
無線電氣 一、高周波電氣及高周波電信用品ノ研究並應用ニ關スル事項、一、高周波電氣用品ノ試驗及其成績證明ニ關スル事項、一、電氣電話以外ノ高周波電氣ニ關スル事項
無線電話係 一、高周波電話及高周波電話用品ノ研究並應用ニ關スル事項、一、高周波電話用品ノ試驗及其成績證明ニ關スル事項
第五部
材料係 一、電氣用材料ノ研究ニ關スル事項、一、電氣用材料ノ試驗及其成績證明ニ關スル事項
化學係 一、電氣化學其他電氣ニ關スル化學上ノ研究及應用ニ關スル事項、一、電氣化學製品及電氣用材料ノ化學的試驗並其成績證明ニ關スル事項
大阪、福岡、福島出張所
試驗係 一、電氣用品ノ研究試驗及其成績證明ニ關スル事項
檢定係 一、電氣計器ノ檢定ニ關スル事項

電氣ニ關スル試驗所研究第一覽

- 庶務係 一、庶務會計及統計ニ關スル事項  
一、所中他係ニ屬セザル事項
- 平穩出張所  
一、高周波電信電話及高周波電信電話用品ノ研究並ニ應用ニ關スル事項、一、電信電話以外ノ高周波電氣ニ關スル事項
- 試作課  
一、電氣ニ關スル發明及研究ノ指導獎勵ニ關スル事項、一、電氣用品ノ試作加工及修繕ニ關スル事項
- 整理係 一、圖書ノ保管整理ニ關スル事項  
一、電氣用品ノ試驗依頼ニ關スル事項  
一、他係ニ屬セザル技術ニ關スル事項
- 庶務課 庶務係、計理係ノ二係ヲ置ク
- ▲試驗依頼手續及手数料  
電氣計器測定規則、電氣計器ノ公差檢定及檢定手数料ニ關スル件、電氣用品試驗規則、電氣用品試驗細目表參照
- ▲役員  
第一部長 長 高津 清  
第二部長 長 眞野 正雄  
第三部長 長 肥田 丈夫  
第四部長 長 密田 良太郎  
第五部長 長 横山 英太郎  
第六部長 長 小川 若三郎  
第七部長 長 上妻 博  
第八部長 長 藤田 重明  
第九部長 長 田中 貢  
第十部長 長 高岸 榮次郎  
第十一部長 長 石井 鐵五郎  
第十二部長 長 喜代田 渡

鐵道省大臣官房研究所

- 東京市芝區濱崎町一(濱松町驛隣)  
電話七九七七一四〇〇一四〇一
- ▲設立 第三科(電氣)大正七年三月  
昭和二年三月現在ノ位置ニ移轉
- ▲試驗又ハ研究科目  
省内ニテ使用スル鐵道用品及材料ノ試驗並ニ研究
- ▲設備  
電氣動力 四六〇KV A屋外變壓器設備  
二〇〇AH蓄電池一〇〇個  
四〇〇AH同 一一〇個
- ▲試驗用機械  
單相試驗用變壓器 二〇萬V 二〇KV A  
同 五萬V 五KV A  
同 一萬V 三KV A  
三相試驗用變壓器 五萬V 六〇KV A  
直流動電機 三〇〇〇V 一・五KV A  
單極發電機 一萬V 五V  
直流動發電機 六〇〇V 一八KW  
同 二五〇V 二〇KW  
三相分捲整流子電動機 二〇〇V 一五HP  
三相水銀蒸氣整流機 二二〇V 二〇KW  
二〇〇噸アルセン試驗機  
三〇噸アルセン試驗機  
五噸針金試驗機  
50噸張力試驗機  
恒溫恒濕裝置其他
- ▲電氣計器類  
ダツデル高壓用オウシログラフ、携帯用  
六エレメント、オウシログラフ、携帯用

商工省燃料研究所

- 埼玉縣川口町  
電話川口三一五 三二四
- ▲設立 大正九年八月
- ▲研究項目 石炭成分及性質ノ研究  
炭粉燃焼ノ研究  
低溫乾燥ノ研究  
發生爐瓦斯ノ研究  
蒸炭ノ研究  
劣質炭利用ノ研究  
低溫タールノ精製及加工ノ研究
- ▲役員  
研究所長 工學博士 鐵道技師 松嶋 信太  
同 工學士 同 木村 康助  
同 理學士 同 中村 裕雄  
同 同 服部 定一
- ▲設備  
ホルベック式粉炭機  
機體一噸四分ノ一 一基

商工省東京工業試驗所

- 東京市外代々橋町橋ヶ谷  
電話四谷五四九・五五〇・五五一
- ▲設立 明治三十三年六月二日
- ▲試驗及研究科目  
第一部 一般化學分析ニ關スル事項  
第二部 油脂、蠟、蠟、蛋白質、糖類、纖維素及ビ以上ノ各製品、工業藥品、非金屬元素、燃料、染料、漆料、漆器等ニ關スル事項  
第三部 セメント、耐火物原料(坩堝、煉瓦、瓦、土管、内張材料、其他建築材料)、ゼーゲル溫度計等ニ關スル事項  
第四部 タール及ビ其製品、染料製造及ビ其應用ニ關スル事項  
第五部 鐵材其他諸材料及ビ「セメント」、煉瓦等ノ強弱試驗、電氣化學製品及ビ電氣鍍金ニ關スル事項  
第六部 高壓化學ニ關スル事項
- ▲設備 前記試驗及研究科目ニ必要ナル諸般ノ設備
- ▲試驗手續並ニ手数料  
分析試驗又ハ鑑定ノ依頼ヲ爲ス者ハ第一級樣式又ハ第二級樣式ノ依頼書ニ現品ヲ添ヘテ之ヲ差出スヘシ  
電氣化學ニ關スル試驗料金  
溶液電解試驗 每一件 四十圓以上  
溶解物電解試驗 每一件 十圓以下
- ▲役員  
所長 工學博士 大島 義清  
技師 定員十名

商工省大阪工業試驗所

- 大阪市淀川區大仁西二丁目  
電話土佐堀五〇九・六〇八・六四九
- ▲設立 大正七年五月十五日
- ▲試驗又ハ研究科目 東京工業試驗所ニ同ジ
- ▲設備 東京工業試驗所ニ同ジ
- ▲試驗出願手續並ニ手数料 所ニ同ジ
- ▲役員  
第一部長 長 莊司 市太郎  
第二部長 長 樫田 茂一  
第三部長 長 片山 徹吉  
第四部長 長 内田 十喜治  
第五部長 長 篠崎 英之助  
第六部長 長 松永 六二  
庶務課長 奥川 政吉

電氣ニ關スル試驗所研究第一覽

電氣ニ關スル試驗所研究所一覽

### 朝鮮總督府 燃料選鑛研究所

朝鮮京城府外鷹巢津  
電話龍山七七 四九〇

- ▲設立 大正十一年十月
- ▲事業 炭田調査事項 全鮮ニ於ケル石炭ノ賦存狀況並ニ埋藏量調査
- ▲炭田試驗事項 1 朝鮮有煙炭ノ在來燃焼法ノ改良
- 2 朝鮮有煙炭ノ低温乾留方法ノ經濟的試驗及調査
- 3 朝鮮無煙炭ノ在來燃焼法ノ改良
- 4 朝鮮無煙炭ノ粉碎燃焼法ノ經濟的試驗
- 5 煉炭試驗
- 6 有煙炭ノ風化防止試驗
- ▲選鑛製鍊 1 金、銀、亞鉛、黑鉛等朝鮮主要礦物ノ選鑛製鍊ノ實際的改良方法ノ試驗研究
- 2 コバルト、輕鐵原料其他ノ特種礦物ノ調査並處理方法ノ試驗研究
- ▲設備 石炭試驗設備 試驗室、化學分析室、試驗室ニハ、アツプス式五噸粉砕機一臺、廣谷氏「バルバライザ」(粉砕焚燒機)二臺、汽爐二臺、一五〇キロ發電機一臺、瓦斯發生爐一臺、煉炭製造機一臺
- ▲選鑛製鍊設備 選鑛製鍊工場、各種小型實驗機、電氣爐、簡易乾式焙燒爐、レントゲ

### 大阪市立工業研究所

大阪市北區北扇町  
電話北四六・三二四〇・四九〇一

- ▲第三課 (庶務、博物館、圖書館、研究調査ニ關スル出版及特許出願其ノ他)
- ▲主任 文村 寬一
- ▲設立 大正五年三月
- ▲業務 庶務部 依頼受理、設備利用、圖書閱覽陳列展覽、講演講習、發明並ニ産業ノ助長獎勵、工業原料及製品ノ調査、指導成績、其他ノ部ノ主管ニ屬セザル事項
- ▲第一部 染料及染色、纖維化學、藥品、顏料、可塑性縮合物、電氣化學工業、原料材料及製品ノ鑑定並ニ分析
- ▲第二部 油脂、塗料、食料品、硝子、金屬、道路鋪裝材料、其他化學工業ニ關スル事項
- ▲第三部 製造用機械、製造用裝置、機械能率、材料強弱、其他機械ニ關スル事項
- ▲試驗出願手續及手数料
- ▲左記事項ヲ口頭又ハ書面ニテ申出ツレハ可ナリ
- ▲一、住所姓名及職業、二、依頼ノ要項
- ▲三、依頼ニ對スル應答希望期限
- ▲四、其他參考トナルヘキ事項
- ▲料金ハ別ニ定ムル處ニ依ル
- ▲役員 所長 長 理學博士 高岡 齊
- ▲電氣ニ關スル試驗所研究所一覽

ン蓋、分析室、變電室、選鑛製鍊工場ニハ工業的試驗ヲ爲シ得ル一般礦物ノ選鑛設備及金銀鑛ノ濕式製鍊設備ヲ有ス

### 臺灣總督府 中央研究所工業部

臺灣臺北州北市幸町

- ▲所長 (殖產局長) 今村武志
- ▲炭田調査係主任 技師 內田龍五郎
- ▲石炭試驗係主任 同 武田 藤二
- ▲選鑛製鍊係主任 同 石川 留吉
- ▲庶務係主任 同 瀨上 靜次
- ▲設立 大正十年八月
- ▲事業 有機工業化學科、無機工業化學科、電氣化學科、醱酵工業科ノ四科ヲ置ク
- ▲電氣化學科ノ研究項目ハ左ノ如シ
- ▲電解ニ關スル研究、アルミニウム製造及純淨工業採集試驗、電解鹽素ノ利用研究、電氣滲透ニ關スル研究、炭素電極及黑鉛製造試驗、空中窒素ノ固定ニ關スル電氣化學的研究
- ▲設備 蓄電池、蓄電池、二〇型五個及同附屬電動發電機一臺、鍍金電動發電機一臺、單相變壓機二臺、X線紫外線發生裝置、一般測定器具、分析用器具
- ▲役員 所長 理學博士 加藤 均三
- ▲部長 理學博士 門多 道別
- ▲電氣化學科長 門多 道別

### 東京市電氣研究所

東京市麩町區有樂町二ノ六  
電話丸ノ内二三八八・二三八九

- ▲設立 大正十三年八月一日
- ▲業務 一、研究調査 電氣ニ關スル學術的並ニ技術的研究並ニ調査
- 一、試驗其他 電氣計器試驗、電氣用品試驗及電氣工事設計
- ▲設備 電氣計器及電氣用品試驗設備
- ▲電氣博物館、電氣圖書館
- ▲電氣出願手續並ニ手数料
- ▲左記規程參照
- ▲東京市電氣計器試驗規程、東京市電氣計器試驗手續條例、東京市電氣用品試驗規程、東京市電氣用品試驗手續條例、東京市電氣用品試驗手續條例、東京市電氣博物館規程、東京市電氣博物館使用條例、東京市電氣圖書館規程、東京市電氣圖書館圖書閱覽規定
- ▲役員 所長 工學士 太田原 俊
- ▲第一課 (研究、試驗及調査) 課長 工學士 高田 實
- ▲工學士 技師 原田保之助
- ▲工學士 技師 沼倉 秀穂
- ▲第二課 (試驗、檢定及検査) 課長 技師 小津延之助
- ▲技師 足立 義義

### 法人電氣協會

東京市麩町區有樂町一ノ五  
電氣俱樂部內

- ▲顧問 工學博士 平賀 義英
- ▲庶務部主任 和食 久馬
- ▲第一部主任 理學博士 渡邊 卓郎
- ▲第二部主任 岩本 義虎
- ▲第三部主任 田島 齊三
- ▲設立 大正十二年四月廿八日開所
- ▲大正十二年九月一日大震災ノタメ燒失解散
- ▲大正十三年四月二十一日復興
- ▲試驗項目 大正十一年五月勅令第二九八號及同年五月選信省令第三八號ニヨリ電氣計器ノ試驗ヲ行フモノトス、本所ニ於テ試驗ヲナス電氣計器ハ左記各號ニ該當スルモノニ限ル
- ▲イ、選信大臣ノ承認シタル型式ニ適合スルモノ
- ▲ロ、電氣計器檢定期規第七條及第八條ノ規定ニ適合スルモノ
- ▲ハ、電壓三五〇、ヴォルト以下、電流三〇〇アンペア以下、周波數五〇及六〇サイクルノ定格ヲ有スルモノ

### 電氣計器東京試驗所

東京市芝區月見町二ノ一  
電話高輪九〇四

- ▲設備 主要建物、本館鐵筋、コンクリート、地階付三階建一棟、延坪七四六坪
- ▲附屬建物、平家建一棟 同 二、三、五坪
- ▲主要機械器具
- ▲一、自動三相誘導電壓調整器附屬品一式
- ▲一、三相交流同期電動直流發電機一式
- ▲二、二基
- ▲一、ナトリウム電壓調整器 二臺
- ▲一、直流電動單相及三相交流特種發電機
- ▲二〇基
- ▲一、三相誘導電動直流發電機(充電用) 二基
- ▲一、蓄電池 一、二四個
- ▲一、試驗臺 二〇臺
- ▲一、標準計器其他 五五〇點
- ▲試驗出願手續並手数料 電氣計器試驗及試驗料規定ニ據ルモノトス
- ▲顧問 工學博士 兒玉半植
- ▲所長 高橋亨二
- ▲技師 土屋秋隆 外所員六十名
- ▲電氣計器大阪試驗所 大阪府西淀川區大仁本町二丁目九  
電話土佐堀三三三〇
- ▲設立 大正十二年六月
- ▲試驗項目 大正十一年五月勅令二九八號及同年五月選信省令第三八號ニヨリ電氣計器ノ試驗ヲ行フモノトス本所ニ於テ試驗ヲ爲ス電氣計器ハ左記各號ニ該當スルモノ

電氣ニ關スル試驗所研究所一覽

電氣ニ關スル試驗所研究所一覽
イ、通信大臣ノ承認シタル型式ニ適合スルモノ
ロ、電氣計器檢定規則第七條及第八條ノ規定ニ適合スルモノ

關西試驗所

關西試驗所
大阪市西淀川區大仁本町二丁目九
電話土佐堀三二三〇
設立 大正十四年十月

物理化學研究所

物理化學研究所
東京市本郷區駒込上富士前町
電話小石川(九三)八・一七〇三
設立 大正二年六月高峰謙吉氏ハ國民科

電氣雜誌及新聞社一覽

電氣雜誌及新聞社一覽
合資會社 電氣之友社
東京市京橋區南金六町六
電話銀座二五二・二四・八五七番
振替口座東京二二〇三番

電氣雜誌及新聞社一覽

電氣報知社

東京市本郷區菊坂町六三  
編輯兼發行人 岡崎榮左衛門  
電氣報知 每月一回廿五日發行  
一冊一〇錢  
昭和二年八月

合資東京電氣興信所

東京市麹町區內幸町一ノ五  
電話銀座二五六〇・三七五四  
發行兼編輯人 松本嘉壽一  
光 月三回五ノ日發行  
一部一五錢 一ヶ年一〇圓  
昭和二年十一月

株式電氣日報社

東京市京橋區元數寄屋町二ノ四  
電話銀座三一三七  
振替東京五八一一五番  
社長、發行兼編輯人 三浦覺支  
電氣日報 日刊一部四錢 一ヶ月八〇錢  
大正十年三月

無線タイムス社

東京市芝區琴平町二  
電話芝二一八一八番  
振替東京一九〇〇八番  
發行兼編輯人 宮原仙一郎  
無線タイムス 每月三回一日、十日、廿日  
一部一五錢 一年三圓六〇錢  
大正七年九月

電氣新聞社

大阪府天王寺區大道四丁目四  
代表者發行兼編輯人 牧純隆  
電氣新聞 月一回一日發行 一部三五錢  
大正十二年四月

電氣之日本

大阪府中河內郡布施町  
東足代  
電話小坂二一二番  
振替大阪七〇七一二番  
發行兼編輯人 瓜坂正博  
主幹 中井一雄  
電氣之日本 月三回一日、十日、廿日發行  
一部一〇錢 一年三圓六〇錢  
大正十三年五月

電力需給促進會

大阪府西區新町通  
電話新町二〇八一  
發行兼編輯人 三井彌三郎  
熱 月一回二十五日發行  
一部二五錢 一ヶ年三圓  
昭和三年六月

電氣通信社

大阪府東區博愛町一丁目  
電話船場二三一六  
振替大阪八二七二一  
編輯兼發行人 岩淵忠太  
電氣通信 每月一回十五日發行  
一部三〇錢  
昭和三年五月  
電氣雜誌及新聞社一覽

無線實驗社

東京市神田區錦町一ノ一九  
電話神田四七一・三二九六  
振替東京六四九七三番  
發行兼編輯人 小川菊松  
無線之實驗 月一回一日發行 一冊八〇錢  
一ヶ年九圓五〇錢  
大正十三年五月

關西支局

大阪府東區唐人町一ノ四一  
電話船場三九二二番  
組員タイムスピルアインテ  
三〇四室

日本無線電話普及會

東京市日本橋區本石町三ノ二五  
電話日本橋二九七二番  
振替東京六四八七番  
編輯兼發行人 池田長彦  
無線電話 月一回一日發行 一部五〇錢  
大正十三年五月

大阪電氣商報社

大阪府北區堂島中二ノ九  
電話北區五八〇・六二〇  
振替大阪八二〇七七番  
編輯兼發行人 平田健作  
大阪電氣商報 每月三回三ノ日發行  
一部一〇錢 一年三圓  
昭和二年三月

電氣評論社

京都市下鴨中河原町八二  
電話上二二三三九番  
振替大阪二二六七〇番  
編輯兼發行人 赤羽四郎  
編輯顧問 青柳榮司  
編輯主幹 瀧孝三郎  
電氣評論 每月一回十日發行 一部六〇錢  
一ヶ年七圓五〇錢  
大正二年一月

電氣公論社

京都市下京區西七條三番南  
電話下四三三〇番  
振替大阪五〇五九六番  
社長、發行兼編輯人 藤井佐吉  
電氣公論 每月一回十五日發行 一部五〇錢  
一ヶ年五圓  
大正六年八月

株式電氣新報社

大阪府北區東梅田町二七  
東京支局 東京府下目黒町下目黒三〇九  
編輯兼發行人 長瀬金平  
電氣新報 月五回 一部一〇錢  
一ヶ年五圓  
明治四十年十一月  
東京市神田區錦町三ノ一八  
電話神田六五三番

九二六

株式電氣生活社

大阪府北區堂島北町三六  
電話北區三〇一八番  
振替大阪三七一九六番  
發行兼編輯人 永野牛次郎  
スタンダード 月一回十日發行  
一部五〇錢 一年六圓  
大正六年九月

電氣旬報

東京市京橋區南橫町一  
電話京橋一四四番  
（主任 津野輝夫）  
電氣旬報 月三回一日、十日、廿日發行  
一部一〇錢 一年三圓五〇錢  
大正三年八月

電氣界

大阪府北區若松町二六  
電話北區六〇八三番  
振替大阪一八二一〇番  
代表者發行兼編輯人 中島盛利  
電氣界 月一回十五日發行  
一部三五錢 一年四圓二〇錢  
明治四十年十一月

電氣之運輸社

兵庫縣寶塚市川面新開莊八  
編輯兼發行人 鈴木國夫  
電氣之運輸 每月一回十五日發行 一部二〇錢  
大正十五年一月

電力之産業社

名古屋市中區新榮町八ノ二  
電話東三二二八番  
編輯兼發行人 權田耕平  
電力之産業 每月一回五日發行 一部二五錢  
大正十五年五月

初等電氣雜誌發行所

名古屋市中區新榮  
電話本局六〇八六  
振替名古屋三三三二四  
代表者編輯人 江崎保二  
初等電氣雜誌 每月一回一日發行 一部二〇錢  
一ヶ年二圓三〇錢  
昭和二年五月  
▲初等電氣工學標準講座 ▲電氣書籍出版

株式東北の電氣社

福島市陣場町二一  
電話六七四番  
振替仙臺八〇九〇番  
發行兼編輯人 中野誠太郎  
▲日本電氣新聞 每月六回 一部七錢  
▲東京營業所 東京市丸ノ内海上ビル七〇五  
電話丸ノ内一六七九番  
▲支社 仙臺、北海道

電氣自由新聞社

九二七

東京市京橋區南金六町五  
（銀座通電氣之女社内）  
電話銀座二五二五  
發行兼編輯人 石川直利  
電氣自由新聞 月二回五日、二十日 一部五錢  
一ヶ年五圓（送料共）  
昭和四年四月  
大阪府北區堂島中二ノ二  
電話北一九〇六  
渡邊眞次





一般電氣工學	小澤省吾	二、六〇	電氣工學計算問題集	工業教育會	二、六〇
最新電氣工學通解	澤平	二、六〇	三種程度電氣上卷	井上謙吉	二、六〇
初等電氣工學	佐伯順太郎	二、六〇	電氣計算の考へ方	同	二、六〇
電氣工學概論	スタイン	二、六〇	電氣回路計算法	通試社	二、六〇
實驗電氣工學 第一卷上	カラハトフ	三、三〇	電氣理論問題新解法の	中條清三郎	三、三〇
實驗電氣工學 第一卷下	同	三、三〇	電氣機械問題新解法の	佐野作一	三、三〇
通信ボックツブツク	同	二、三〇	計算尺使用法	山中新造	二、三〇
技術者用高等數學	大竹太郎	四、〇〇	計算尺使用法及實用表	大河内治	二、三〇
電氣技術者用高等數學	遠藤政之助	三、〇〇	計算尺の使ひ方	片山三平	二、三〇
電氣家用高等數學入門	大河内治	三、〇〇	計算尺の原理及使ひ方	山田英雄	一、〇〇
選試參考高等數學	理學士	三、〇〇		松本、片岡	二、三〇
實用一般高等數學	同	三、〇〇			
改訂電氣用算術	久末啓一郎	一、〇〇			
同電氣用代數	同	二、〇〇			
同電氣用幾何	同	二、〇〇			
わかる三角法	秋山武太郎	二、〇〇			
改訂電氣用三角法	電機學校	二、〇〇			
三角函數並對數表	同	三、〇〇			
双曲線函數表	同	三、〇〇			
電氣用數學	大河内治	四、〇〇			

(II) 測定

電氣工學計算問題集	工業教育會	二、六〇
三種程度電氣上卷	井上謙吉	二、六〇
電氣計算の考へ方	同	二、六〇
電氣回路計算法	通試社	二、六〇
電氣理論問題新解法の	中條清三郎	三、三〇
電氣機械問題新解法の	佐野作一	三、三〇
計算尺使用法	山中新造	二、三〇
計算尺使用法及實用表	大河内治	二、三〇
計算尺の使ひ方	片山三平	二、三〇
計算尺の原理及使ひ方	山田英雄	一、〇〇
電氣磁氣測定法並	同	二、三〇
電氣磁氣測定器具	同	二、三〇

(III) 電力輸送、配電

電氣工學電氣測定器	工業博士	一、〇〇
初等電氣工學電氣測定器	高津清外三	一、〇〇
電氣測定器	同	一、〇〇
電氣測定法	電氣工學會	二、〇〇
電氣測定法 第一卷	同	二、〇〇
電氣測定法 第二卷	同	二、〇〇
電氣測定法 第三卷	同	二、〇〇
送電及配電前編(送電)	藤田經定	三、〇〇
送電及配電後編(配電)	同	三、〇〇
電氣技術者用高等數學	大竹太郎	四、〇〇
電氣家用高等數學入門	大河内治	三、〇〇
選試參考高等數學	理學士	三、〇〇
實用一般高等數學	同	三、〇〇
改訂電氣用算術	久末啓一郎	一、〇〇
同電氣用代數	同	二、〇〇
同電氣用幾何	同	二、〇〇
わかる三角法	秋山武太郎	二、〇〇
改訂電氣用三角法	電機學校	二、〇〇
三角函數並對數表	同	三、〇〇
双曲線函數表	同	三、〇〇
電氣用數學	大河内治	四、〇〇

長距離電力輸送法	米國工學士	三、〇〇	發電所及原動機	木多勲一郎	三、〇〇
初等配電法	山崎四郎	一、〇〇	蒸氣タービン發電所	弘田龜之助	三、〇〇
架空電力輸送	持木勇次郎	四、〇〇	電氣工學汽力發電所	高津清外三	一、〇〇
送電配電公式之其理論	陳内勝市	一、〇〇	初等電氣汽力發電所	同	一、〇〇
送電線路建設の實際	榎本卓藏	一、〇〇	水力發電所 第一卷	ルンモリア	一、〇〇
特別高壓送電線路の研究	工學博士	二、〇〇	水力發電所 第二卷	同	一、〇〇
送電線の電氣的階梯(一)	太刀川平治	二、〇〇	水力發電所 第三卷	同	一、〇〇
架空電線路測量法	工學士	二、〇〇	水力電氣上卷	同	三、〇〇
既設建物内の配線法	小澤省吾	二、〇〇	最近水力電氣	同	三、〇〇
理科教室を中心とする	同	二、〇〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇
小學校の電氣設備	同	二、〇〇	熱機(内燃機)	同	三、〇〇
電氣保護方式の適用	同	二、〇〇	熱機	同	三、〇〇
理論電器實際的運用	同	二、〇〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇
電機其設計製作及利用	同	二、〇〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇

(IV) 發電所及原動機

水車及調速機の故障と	田中茂	一、七〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇
水車調速機及	同	一、七〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇
水車調速機後編	同	二、〇〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇
新編水力發電	同	二、〇〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇
新編火力發電	同	二、〇〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇
高等科汽力發電所	同	二、〇〇	發電用水力原動機	同	三、〇〇

(V) 電燈及照明附電

電氣工學電氣測定器	工業博士	一、〇〇
初等電氣工學電氣測定器	高津清外三	一、〇〇
電氣測定器	同	一、〇〇
電氣測定法	電氣工學會	二、〇〇
電氣測定法 第一卷	同	二、〇〇
電氣測定法 第二卷	同	二、〇〇
電氣測定法 第三卷	同	二、〇〇
送電及配電前編(送電)	藤田經定	三、〇〇
送電及配電後編(配電)	同	三、〇〇
電氣技術者用高等數學	大竹太郎	四、〇〇
電氣家用高等數學入門	大河内治	三、〇〇
選試參考高等數學	理學士	三、〇〇
實用一般高等數學	同	三、〇〇
改訂電氣用算術	久末啓一郎	一、〇〇
同電氣用代數	同	二、〇〇
同電氣用幾何	同	二、〇〇
わかる三角法	秋山武太郎	二、〇〇
改訂電氣用三角法	電機學校	二、〇〇
三角函數並對數表	同	三、〇〇
双曲線函數表	同	三、〇〇
電氣用數學	大河内治	四、〇〇

昭和四年電氣年鑑

Table listing books under section (六) 電氣鐵道. Columns include book title, author, and price. Titles include '家庭の電化に就て', '家庭電化の手引', '家庭電化の電氣', etc.

(七) 電氣機械及器具附材料

Table listing books under section (七) 電氣機械及器具附材料. Columns include book title, author, and price. Titles include '列車電氣裝置', '電氣信號と保安裝置', '電氣機械及器具附材料', etc.

昭和四年電氣年鑑

Table listing books under section (六) 電氣鐵道. Columns include book title, author, and price. Titles include '電機學實驗教程', '電氣學實驗大要', '電氣機械設計', etc.

(七) 電氣機械及器具附材料

Table listing books under section (七) 電氣機械及器具附材料. Columns include book title, author, and price. Titles include '電氣機械設計', '電氣機械製作法', '電氣材料', etc.

(八) 電池

書名	著者	定價
新編電氣通論第二編分冊 一次及二次電池	工學士 藤田 經定	一、三〇
電氣化學及蓄電池	同 宮川 三一	一、〇〇
蓄電池及其取扱法	同 大森 安象	一、三〇
乾電池製作法 其特性並試驗法	同 吉川 龜次郎	三、〇〇
船用蓄電池に就て	同 早大工學士 榮	二、〇〇
蓄電池の研究	同 早大工學士 榮	三、〇〇
無線電話用電池のために	同 同	一、〇〇
電氣工學 電池工學	同 高津 將外三	一、三〇
初等電氣 電池工學	同 西田 順一	一、〇〇
自分て蓄電池と乾電池	同 同	一、〇〇
物理學 汎論上卷	同 同	六、〇〇
物理學 汎論下卷	同 同	六、〇〇

(九) 電氣化學及物理

書名	著者	定價
電子及原子論大要	理學博士 水野 敏之丞	四、〇〇
高等物理學力學	出射 理學士 伊藤 豐吉	三、〇〇
教科物理學熱及音	同 赤坂 東司	一、〇〇
金屬着色法	同 長谷川 源太郎	二、〇〇
實用電鍍法	同 佐久間 春壽	一、〇〇
電氣鍍金法	同 吉川 龜次郎	二、〇〇
工業電氣化學	同 同	二、〇〇
化學工業電氣化學	同 高松 外二氏	三、〇〇
電氣技術者用力學	同 理學士 森 健之助	三、〇〇
力學	同 同	一、〇〇
實用力學機械學大意	同 大河 内治	一、〇〇
力學	同 同	一、〇〇
實用力學	同 同	一、〇〇
機械學通工業力學	同 宮城 香五郎	六、〇〇
論第一編工業力學	同 同	四、〇〇
應用力學	同 高尾 正明	四、〇〇
最新電氣通論	同 志田、若目田	一、〇〇
交換機動作及故障修理法	同 同	三、〇〇
(附圖共)	同 同	三、〇〇

(一〇) 電信及電話

書名	著者	定價
技術者用電話學	工學士 若目田 和助	二、〇〇
電信及電話	同 肥田 丈夫	一、七〇
自分で電話機と通信術	同 西田 順一	一、〇〇
出れる電式電話	同 同	二、〇〇
電話機の接續及設置法	同 中野 直信	二、〇〇
磁石式交換機回路圖	同 石川 弘三	一、〇〇
現時の自動電話交換機	同 同	二、〇〇
自動式電話交換機	同 同	二、〇〇
自動交換電話	同 同	一、〇〇
自動電信附録盤孔機	同 同	一、〇〇
四重電信	同 同	一、〇〇
電信	同 同	一、〇〇
初等電信	同 同	一、〇〇
電信電話線路建築學上	同 同	二、〇〇
電池及電話加入者線	同 同	一、〇〇
私設電話標準回路圖	同 同	一、〇〇
通信術一編手送通信圖	同 同	一、〇〇
教範二編手送通信圖	同 同	一、〇〇
無線電話の基本知識	同 同	一、〇〇
ラヂオとは斯んなものさ	同 同	一、〇〇
無線電話の基本知識	同 同	一、〇〇

(一一) 無線電信電話

書名	著者	定價
無線電信の理論と應用	同 同	一、七〇
無線電信電報論	同 同	一、〇〇
簡易な無線電信	同 同	一、〇〇
最近の放送無線電信	同 同	一、〇〇
無線電信の原理と組立	同 同	一、〇〇
無線電信の研究	同 同	一、〇〇
誰にも高感受信機の作り方	同 同	一、〇〇
誰にもラヂオの製作原理	同 同	一、〇〇
電氣工學 無線電信電話	同 同	一、〇〇
初等電氣 無線電信電話	同 同	一、〇〇
自分てラヂオ機	同 同	一、〇〇
趣味の無線電信	同 同	一、〇〇
無線電信電話學	同 同	一、〇〇
ラヂオ配線圖集上	同 同	一、〇〇
代表的ラヂオ受信機	同 同	一、〇〇
組立六種	同 同	一、〇〇

(一二) 電氣一般附英語及法令

書名	著者	定價
無線電信の調整及運用	同 同	一、〇〇
常談無線電信講座	同 同	一、〇〇
實用無線電信の解説	同 同	一、〇〇
大正電氣試驗所報告	同 同	一、〇〇
電氣の廣野を行く	同 同	一、〇〇
昭和四年電氣年鑑	同 同	一、〇〇
實用電氣技術問答集一編	同 同	一、〇〇
電氣實務常識	同 同	一、〇〇
電氣修身讀本	同 同	一、〇〇
電氣とその関連	同 同	一、〇〇
電氣と火災	同 同	一、〇〇
自分で電鈴と電氣器具	同 同	一、〇〇
出れる電鈴と電氣器具	同 同	一、〇〇
電氣讀本	同 同	一、〇〇
誰にも必要な電氣の知識	同 同	一、〇〇
日常生活と電氣	同 同	一、〇〇
最近電氣界の發達と	同 同	一、〇〇
其將來	同 同	一、〇〇
電氣の概念と漏電の豫防	同 同	一、〇〇
改訂電氣學手ほどき	同 同	一、〇〇
改訂電氣學ABC	同 同	一、〇〇
通俗電氣講座	同 同	一、〇〇
電氣講義	同 同	一、〇〇
實用電氣便覽	同 同	一、〇〇
家庭電氣講習會講義集	同 同	一、〇〇
電氣工學實驗答集	同 同	一、〇〇
百故障失策第一、二輯合本	同 同	一、〇〇
電氣事業の研究	同 同	一、〇〇
生活改善と電氣	同 同	一、〇〇
ののくち簡易表	同 同	一、〇〇
電氣工作物検査及	同 同	一、〇〇
試驗法一編	同 同	一、〇〇
電氣事業國策論叢	同 同	一、〇〇
電氣事業報償契約	同 同	一、〇〇
電氣事業急問題	同 同	一、〇〇
電氣料金の理論及實際	同 同	一、〇〇
全米電力問題解決策とし	同 同	一、〇〇
て、水力開發及送電線に	同 同	一、〇〇
關する研究	同 同	一、〇〇
超電力關係調査書	同 同	一、〇〇
電氣と醫學	同 同	一、〇〇
電氣器具の作り方	同 同	一、〇〇
實用電氣玩具の作り方	同 同	一、〇〇
電氣と現代の廣告	同 同	一、〇〇



硫酸第一水銀電池と其温度係數	早大工學士榮	六	硝子の失透	田端耕造	二、三〇	展開定理の擴張	後藤以紀	三〇
平行線の定波による電波計の簡單な目盛方法	高岸榮次郎	七	硝子の風化作用	同	一、八〇	又流式電橋に就て	岩佐義作	三〇
電氣絶縁材料としてのフルフラーニル樹脂	工學士小川若三郎	一、三〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	液体内に於ける放電現象に就て	小幡彦一	一、四〇
直流電機子電壓の振動	工學士高橋正一	二、三〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	訂正 第二編	同	二、五〇
三相送電線網の一線接地による地電流の算出	別宮貞俊	二、四〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	交流發の激急短絡に就て	別宮貞俊	一、六〇
鐵心リアクトルに就て	前川幸一郎	二、五〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	相當大深きに就て第一編	金谷一秀	二、〇〇
三相空中送電線に於ける電氣振動	工學博士 杉浦謙治	二、六〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	地面の深きに就て第二編	同	三、〇〇
平行送電線による通信線の瞬間的電磁誘導	工學博士 別宮貞俊	二、七〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	真空管に於けるプレート電流電壓の關係	加藤誠之	一、三〇
硝子中磁場定電法	工學博士 別宮貞俊	二、八〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	鉛被紙ケーブル接続用防蝕に就て	吉田晴	一、三〇
傳導の自然振動と波動傳播	工學博士 別宮貞俊	二、九〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	丸毛登	一、三〇
高壓送電線に連絡せる交流機の自己勵磁	工學士 高橋正一	三、〇〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	丸毛登	一、三〇
電話同線イムピーダンス測定法	工學士 小川一清	三、一〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	鉛被紙ケーブル接続用防蝕に就て	前田福太郎	一、〇〇
水銀整流器の動作	工學博士 松浦二郎	三、二〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	羽生龍郎	一、〇〇
蒸気整流器の動作	工學士 松浦二郎	三、三〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	羽生龍郎	一、〇〇
低電圧限電位計による高電壓に於ける損失の測定	工學士 松浦二郎	三、四〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	羽生龍郎	一、〇〇
油の酸敗並に電信用積孔紙に及ぼす其影響	工學士 小川若三郎	三、五〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	羽生龍郎	一、〇〇
真空管の壽命の一例	工學士 小川若三郎	三、六〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	羽生龍郎	一、〇〇
硝子の失透	工學士 小川若三郎	三、七〇	硝子の風化作用	同	一、八〇	電氣絶縁の關係	羽生龍郎	一、〇〇

加熱乾燥絶縁用ラニス	水島幸吉	六	三相送電線路故障に際せる電流並電壓の分布計算	前川幸一郎	一、〇〇	電話用變電器に關する調査	堀江貞治郎	一、〇〇
架空送電線路の線路定數	別宮貞俊	七	絶縁用油の絶縁破壊	相川幸雄	一、一〇	北丹後地震による調査	内山武俊	一、〇〇
ガツタパーチヤ、パラタ	淺谷三郎外	八	英國製真空管一般特性表	佐野昌一	一、二〇	電氣工作物被害調査	高林丑彌	一、〇〇
及之に類似するゴム管中の施光度と熔點	高岸英夫	一、〇〇	再生式受話法の原理	丸毛登	一、三〇	電源より働する受信機	谷村煥	一、〇〇
雷による配電障害並に避雷器の經濟的價値	高岸英夫	一、一〇	電氣絶縁の誘電體	吉田晴	一、四〇	受信電波強度測定法概要	同	一、〇〇
水銀蒸気整流器の試作研究と其一班特性	高岸英夫	一、二〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	一、五〇	電氣絶縁強度測定法	同	一、〇〇
紙絶縁高壓電機の特種	高岸英夫	一、三〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	一、六〇	電話ケーブルの漏話試験	同	一、〇〇
高壓用水管抵抗器	高岸英夫	一、四〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	一、七〇	小型真空管製造法	同	一、〇〇
長距離大電力無線電信局の電界強度測定	高岸英夫	一、五〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	一、八〇	カッタパーチヤ、パラタ	同	一、〇〇
同	高岸英夫	一、六〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	一、九〇	及之に類似するゴム質の化學的	同	一、〇〇
方鉛礦の感度と其化學的成分との關係並に鑽石よりの常温電子放射	高岸英夫	一、七〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	一、〇〇	學的研究に關する文獻	同	一、〇〇
誘導作用の一般特性	高岸英夫	一、八〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	一、一〇	高周波數標準化	同	一、〇〇
ガツタパーチヤ、パラタ	高岸英夫	一、九〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、〇〇	極の設計圖表	同	一、〇〇
及之に類似のゴム質分析	高岸英夫	二、〇〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、一〇	マイカ及マイカナイト	同	一、〇〇
○電氣試驗所調査報告	高岸英夫	二、二〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、二〇	自動連通裝置の考察	同	一、〇〇
ウエストン、カドミウム標準電池の製作方法及性質	高岸英夫	二、三〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、三〇	輕合金の研究	同	一、〇〇
空中線定數に就て	高岸英夫	二、四〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、四〇	白金ロヂウム熱電對の動力と温度の關係及冷接點の補正	同	一、〇〇
米國製真空管一般特性表	高岸英夫	二、五〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、五〇	硝子素地の組織に就て	同	一、〇〇
オツシログラフにより調査せるシーメンス、ヘルスケ式自動電話交換機の動作	高岸英夫	二、六〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、六〇	○大阪工業試驗所報告	同	一、〇〇
水銀蒸気整流器	高岸英夫	二、七〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、七〇	電氣用炭素製品の研究	同	一、〇〇
	高岸英夫	二、八〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、八〇	發火合金の製造	同	一、〇〇
	高岸英夫	二、九〇	電氣絶縁の誘電體	小畑萬吉郎	二、九〇	X線分析による電鍍ニツケル組織	同	一、〇〇

昭和四年五月二十日第一版印刷  
昭和四年五月十五日第一版發行

昭和四年電氣年鑑

定價金五圓五十錢



編輯者 東京市京橋區南金六町六番地  
電氣之友社  
代表者 加藤木重教

印刷者 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
金子鐵五郎

印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
金子活版所

東京市芝區新幸町一丁目ビルディング (假事務所)

發行所

(東京市京橋區新橋際) 電話 三五二五  
大阪市北區堂島 電話 三一〇〇三  
中二丁目三番 振替 大阪三三五四八

電氣之友社

電氣年鑑の内容について

電氣年鑑は大方の御賛助の下に萬全を期し度候に付

増補すべき事項、統計、他御心付の點  
電氣年鑑掲載事項中の誤植等

何なり共左記へ御記入の上御送り被下度御願申上候

電氣之友社 電氣年鑑編集部

電氣年鑑の内容について

A series of vertical dashed lines forming a template for handwritten entries, intended for readers to provide feedback or corrections regarding the content of the yearbook.

昭和四年電氣年鑑



# 東京電燈株式會社

東京市芝區櫻田本郷町二二二番地

電話銀座

至自

四三二二二

四五七五五

八六〇〇〇

六七一五一

郵便はかき

東京市京橋區南金六町六

會社 電氣之友社

電氣年鑑編纂部

御中

本社 東京市麴町區丸ノ内一丁目六番地壹

  
東邦電力株式會社

東京市三軒町本會社  
京橋市下京區河原町西側本會社

東京市下京區河原町西側本會社

京都市下京區河原町蛸藥師下ル

京都電燈株式會社

電話中(自一至一七)

社長 田中

副社長 田邊隆二

博番

大阪市北區宗是町壹番地

宇治川電氣株式會社

電話土佐堀自六六〇〇至六六〇七



變壓器油專用濾紙の代表

國光印油濾紙製造發賣元

# 合資東京製紙工業所

東京市外代々木五三八番地

電話長四谷一〇六五番

工場 東京市外代々幡町

大阪市西區阿波座下通り二丁目十番地

關西代理店 安積商店

電話新町長三二九二



御注文の際は  
國光印と御指  
定を御忘れな  
き様願ひます

**S.I.**

**鐵塔と特別高壓陽子**

鐵柱及高低壓陽子  
及金物類

**石淵電氣工業株式會社**

東京市京橋區本町五丁目

土木電氣工事請負



常盤商會

東京京橋電車交叉点

第一相互館四階

電話京橋七〇四三番

本店 東京市下谷區金杉上町九一  
電話 下谷 五一三一番





# 植松合名會社東京支店

東京市芝區新錢座町十六番地

電話芝 長二六四六  
二二六四八

本店及工場 福島縣大沼郡本郷町

電話長 四七一番

## 營業科目

特別高壓 普通高壓  
並低壓 碍子一式  
電氣用金物一般  
內外線材料  
電車架空線材料及  
ボンド

逓信省 鐵道省 御用

## 營業品目

### 電氣用諸材料

- 一、抵抗用合金線類
- 二、發條用合金線類
- 三、アルミニウム各種合金線類
- 四、耐酸性合金線類
- 五、接點用白金代用合金線類

### 電氣諸材料

護謨製品 製造販賣  
航空機諸材料

東京市外世田谷町池尻

# 東京イーシー工業株式會社

電話青山二一〇七番  
振替東京四九〇一四番

## 營業品目

### 護謨製品

- 一、護謨引雨衣類(仕立品)及防水布類各種
- 二、蓄電池室用耐酸性地質及仕立品
- 三、護謨代用絶緣「カウチライト」
- 四、特許デユラビライト敷物

大阪市北區絹笠町

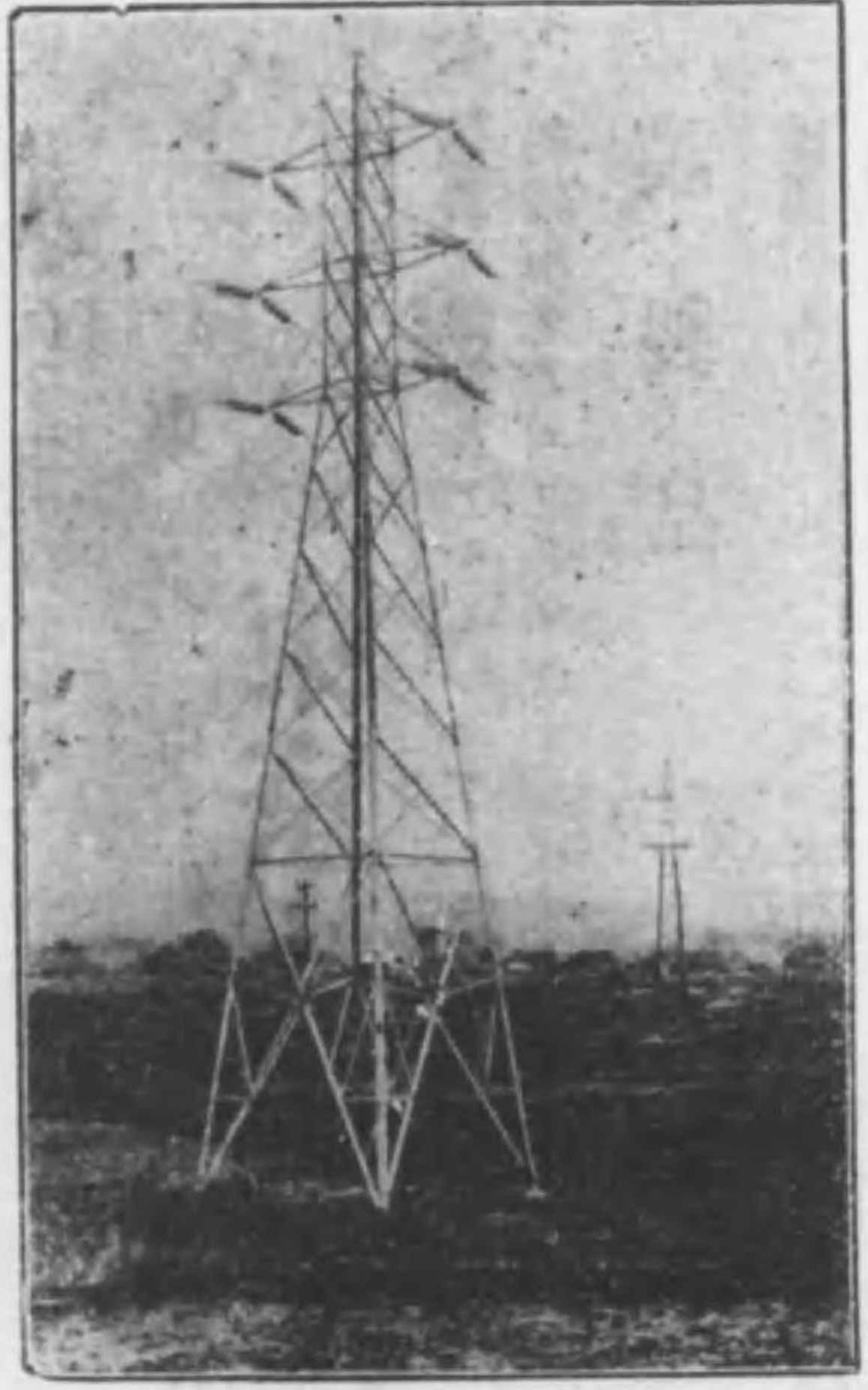
大江ビルヂング三階第二十七號室

大阪出張員詰所

電話北 一五一五番  
三一七番

### 弊社工事部の特色

▼迅速—丁寧—確實▲  
弊社製モーターは好評噴々注文輻輳す



最近施工鐵塔送電線路ノ一部  
弊社製モーターは諸官衙諸工場の御用品也

## 株式 弘電社

工事部 火力水力發電企業目論見  
發電所工事設計監督請負  
送電配電線路工事設計監督請負  
本社 東京市京橋區木挽町五丁目四番地  
電話銀座六九〇(長六九一・六九二三五七七)

出張所 小樽市花園町三丁目十一番地  
販賣部 電氣諸機械器具材料一式  
モーターサイレン一手販賣

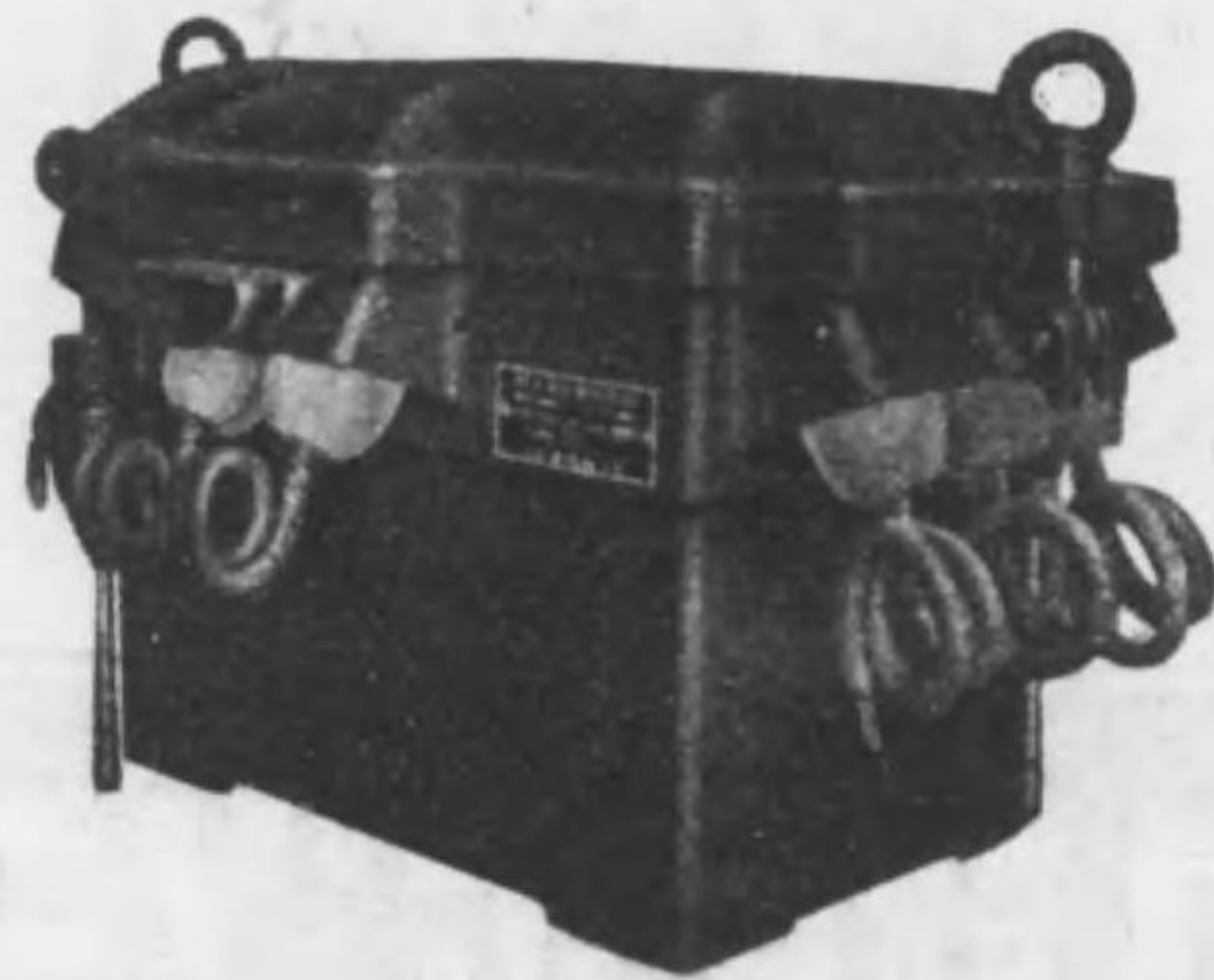
電氣土木建築  
工事設計請負  
並ニ電氣機械  
器具製造販賣

# 協三興業社

出張所 大阪 前橋 高崎  
桐生 足利 熊谷

東京市麴町區有樂町三ノ一  
電話銀座(57) 自五五七〇  
至五六七三

大正式屋外用油入自働開閉器



應用方面  
動力線遮斷用  
夜間燈點滅用  
農村電化用

東京市芝區三田四國町二

型錄拜呈

大正電機製作所

電話三田六一六番

營業品目

- 第一類 電氣絶縁用ヴァニツシュ
- 第二類 同 コムパウンド
- 第三類 船舶用ビチウメン
- 第四類 エナメル類
- 第五類 ベイント類
- 第六類 一般ワニス類
- 第七類 特殊塗料類
- 第八類 アスファルト類

型錄贈呈

東京市外下大崎四二八

今中工場

電話高輪(44)四八二番

マツダと  
同じ特許の

專賣  
第二九九五五號

特許  
第三四五三〇號

三井物産株式會社

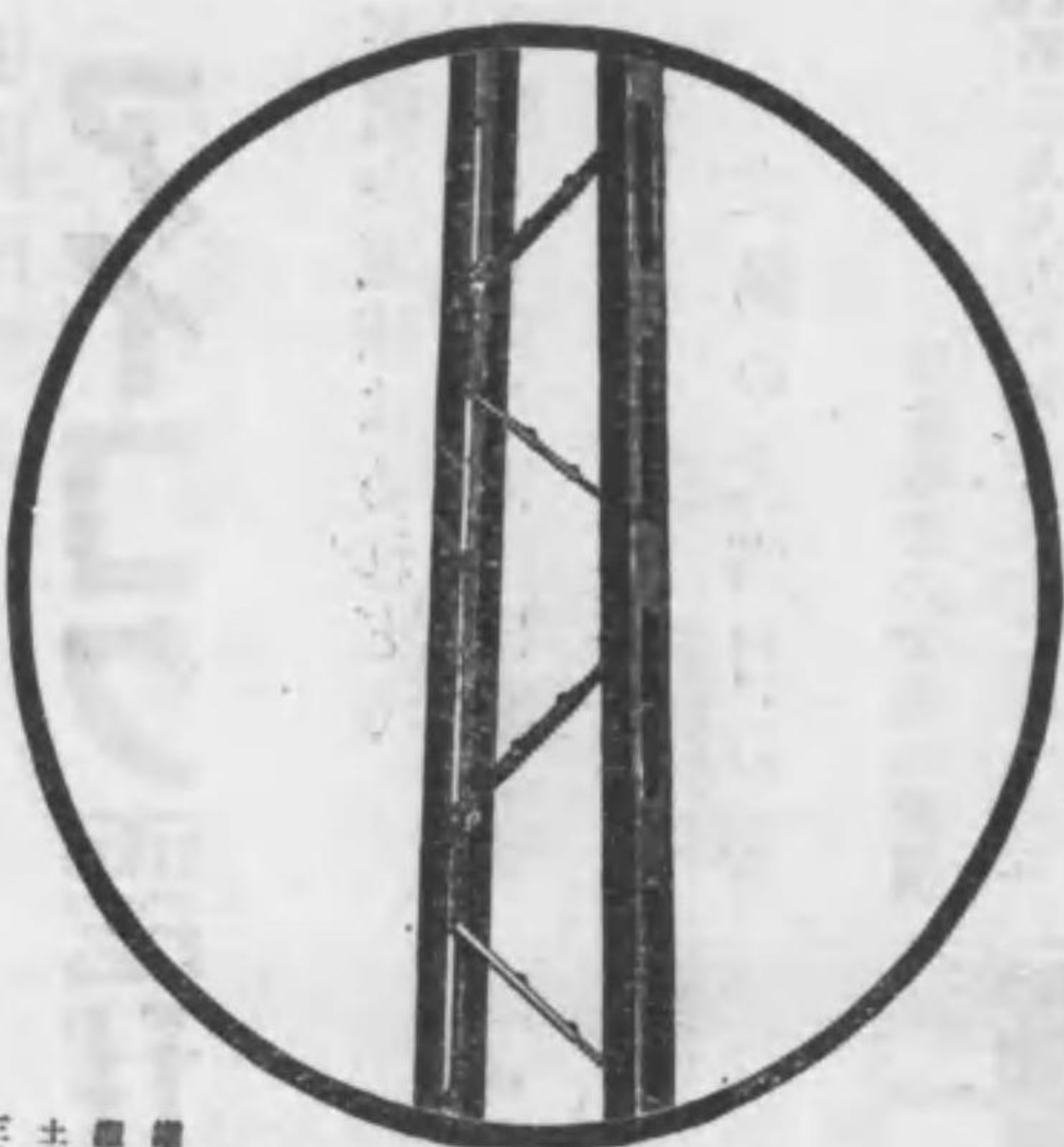
ミツボ瓦斯ランプ



東京・麻布  
黒坂電球製作所  
電話高輪六〇五八番



新案特許第七〇二三〇號  
チャンネルポール



○主脚材ノ比較的過強ナル部分ヲ舌形ニ壓截シ  
テ之ヲ直ニ支翼ニ利用スルヲ以テ主脚ト支翼  
ハ同一體ナリ  
○支翼ハ半月形ノ断面ヲ有ス故ニ  
簡單ナル構造ヲ以テ能ク強大ナル力ヲ發揮ス  
柱體ノ撓ミニ對スル回復力大ナリ

本柱ハ專賣特許ノ獨特ナル大型機械ニヨリ製作ス

カタログ送呈  
工場來觀歡迎

株式櫻田機械製造所

營業種目  
鐵骨建築、鋼筋建築  
鐵道用機械、轉車器  
土木及道路用機械  
三協式昇降機、其他

假營業所 東京市京橋區木挽町六丁目  
電話銀座 (57) 四〇〇九一〇番番  
工場 東京府南葛飾郡砂町萩五七番地  
電話本所 (73) 三三一六六八八八〇九八九番番番

# 低圧瓦斯入 アイコク電球

◇高價の電球はあれども

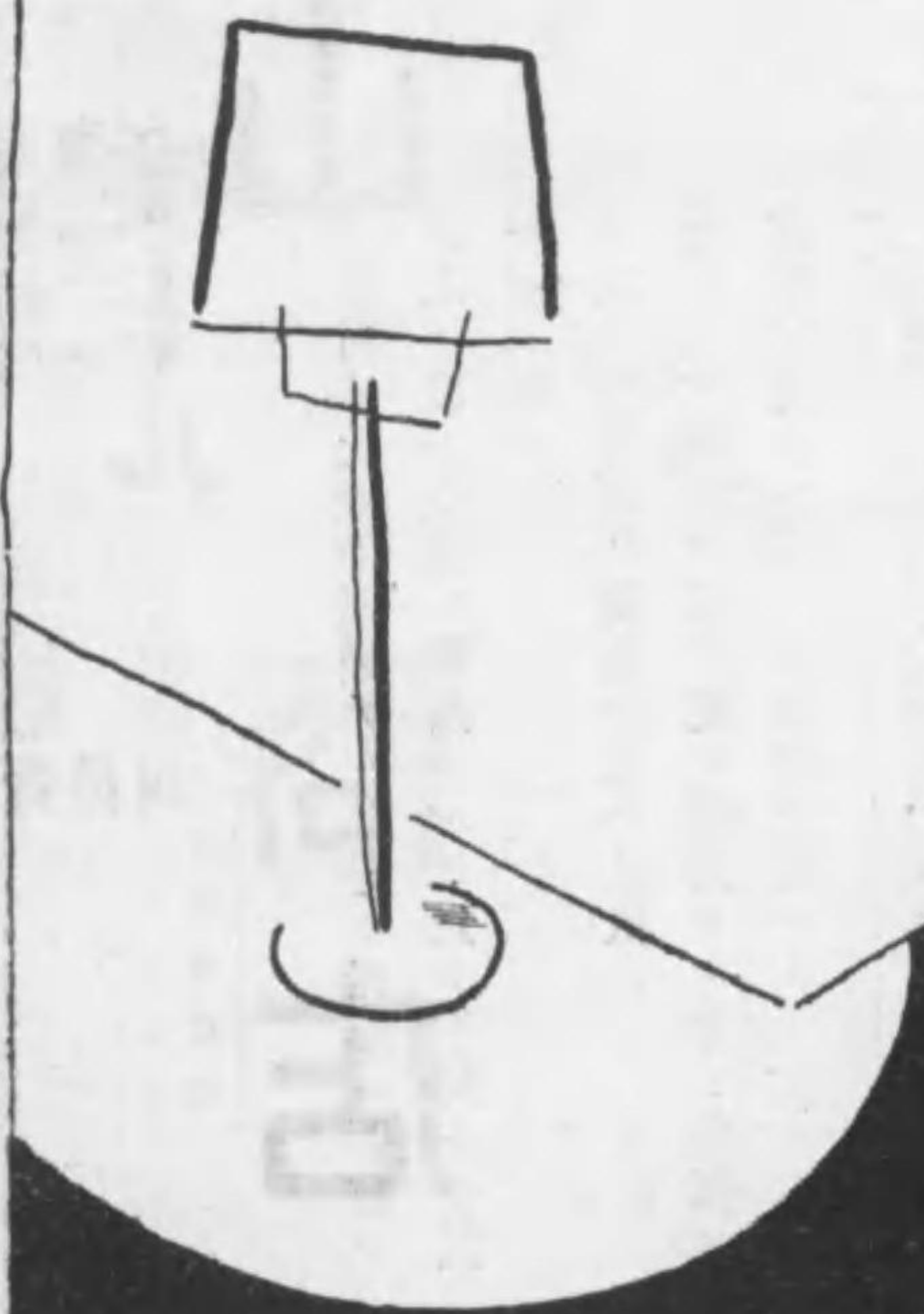
◇斯くも良き電球は非らず

低圧瓦斯入 アイコク電球は

太陽の光満月の美

生産報告の合理的實價

六十ワット以下 三十五錢  
百ワット 六十錢



東 京 一 大 阪  
愛 國 電 氣 株 式 會 社

富士電機製造株式會社販賣店  
株式會社黑崎電機製作所代理店



## 山下商店

電氣機械 製造販賣  
諸機 器具  
工事設計 監督請負

工場

麴町區丸ノ内二ノ二  
丸ノ内ビルヂング七三一區  
電話丸ノ内(23)四八八九番  
市外日暮里町谷中本



製 品 種 目

各種電線用  
裸銅線及  
錫鍍金線

## 富士製線所

東京蒲田女塚四九  
電話蒲田五五七番

宮内 瑤之介

自宅 東京市四谷區母町二四  
電話五七一〇番

完全  
無缺

電球用導線  
製造發賣元

絕對  
保證



森廣商店

東京市芝區白金三光町一五

電話高輪四三〇番  
振番口座東京七七四四三番

製作品目

- コンバウンド電氣器具  
及ラチオ部分品類一般
- 都ペークライト電熱用器具  
及ラヂオ真空管ベース其他一般
- 都スタンダードエリミネーター  
受信機及各種受信機

都スタンダードエリミネーターキット製造元

東京市本郷區駒込坂下町一九二

東京電氣株式會社指定工場



都電機製作所

電話小石川七〇一四番

國產の精華

ミツモリ  
瓦斯入ランプ

登錄  
商標



新工場落成

年產貳百萬個餘

三森電球製作所

東京市外荏原町上蛇窪五七

電話荏原一三二六番



業創年六十二治明

門專造製輪車ドル子用道鐵諸



■弊工場 ハチルド車輪製造専門ヲ以テ創業セリ  
 ■弊工場 ハチルド車輪製造専門ヲ以テ最モ經驗  
 ■弊工場 ハチルド車輪製造専門ヲ以テ信用絶大  
 ■弊工場 ハチルド車輪及各種製優良ナルチルド  
 製品ヲ普ク内外ニ供給シツ、アリ  
 東京市三田豊岡町

田中工場

電話高輪一區二六五八番

農	礦	炭	馬	輕	電	蒸
業	山		車	氣	汽	
用	用		坑	鐵	鐵	鐵
山	土			鐵	鐵	鐵
林	木					
用	用					



東京市麻布區新堀町四番地

麻布電機工業所

電話高輪(44)3222番

振替口座東京37284番

ラ子水  
通信用  
燈火用

各種乾電池

品質本位の定評ある  
(特許)日之出乾電池



合資會社

日之出乾電池製造所

東京品川西廣町一、二四三番  
 電話高輪一、一七四番  
 振替東京七四六三〇番

何と云うても良いものは結局御徳  
使用簡便で故障は絶無で  
新時代の電動機運轉には是非本器  
御使用を御勧め致します

特許第一〇七八九C號  
第一一四七二二號  
第一一六四五五號

### 表示型配電函

東京電燈株式會社型式御承認済  
東京市電氣局御指定品



東京市麻布區新堀町十一番地

### 水谷捨吉商店

電話高輪七二四八番  
工場 市外大森町森ヶ崎  
電話大森一三九七番

### 特 徴

- ◎速断開閉
- ◎體裁優美
- ◎絶縁完全
- ◎防塵完備
- ◎配線容易
- ◎容量積極
- ◎價額低廉
- ◎使用簡便
- ◎構造堅牢
- ◎危險絶無

詳細

型錄  
贈呈

## 國産第一

あゝのりふに  
凌越せら旭ランプ



東京市京橋區浪坐二丁目

### 旭電氣株式會社

電話 京橋 大々 大八

獨逸ヤロスロウ會社製

ターボナイト

小板型製品

エムパイヤチューブ  
マイカナイト

電氣絶縁材料輸入並製造

竹田商會

東京市芝區白金志田町五七  
電話高輪六九五七番  
工場市外三河島町八七五



水壓鐵管、送電鐵柱  
水門、ローリングダム  
起重機、橋梁鐵骨  
索道工事、土運車  
コンクリートミキサー  
捲揚機其他土木建築諸機械



安藤鐵工所

東京市京橋區月島東仲通り五ノ五

電話京橋一七一八、五六八〇

東京芝區南佐久間町二ノ一四

安藤商會

諸工業用諸機械材料工匠具電氣器械類  
直輸入及製作販賣

大阪市西區立賣堀北通六丁目

株式會社 岩田兄弟商會

電氣部

第一陳列場  
第二陳列場

大阪市西區立賣堀北通五丁目

電話新町五二九  
長五三〇  
一五三〇  
一五三〇  
一五三〇

各電力會社ノ御利用ニ

最モ適切ナ弊店へ

東京・神田・富山町一二

島田電氣商會

電氣工事材料電球百般  
大卸問屋

電話浪花四四二二  
振替東京六三四一四

# ケーブル電線

常時在庫

古河電氣工業株式會社ケーブル特約販賣店

## 野口商會

東京市芝區柴井町二三番地  
電話芝(43)九五五・九五六・五一八番



カタログ  
送呈

東京市芝區柴井町二三番地  
電話芝(43)一〇四六番

精工社

モーター  
全直・發電機  
變壓器  
配電盤  
自動同用器

弊社特許品

- 馬來式 銲接ボンド (特許第 七一、四一七號)
- 馬來式 カテナリーハンガーイヤール (特許第一〇二、七〇二號)
- 馬來式 ジョイントピース (特許第 七六、二〇六號)
- 架線測定器 附軌條カント測定器 (特許第 六五、九九三號)
- 中居式 テフレクター (特許第一〇二、九七四號)
- 馬來式 補助線保護器 (特許第 九二、七一七號)



馬來工業株式會社

東京市麴町區內山下町一ノ一東洋ビル内

電話銀座 二二五八二番

場 東京市芝區三田豊岡町六番地

電話高輪 二三一一番

東京府荏原郡六郷町八幡塚三九番地

大阪出張所

大阪市北區曾根崎上三丁目

電話北 一一五六三番

營業科目

- 製作工部部
- 電氣鐵道架線材料各種レールボンド製作
- 電氣鐵道企業計畫請負
- 電線路及變電所建設車輛組立
- レールボンド取付工事請負
- 商
- 電氣鐵道架線材料
- 各種レールボンド
- 電道材料其他諸機械器具販賣

TRADE MARK



電氣絶緣各種製造

於平和記念博覽會受賞

於全國工業博覽會受賞



營業品目

- 地中線用コムパウンド
- 各種用コムパウンド
- 充填用コムパウンド
- 蓄電池用コムパウンド
- 乾電池用コムパウンド
- グーリオンコムパウンド
- 外線モールチング用コムパウンド
- コムミューテール用コムパウンド
- モテレイト型成産需無線電話用部分品製作
- 綿テープ、ゴムテープ
- 神保式(電氣器具類)
- 石渡式(特約販賣)
- 其他電氣器具販賣
- 電線、コード類
- 印ベルトワックス類

東洋コパムウドン製造所

營業所 東京市芝區西區久保町二四 電話芝(43)一六二番  
工場 東京市外蒲田町御園一六番地 電話蒲田 二七二番



# 新スメラランプ 新スメラ瓦斯八電球



○普通の電球と同じ値段で明るさの格好  
よい新しい内面艶消電球

○塵に汚れず真珠の様な柔かな美しい光の快さ



東京巢鴨

大日本電球株式會社

電話大塚 三三三三

營業品目

電氣計器各種  
電線架線材料  
一般架線材料  
電燈器具  
電信電話用品  
電線  
絶縁材料一式  
輸入並製造

ウエストン會社製品特約店  
スタンダードメガー發賣元  
エバーセフトメガー特約店  
ウエスチングハウス電氣會社特約店  
オルカ電氣ブローワー特約店

東京市京橋區木挽町五ノ三

合資 日進電氣商會

電話銀座(57)四七三三

通信器工場 芝區白金志田町五四  
通信線 荏原郡碑衾村清水  
製陶工場 愛知縣瀬戸町



斯界の權威



北米、カネチカット社製  
高級 デュープレックス  
小型

室内電話機



呈送録型  
四十五對一個二價特

故障 絶無  
設備、維持費等、呼鈴と全く變り無し  
而もその超能率なること眞に一驚に値すべし  
内容の完璧に、型に、高尚なる美觀に  
その他あらゆる點に於て、世界屈指の  
大工場製品の名に恥ぢざるものなり  
眞の經濟的實用機として、敢て識者  
諸彦の御推奨と御活用を希ふ!

斯界唯一の實用機



東京 日進電氣商會 本店 芝區白金志田町五四

# 許特 絕對防水 器具 サイト式照明器具

サイト式#103外燈(高燭用)



優美にし  
て堅牢な  
るを最大  
の特長とす

## 齊藤電機株式會社

東京・芝・新堀二八 電話三田4031-0147番

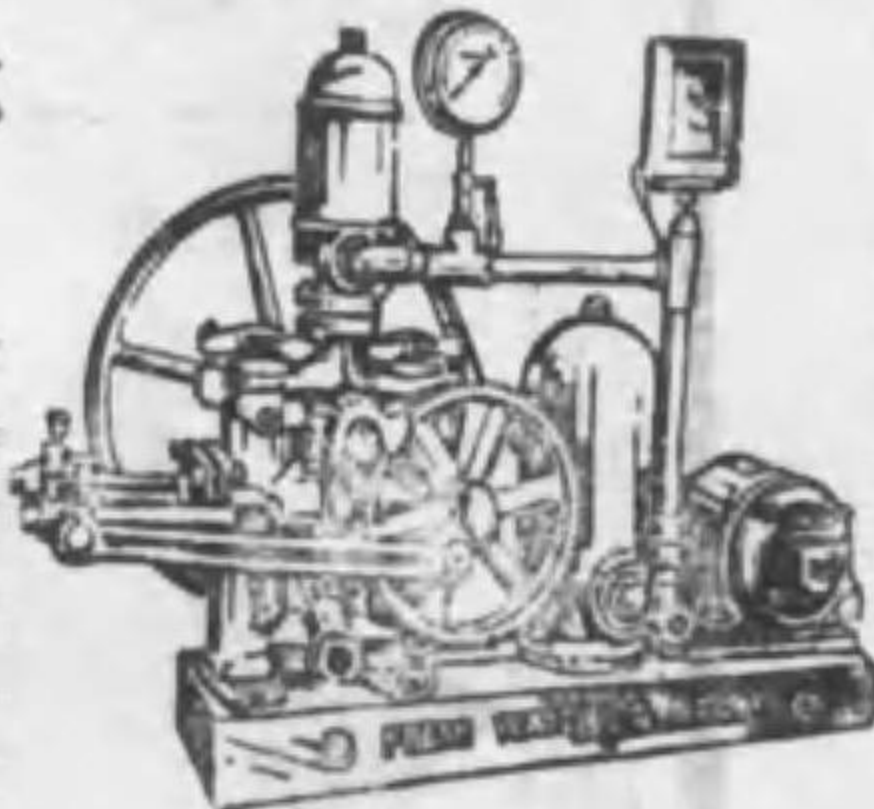
關西販賣店 株式會社 重松電機商店

大阪市東區舟越町 電話東294.295.536

# 特許 コレドー ぼんぽん

## レコード自動清水汲上装置

水槽を用ひず何時でも井戸の水其まゝがポンプから自動的に各所へ直送される装置でありますから水は常に新鮮で而かも普通水道と少しも異りなく便利に使用す事が出来ます



一時間五石揚(四分一モーター付)  
一時間十石用(半馬力モーター付)

金金  
參參  
百百  
九五  
拾拾  
圓圓

## スタンダード型手押ぼんぽん



吸 水 三 十 尺  
押 上 七 十 尺  
家庭用防火用に適する新式横型ヒストンぼんぽん

一 時 間 九 石 揚  
一 時 四 分 一  
一 時 半  
二 時  
同 十 五 石 揚  
同 二 十 石 揚  
同 三 十 二 石 揚

金 貳 拾 貳 圓  
金 貳 拾 七 圓  
金 參 拾 五 圓  
金 四 拾 五 圓

## 特許 電動ぼんぽん

唧筒・モートル(ランプ線用)・同轉装置何れも特選品をただ一個の木盤面に組合せたものでありまして、ボタンを一つ押せば、直ぐモートルが廻轉すると同時に、唧筒が働かし始めまして、手入らずに水が汲めるといふ輕便な装置であります。

尙唧筒は手でも働かす事の出来る様になつて居りますから電氣の來ない時でも不自由はありません。

壹 號 型 一時間三石揚 金百八拾圓

單相交流一〇〇ワルトモーター(四分一馬力)付

貳 號 型 一時間四石揚 金貳百拾圓

單相交流一〇〇ワルトモーター(二分一馬力)付



●外に手押用・動力用・氣壓用・深井用等ぼんぽんが一般常に多數取揃へてあります—説明書送呈

東京市東區橋區銀座座 二葉商店 電話東京四七四一  
東京市西區目黒區通 電話東京二五七三



營業課目

積算電力計  
電氣精密計器  
配電盤  
特高器具  
量水器  
並ニ附屬品

東京市芝區愛宕下町二丁目四番地

株式會社 東京工機製作所

電話芝(43)一六五四番

(高壓積算電力計在庫豐富)



合資會社 山田電線製造所

東京向島吾孀町大畑四七九

電話墨田二二二〇番

旭印油濾過紙製造發賣元

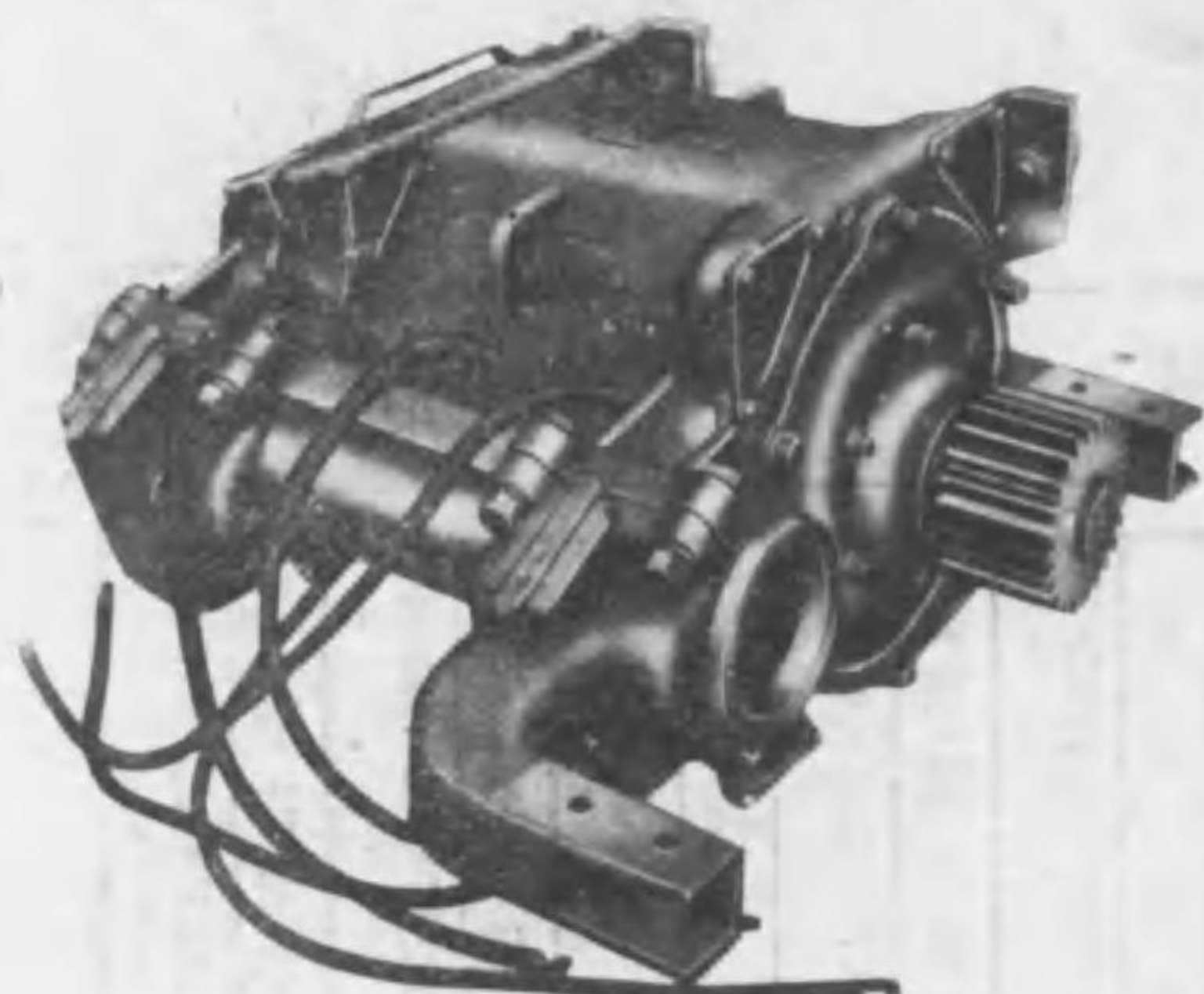


株式會社 旭濾紙製造所

東京市外高田町七四七番地

電話牛込(34)五七〇五番

電車用電動機



80馬力 500ヴォルト ローラーベアリング装置

營業種目

電車 電氣機關車 電車用電動機  
 制御装置 抵抗装置 自動遮断器  
 パンタグラフ 自動扉開閉装置 空氣制動装置  
 車臺 車輪 車軸  
 一般工業用加減速度  
 三相交流整流子電動機

英國ミラー會社日本總代理店  
 米國ブリル會社製品販賣店  
 米國ウエスチングハウスエアーブレーキ會社製品販賣店

東洋電機製造株式會社

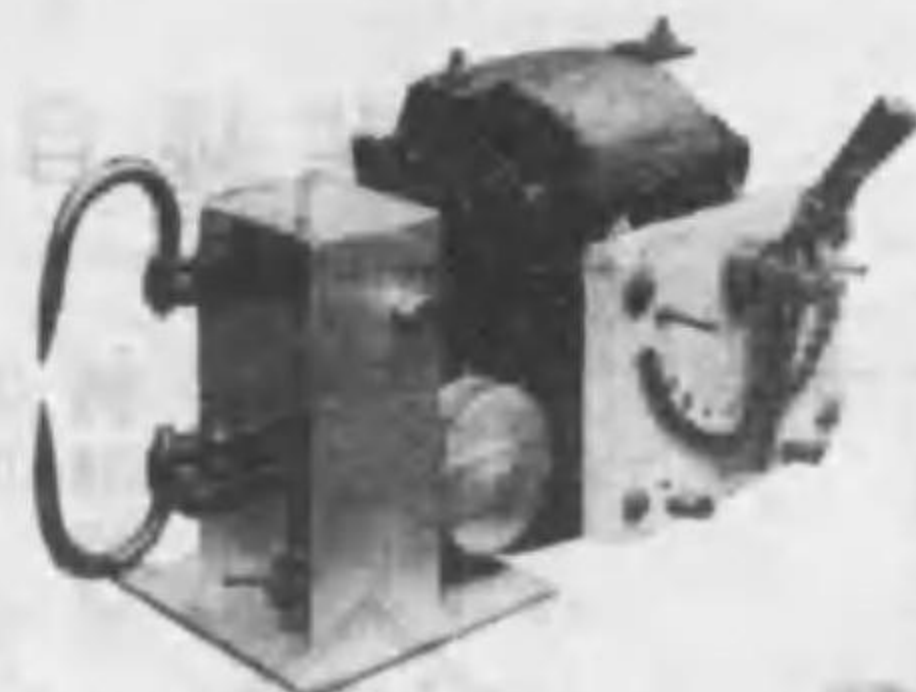
本社 東京市丸ノ内(有樂館)  
 電話丸ノ内二九八五・二九八六  
 工場 横浜市久保町  
 電話長者町一六二五・五四六二

三相整流子電動機

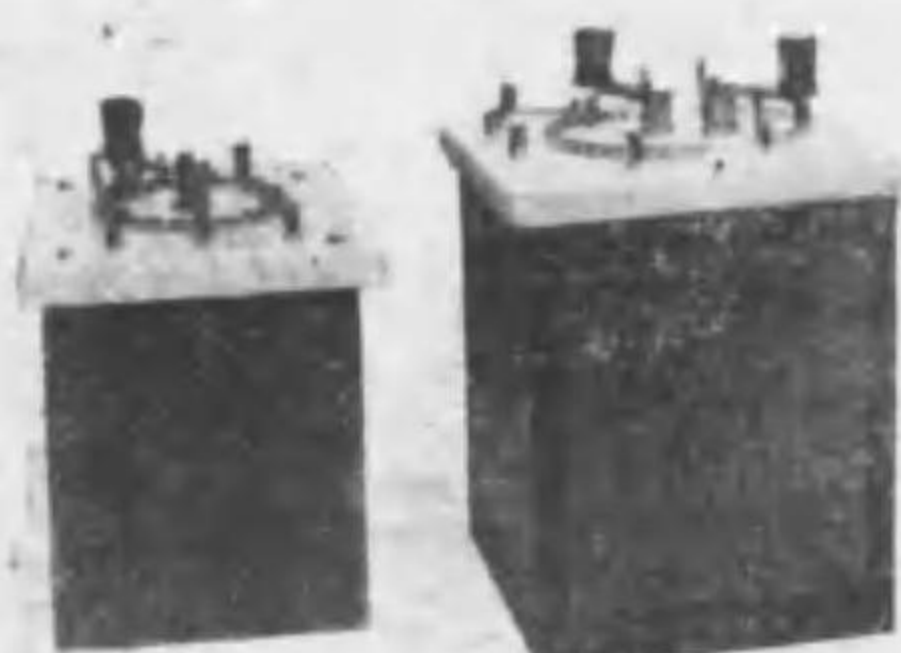


蒸汽罐押込送風機用

65馬力360-720迴轉毎分3300ヴォルト 50サイクル



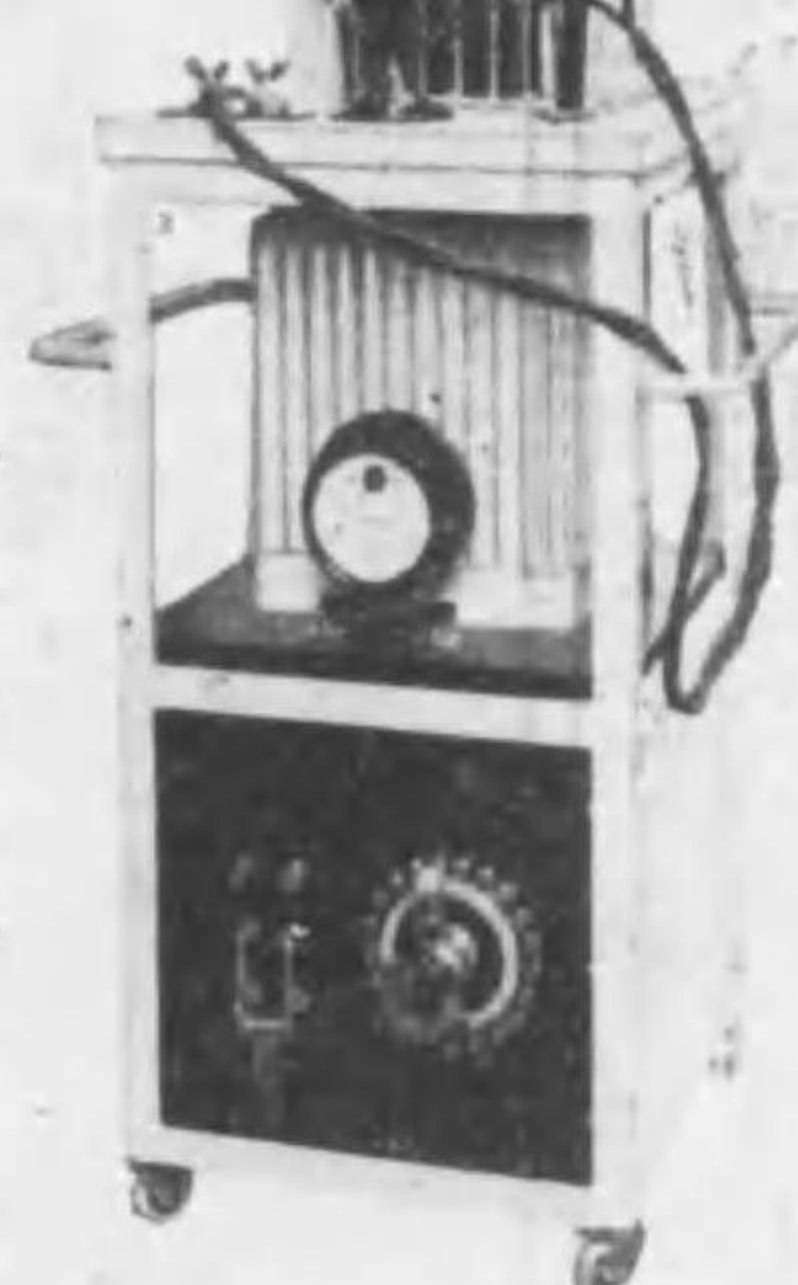
(A) -ゲルイワトツボス



トランスホーマー



スポットワイルダー(B)



ボムバーダー



(A)レイコンシクダンイ



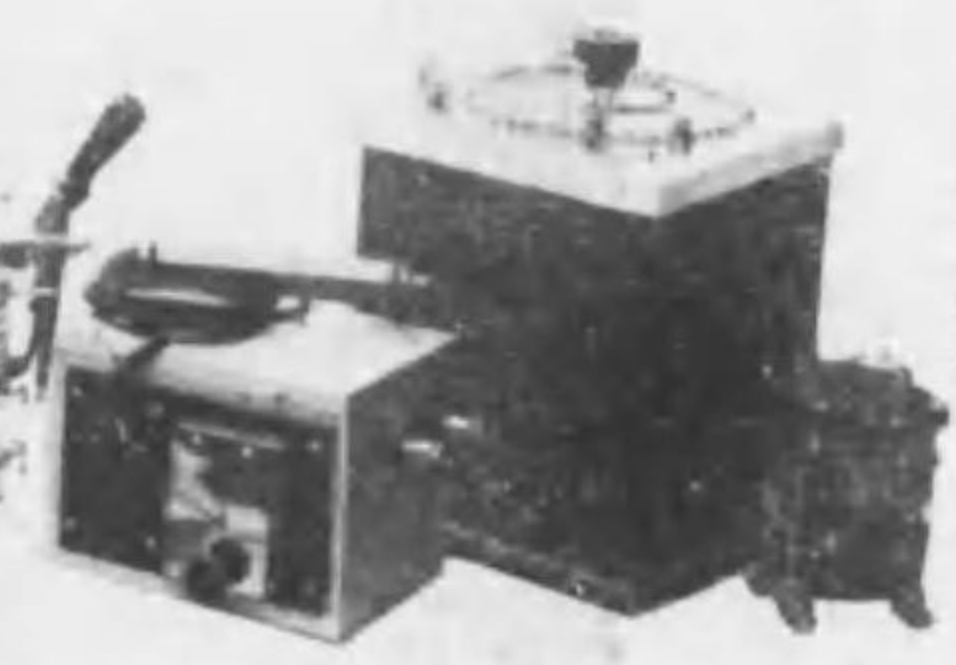
(B)レイコンシクダンイ



器壓變ニイサンオネ



トツボス -ゲルイワ



ンヨシクダンイ (C)レイコ

トランスホーマー

所作製社電整

一六町尾廣・布麻・京東  
 七九四一(44)輪高話電

用作製球電及管空眞  
 類 械 機 氣 電  
 機 作 製 管 ン オ ネ  
 器 壓 變 用 ン イ サ



新刊並重刊

工學士 道田貞治氏著 最新電話	石川弘三氏著 現時のスト ローチャー式 自動電話交換機	工學士若目田利助氏 工學士志田文雄氏共著 交換機動作及障 碍修理法	東京高等工業學校電氣科長理學博士山本 無線電話の基本智識	工學博士 箕原 勉氏著 ラヂオとは斯んなものさ	工學士 藤田朝定氏著 蓄電池	電氣會 電氣實務常識	工學士 平野利貞氏著 電氣の廣野を行く
定價 貳圓八拾錢 送料 參圓四拾錢	定價 貳圓八拾錢 送料 參圓四拾錢	定價 貳圓八拾錢 送料 參圓四拾錢	定價 貳圓八拾錢 送料 參圓四拾錢	定價 貳圓四拾錢 送料 貳圓	定價 貳圓貳拾五錢 送料 貳圓貳拾五錢	定價 貳圓貳拾五錢 送料 貳圓貳拾五錢	定價 貳圓貳拾五錢 送料 貳圓貳拾五錢
東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行

新刊並重刊

工學士 小宅千次郎氏著 簡易電氣工學	田中 茂氏著 水車調速機及水壓調整裝置	田中 茂氏著 水車及調速機の故障と取扱法	青柳有美氏 工學士 佐藤 甫氏講述 電氣技師 電氣修身電氣學大意	工學士 各務米次郎氏講述 電氣技師 外線工事一班	岡部誠治氏講述 電氣技師 內線工事一班と電燈講習會下巻	電氣之女社編輯部編 實用電氣技術問答集
定價 壹圓五拾錢 送料 貳圓六拾錢	定價 貳圓五拾錢 送料 貳圓五拾錢	定價 貳圓五拾錢 送料 貳圓五拾錢	定價 貳圓貳拾錢 送料 貳圓貳拾錢	定價 貳圓貳拾錢 送料 貳圓貳拾錢	定價 貳圓貳拾錢 送料 貳圓貳拾錢	定價 貳圓貳拾錢 送料 貳圓貳拾錢
東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行	東京市香取町六番地 電氣會社發行

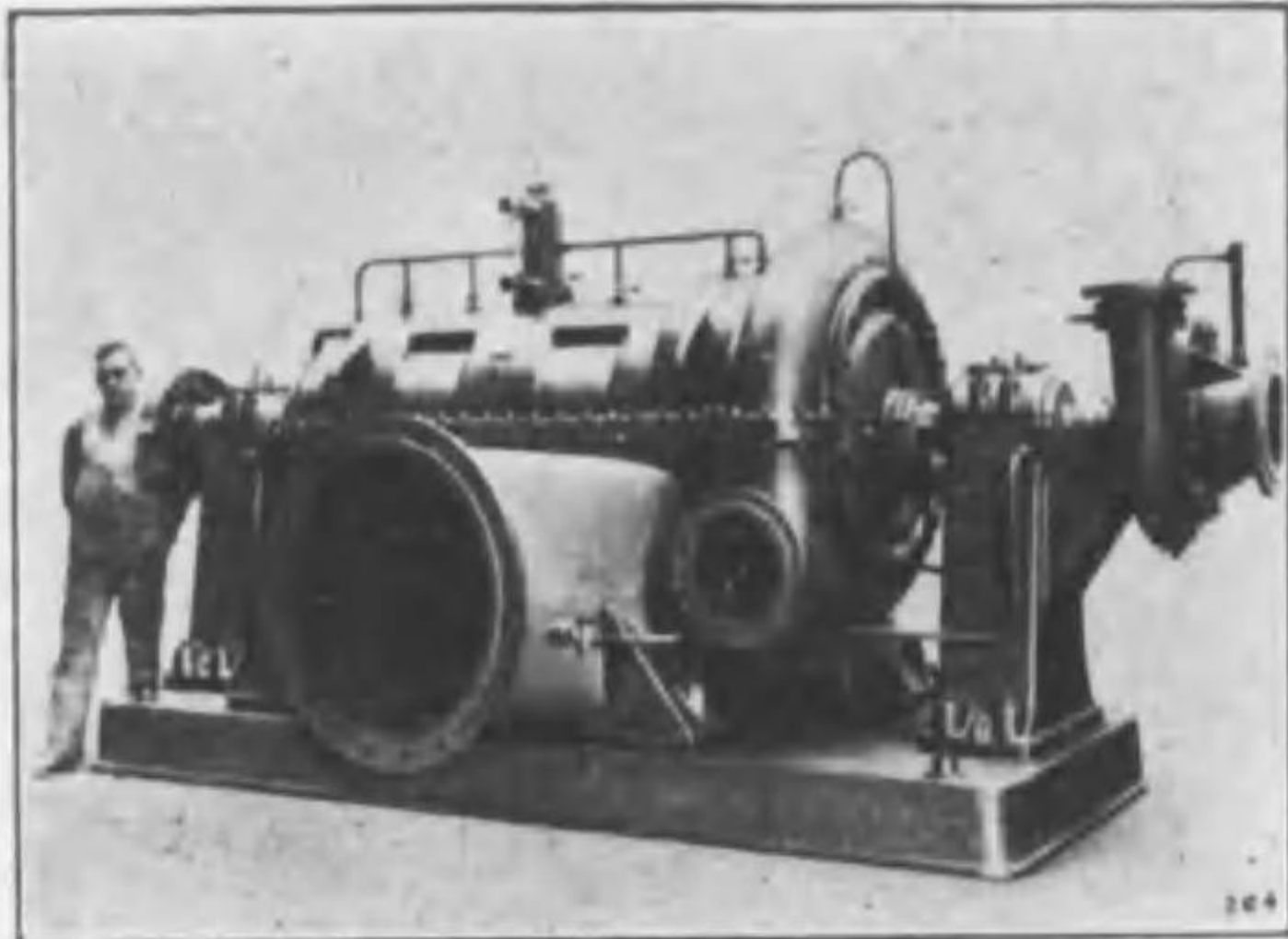




Engineering Office, Kobe,  
Sannomiya, No. 382

SULZER BROS.

Crescent Building, No. 72  
Kyomachi  
P. O. Box Kobe 36



Sulzer Combined Auxiliary Pumps  
for 30,000 Kw. Steam Turbine.

### SULZER CENTRIFUGAL PUMPS

for all Purposes

Pumps of an aggregate  
output of abt. 3,000,000  
H.P. Supplied and under  
Construction.

### SULZER ELECTRIC STEAM BOILERS and ACCUMULATORS



Sulzer Electric Steam Boiler in a Paper Mill in Bern.  
Working Pressure 150 lbs./sq.in., 3,500 Kw., 3 Phase, 10,000 Volts,  
with automatic regulation of water level.

High and  
Low Pressure  
For Load up to  
6,000 Kw.  
Voltage up to  
15,000 Volts.



240  
m/m  
245 m/m  
395  
m/m

瑞西、トリユブ、タイパー會社製  
記錄型計器

交流用： 記錄型、電力計、電流計、電壓計  
動作： フェラクス型（誘導型）  
紙巾： 15 cm (6")  
種類： 配電盤用、携帶用

#### ●主要取扱品目

- 指示計器、記錄型計器類 各種
- 回轉計 各種
- 工業用電熱器 各種
- 家庭用電熱器 各種
- 無電池式 各種

電氣時計 大小各通り  
登山鐵道機械材料一切  
其他瑞西製電氣器具機械一式



ランデイス  
ギヤール會社製

積算電力計  
東洋總代理店

シイベル、ヘグナー會社

工業部

神戸市伊藤町一〇七

大阪出張所 大阪市西淀川區大仁二丁目二六

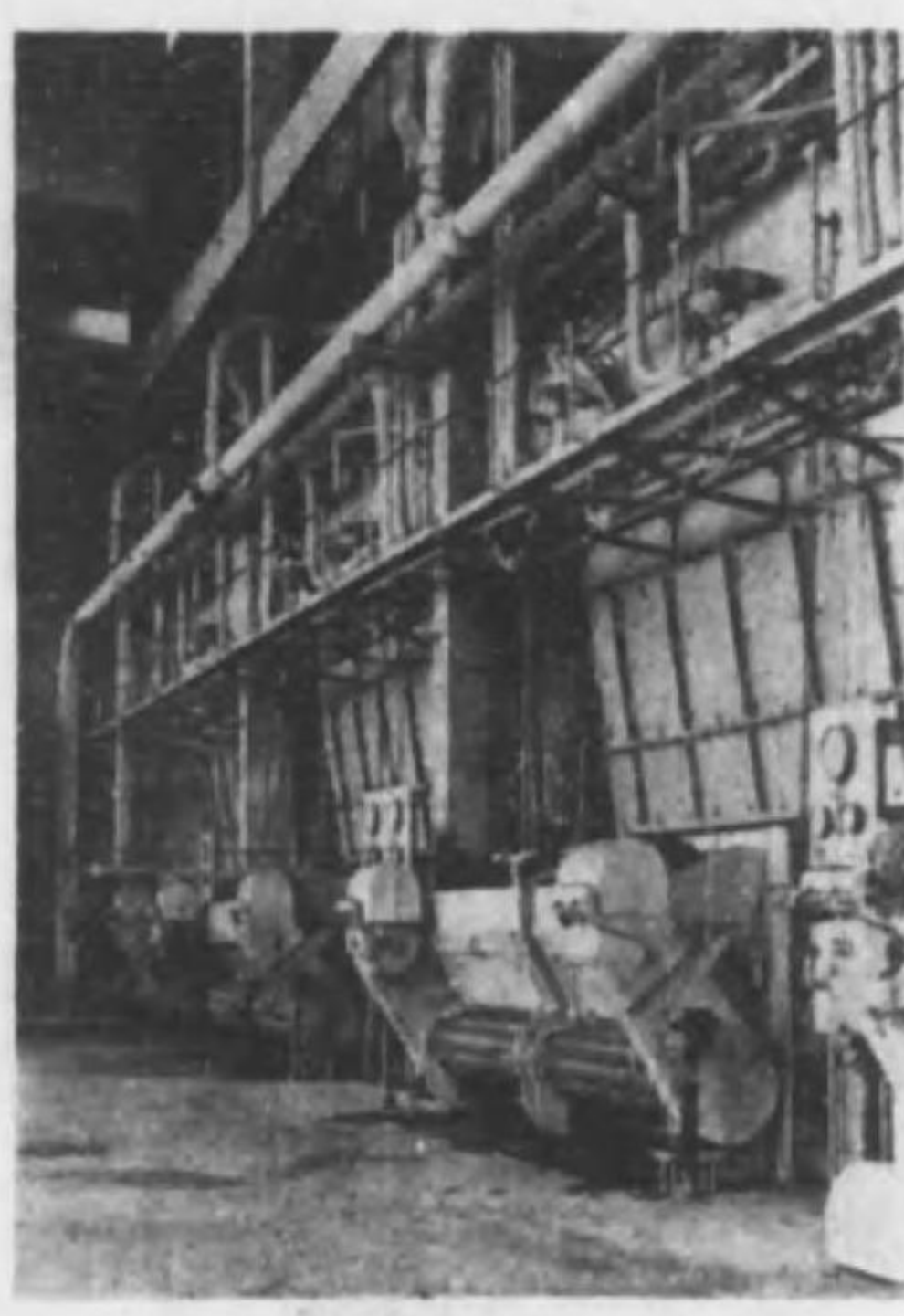
電話 一七五三 七五五四 四六

東京出張所 東京市麴町區八重洲町一ノ一

P-73

昭和四年電氣年鑑

東京市電氣局芝浦發電所



專賣特許バブコック汽罐



本社及工場

横濱市磯子區磯子町一番地 (電話長者町三四〇〇番、三四七六番)

# 東洋バブコック株式會社

支店

(舊バブコック、エンド、ウキルコックス會社)  
東京市丸ノ内仲通五號館 (電話丸ノ内一八九五番)  
大阪市北濱三丁目四七番地 (電話本局一七二二番)  
門司市内濱町二ノ三〇二 (電話 六八九番)

## 營業品目

陸用並ニ船用水管式蒸氣罐—自働燃炭機—過熱器—節炭機—  
給水豫熱器—空氣豫熱器—ダイヤモンド除煤機—軟水器—高  
低壓用パイピング—銀鋼、鑄鋼製ヴァルヴ類—式  
微粉炭燃燒裝置—微粉炭及セメント輸送汽壓唧筒—石炭及殘  
灰運搬裝置—集塵器、耐熱處理品  
石炭低溫乾溜裝置—航空船繫留塔

其他一般諸機械製造販賣

終